講義科目名称: 心理学入門 授業コード: 28001

英文科目名称: Introduction to Psychology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	2単位	選択	
	担当者			
伊藤 栞				

伊藤 未				
	講義(一部	 ワークやグループワークを行う)	担当和	 者
授業計画	第1回	心理学の歴史と方法 心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words:哲学における心理学、実験心理学の始まり(ヴント),ヴント批判(ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析)	伊藤	栞
	第2回	脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経 の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words:人間の脳の構造、脳の働き、睡眠	伊藤	栞
	第3回	発達1 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では、身体的な発達、認知的な発達について学ぶ。 key words:感覚機能の発達、運動機能の発達、認知的な発達(ピアジェ理論)	伊藤	栞
	第4回	発達2 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では、心理社会的な発達について学び、生涯発達についての理解を深める。 key words:心理社会的な発達(エリクソンの理論)、生涯発達心理学	伊藤	栞
	第5回	感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words:感覚、視知覚、錯覚	伊藤	栞
	第6回	学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理を概観する。 key words:古典的(レスポンデント)条件づけ(パブロフ),オペラント条件づけ(スキナー)	伊藤	栞
	第7回	記憶 私たちは一生の間に数多くの様々な事柄を自らの記憶にとどめ、時に応じてそれらを思い出す。しかしながら、思い出そうとして思い出せないことや、忘れようとしても忘れられないことも多くある。本講義では、心理学における記憶の知見について学ぶ。 key words:記憶のしくみ、記憶の種類、記憶の多重貯蔵モデル、記憶の障害	伊藤	栞
	第8回	言語と思考と知能 人は思考し、言語を生産する。私たちの日常的な思考においては、言語の役割は非常に大きく、言語はより抽象的な思考を可能にする。本講義では、言語心理学や思考の方法、知能について学ぶ。 key words:言語発達、問題解決、意思決定、知能	伊藤	栞
	第9回	パーソナリティ 私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方(行動様式)を持っている。このような考え方や行動の仕方は、時や場所のような状況を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちには、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「パーソナリティ」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である類型論と特性論について学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する(予定)。 key words:類型論、特性論、性格の5因子モデル、パーソナリティ検査の信頼性と妥当性	伊藤	栞

	## 1 0 E		/n. <del>35;</del>	TT.
	第10回	感情・情動と動機づけ 私たちが行動を起こそうとするとき、そこには感情や動機(づけ)が関わってい る。本講義では、感情・情動と動機づけの諸理論について学ぶ。 key words:感情と情動、古典的な感情理論、現代の感情理論、動機づけと欲求、欲 求階層説	伊藤	莱
	第11回	対人関係と集団1 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間 は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者と ともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義で は、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響 を受けているかを学習する。 key words:対人認知、対人感情、対人関係の成立基盤	伊藤	栞
	第12回	対人関係と集団2 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間 は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者と ともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義で は、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響 を受けているかを学習する。 key words:援助行動、攻撃行動、集団内過程・集団間過程	伊藤	栞
	第13回	異常 異常 (abnormal) 心理学は、こころの異常現象の諸相とその成り立ちの解明を目的 とするもので、精神病理学とほぼ同じ意味を持っている。本講義では、こころの病 をもつ人において、その本質を理解するための異常心理学における現象について学 ぶ。 key words: 欲求・意思・行動の異常、感情の異常、知覚・表象の異常	伊藤	栞
	第14回	健康 健康心理学では、健康に関連する様々なトッピクスがある。本講義では、健康とストレスおよびパーソナリティとの関連について学ぶ。 key words:ストレッサー、ストレス反応、ストレスコーピング、タイプA、タイプB、タイプC	伊藤	栞
	第15回	心理学の社会的展開 これまで様々な心理学の知見や研究について学んできた。本講義では、心理学の知 見や技術を社会でどのように実践、活用しているのか学ぶ。 key words:チーム医療、障害者福祉、心の健康教育、少年院、ストレスチェック制 度	伊藤	栞
科目の目的	力を養う。自  識を身に付け	ことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える 己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知 ることを目的とする。 リシー:【QOLの確保・向上を支援するため必要な基本的知識・技術】【人間の尊厳と	:	
到達目標		理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 援助の概要と方法について理解し,自らの専門分野に活かす。		
関連科目	文化と情報により、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	基盤科目群】教育学,教育心理学,生命倫理,哲学,人間と宗教,家族社会学,生活人口知能・ロボットと社会,人間関係・コミュニケーション論,基礎統計学,情報処ラシー,データサイエンス入門,大学の学び入門,大学の学びー専門への誘いー,多携 目群】医学概論,基礎生理学,小児科学,精神医学,リハビリテーション医学,言語学,臨床心理学,生涯発達心理学,学習・認知心理学,心理測定法,言語学,聴覚心達学,チーム医療とリハビリテーション,地域社会学 】地域リハビリテーション学,失語症学,高次脳機能障害学,失語・高次脳機能障害・高次脳機能障害支援論,言語発達障害学,言語発達障害評価法,言語発達障害支援		
成績評価方法・基 準		ポート形式・70%)に毎回の講義後に作成するリアクションペーパー等の評価 味して評価する。なお,リアクションペーパーの内容に対するフィードバックは次回 に行う。		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	おく。不明な	に関連するトピックについて読み,どのような内容について学ぶのか事前におさえて 点や気になる点があれば,授業時に理解がすすむようにノートなどにまとめるなど準 。予習・復習時間は合わせて4時間程度。		
教科書	繁枡算男(20	18) 「公認心理師の基礎と実践2 心理学概論」遠見書房		
参考書	内山靖・藤井	浩美・立石雅子(編)(2020)リハベーシック心理学・臨床心理学 医歯薬出版		
オフィス・アワー	「Active Aca	demy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Aca	demy Advance-Webフォルダ-教務課-国会試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	禁止します。	,スマートフォン・携帯電話の使用,講義と関係のない作業(他の科目の学習等)は 注意しても止めない場合や,それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ,その 席を認めない場合もあります。		
アクティブ・ラー	実施する(個	人ワーク,グループワーク)。		

ニングの実施	
ナンバリング	SBa-101

講義科目名称: 教育学 授業コード: 25002

英文科目名称: Education 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	2単位	選択	
担当教員	担当者			
井上 暁子				

井上 暁子				
155 MF 47 445	=#; At			10 V = X
授業形態	講義	Market Name (1997)		担当者
授業計画	第1回	教育とは何か 本科目の目的や本科目で取り上げる内容、 「教育とは何か」について概観し、教育等 topics: 教育とは何か 教育の意義 教	学を学ぶことの意味を捉える。	
	第2回	教育と子ども家庭福祉 子どもの権利や子ども観、影響を与えた教 いて知ることを通して、「教育」と「子と を理解する。 topics:子ども観 教育思想 児童の権 福祉法・教育基本法と教育	ごも家庭福祉」には深い関連性	があること
	第3回	教育制度の基礎 教育を運用していくための制度について、 育課程、その基準となる学習指導要領につ topics: 教育制度の歴史的変遷 日本の 指導要領改訂の変遷	ついて知ることから学ぶ。	
	第4回	乳幼児期の教育 就学前の子どもの教育について、どのよう 本的な考え方について理解する。 topics: 幼稚園・保育園・幼保連携型認 5つの領域 育みたい資質及び能力 幼児	定こども園 幼児教育の基本的	りな考え方
	第5回	幼児教育の実際 幼稚園における実際の保育実践の映像をも 境と関わり、遊びを通して育つ幼児教育の 保育園時代を振り返りつつ具体的に理解す topics:子どもの成長と発達 遊び 環 生活	D本質と重要性について、自身 ける。	の幼稚園・
	第6回	学校教育現場の諸問題 現代の社会において、学校教育の現場で走 様々な問題について、その現状と課題や対 topics: いじめ 不登校 学級崩壊 暴	対応等について知る。	
	第7回	家庭環境にかかわる諸問題を抱える子ども現代の社会において、家庭環境に起因するについて、その現状と課題や対応等についtopics:子どもの貧困 ヤングケアラー	る貧困やヤングケアラーなどの ヽて知る。	
	第8回	児童虐待と教育 児童虐待について、定義、現状、早期発見 理解し、対人援助の職に就く自分にできる なっている「教育虐待」について知る。 topics: 児童虐待とは 児童虐待の早 保育現場 教育虐待		年話題と
	第9回	社会的養護の下で生活する子どもと教育社会的養護とは何かと、児童養護施設などり、そこに暮らす子どもに対してどのようる。 topics: 社会的養護 児童福祉施設 里学に関する課題	うに教育が保障されているのか	を理解す
	第10回	特別な配慮を要する子どもと教育特別支援教育とは何かや、障害のある子と別支援学級・通級による指導の対象や教育の概要を理解する。 topics: 特別支援教育 インクルーシン級 通級による指導 自立活動	育体制、教育課程について等、	特別支援教

	第11回	保健・医療上の配慮を要する子どもと教育 重症心身障害児、医療的ケア児、病虚弱児など、保健・医療上の配慮を要する子ど もの教育の場や教育の体制について知る。 topics: 重症心身障害児 医療型障害児入所施設 訪問教育 医療的ケア児 病 弱・身体虚弱児 特別支援学校(病弱)	井上暁子
	第12回	チームとしての学校 学校では、教職員をはじめ教員以外の学校スタッフの多様な人材がそれぞれの専門 性を生かして能力を発揮し、連携・協働しチームとして教育にあたっていることを 学ぶ。 topics: チーム学校 学校保健 養護教諭 スクールカウンセラー スクールソー シャルワーカー	井上暁子
	第13回	教育相談 教育現場で行われる「教育相談」について、その意義・目的、実施機関・実施者、 対象、構造、生徒指導との兼ね合い等の事項を理解する。また対象者との信頼関係 を築く上で大切な基本的態度について知る。 topics: 教育相談 四層構造の教育相談 カウンセリングマインド 受容 共感 傾聴	井上暁子
	第14回	キャリア教育 一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要な基礎となる能力や態度を育てること を通してキャリア発達を促すキャリア教育について理解する。 topics:キャリア教育 キャリア発達課題 基礎的・汎用的能力 職場体験 進路 指導 キャリアパスポート	井上暁子
	第15回	社会教育と生涯学習 青少年や成人に対して地域で行われる社会教育の位置づけや社会教育施設について 学ぶ。また生涯学習の理念や意義について知り、私たちが人生を豊かにするために 生涯にわたって学習し続けることができることを理解する。 topics:社会教育 社会教育施設 生涯学習 生涯学習を支える社会教育の場 リ カレント教育との違い	井上暁子
科目の目的	容等、幅広い 題・課題につ 人援助職に必	いう2方向の作用を含む概念である教育について、教育の概念・教育の制度・教育の内観点から基本的事項を学ぶ。また、子どもをめぐり近年多様化複雑化する様々な問いてとりあげ、教育との関連から考察する。それらの学びを通じて、医療職という対要な教育者的素養を身につける。 と基本的人権】	]
到達目標	について関心	制度について基本的な事柄を理解すると共に、現代社会における教育に関する諸問題 を高め、自らに引き寄せて考えられるようになる。また、教育学の学びを活かして対 て、様々な課題を抱える対象者を理解しどのように向き合っていくかを自分の言葉で	
関連科目	心理学入門、	社会学、社会福祉制度・関連法規	
成績評価方法・基 準	期末レポート 授業内小レポ バックを行う	ート(30%): 小レポートは通常の授業内で何度か実施(次回講義の冒頭でフィード	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	テーマについ	myにより配布の講義資料を読んで予習する。授業後には内容を振り返り、扱われた て理解を深め復習する。また、日頃から新聞、テレビ、インターネット等で「教育」 事に関心を持ち目を通すようにし、それらを含めて1コマあたり180分を目安に自己学	
教科書	使用しない		
参考書	授業内で随時	紹介する	
オフィス・アワー	「Active Aca	demy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Aca	demy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意	Active Acade PCにダウンロ	myにより講義資料を配布します(原則として前回授業翌日から当該日まで)。各自、 ードして授業に持参してください。	
アクティブ・ラー ニングの実施	グループ・デ	ィスカッションを実施	
ナンバリング	RBa-102		

講義科目名称: コミュニケーション学入門

英文科目名称: Introduction to Communication

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

授業コード: 2S003

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
伊藤 栞				

授業形態	講義, 演習	(各回,個別/グループワークを30分程度)	担当	者
授業計画	第1回	オリエンテーション、コミュニケーションについて本講義の目的と到達目標、授業の進め方などについて説明を行う。 社会の中で生活していくうえで必要不可欠なスキルであるコミュニケーションとは、いったいどういったものであるのか改めて考えてみる。 key words:コミュニケーションの目的、目標、構成要素、機能	伊藤	栞
	第2回	非言語コミュニケーション (1) コミュニケーションにおける非言語がもたらすメッセージ性はとても大きい。非言語コミュニケーションはどんなものであり、それがどのようなメッセージとなり得るのか学ぶ。 key words:非言語コミュニケーションの種類、感情表現、印象形成(目線、視線、姿勢、動作)	伊藤	栞
	第3回	非言語コミュニケーション (2) 空間や時間なども非言語コミュニケーションである。前回の授業の内容である非言語コミュニケーションをまた違う角度から捉えていく。 key words:自分と相手の距離,時間という概念	伊藤	栞
	第4回	言語コミュニケーション (1) 当たり前のように行っている言語を使ったコミュニケーションであるが,ことばとコミュニケーションの関係について考える。 key words:記号と言語,ことば,書き言葉・話し言葉,敬語と謙譲語	伊藤	栞
	第5回	言語コミュニケーション (2) 言語コミュニケーションの一つとしての説得的コミュニケーションについて学ぶ。 また言語コミュニケーションの限界について考える。 key words:説得的コミュニケーション,内的照合枠	伊藤	栞
	第6回	ソーシャルスキル (1) ソーシャルスキルとしての人に話を聴いてもらうスキルについて学ぶ。 key words:聞いてもらうスキル,自己開示と自己呈示	伊藤	栞
	第7回	ソーシャルスキル(2) ソーシャルスキルとしての人の話を聴くスキルについて学ぶ。 key words:話を聞く/聴く,傾聴	伊藤	栞
	第8回	ソーシャルスキル (3) 人の話を適切に聴いていくためのコミュニケーションの手法について学ぶ。 key words:質問,あいずち,明確化,要約	伊藤	栞
科目の目的	て体系的に ニケン に こかない 題を 共有し ションにつ	たり前のようにコミュニケーションを行っている。しかし、コミュニケーションについ学ぶ機会はあまりなかったのではないだろうか。「コミュニケーション不全」「コミュンの失敗」による人間関係上の問題は多くあり、"うまくコミュニケーションを行えて状があると思われる。本講義を通じて、人と人とが大きな齟齬なく理解しあったり、問,問題解決のために考えたりするための基礎とするための教養としてのコミュニケーいて学ぶ。 ポリシー:【人間の尊厳と基本的人権】		
到達目標	1. コミュニ	がサンー: 【人間の导敵と基本的人権】 ケーションとは何かについて説明することができる。 ミュニケーションスキルを用いることができ、社会生活において適切に活かすことがで		
関連科目		と医療コミュニケーション、心理学、臨床心理学		
成績評価方法・基 準	コメントペ	ーパー(授業内で指定された内容を指定された期日までに提出すること)100%		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	復習:配布	書などを利用しコミュニケーションに関する興味関心を高める(2時間程度)。 された資料や講義を受けての各自のメモなどを用いて復習し,わからないことは調べた 業で聞くことができるようにする(2時間程度)。		
教科書	内山靖・藤 式会社	井浩美・立石雅子(2021). 「コミュニケーション論・多種職連携論」 医歯薬出版株		
参考書		2008). わかりやすいコミュニケーション学:基礎から応用まで 三和書籍 (2022). 新版対人コミュニケーション入門 ナカニシヤ出版		

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
A 2 4 2 . 7 2	The tree headers have need of the tree headers have need to have headers have heade
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	実施する(個人ワーク、グループワーク)。
ナンバリング	SBa-103

講義科目名称: **健康**スポーツ理論 授業コード: 2S004

英文科目名称: Sports Science 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
衣川 隆				

13.71 座	-		
授業形態	講義(13回)	・演習 (2回)	担当者
授業計画	第1回	健康管理概論 1. ヘルスプロモーション(健康づくり) 2. 予防医学 3. 生活習慣病 (NCD) 概論	衣川隆
	第2回	健康づくり施策概論 1. 健康日本21 (2011) のこれまでの取り組み 2. 健康日本21(第二次)(2013)とは? 1. 健康日本21(2011)のこれまでの取り組み 3. 日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう 4. ライフスタイルと生活習慣病	衣川隆
	第3回	生活習慣病 (NCD) 1. メタボリックシンドローム 2. 高血圧 3. 糖尿病 4. ロコモティブシンドローム 5. 悪性新生物 (がん) 6. 認知症	衣川隆
	第4回	運動生理学 1. 呼吸・循環器系と運動 2. 脳・神経系と運動 3. 骨格筋系と運動	衣川隆
	第5回	機能解剖学 1. ハムストリングスの肉離れ ~アスリートを悩ます重大な障害~ 2. 筋肉の種類や分類法	衣川隆
	第6回	健康づくり運動の理論(トレーニングと筋肥大・栄養・骨) 1. 体力トレーニングの原理と原則 2. 強度の条件(主にコンセントリック) 3. 筋トレセット間の休憩時間 4. 筋力トレーニングと栄養(トレーニング50対栄養50) 5. 骨について	衣川隆
	第7回	健康づくり運動の理論(ストレッチ) 1. ストレッチングの種類は大きく分けて2種類	衣川隆
	第8回	スポーツ障害と予防健康管理概論 1. スポーツ障害とは	衣川隆
	第9回	1. へか フ障害とは 体力測定と評価 1. 体組成とは	衣川隆
	第10回	運動プログラムの実際 1. 健診結果と特定保健指導の基準値 2. メディカルチェック	衣川隆
	第11回	運動と心の健康増進 1. 喫煙とメンタルヘルス、運動 2. 多くの現代人を悩ませる「睡眠負債」とは ?	衣川隆
	第12回	栄養摂取を考察する 1. 栄養素の種類と働きを考察する	衣川隆
	第13回	<ul><li>1. 未食素の種類と働きを与票する</li><li>健康についての雑学(食事・栄養)</li><li>1. ダイエットに関する情報</li><li>2. 危険な4つの食べ物</li></ul>	衣川隆
	第14回	健康についての雑学(心・体) 1. 健康とこころ(心理学に学ぶ) 2. アナトミートレイン 3. その他	衣川隆

	第15回 スポーツ小テスト	衣川隆
	1. 授業中に課題を出した柔軟性の小テスト(昨年度は前屈ストレッチング)を実施する	7 7 7
	ルテストの評価は、総合評価10/100とする 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説 明する	
科目の目的	「健康と運動」・「老化と運動」に関しその維持と増進方法についてのメカニズムを知り、なぜ運動が重要なのかを理解することを一つの目的とする。特に有酸素運動と筋トレやストレッチングの効果は、心肺機能・呼吸器の向上や筋力の向上と柔軟性だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、正しい姿勢の予防・改善、高齢者生活の障害を低減すること等を、自分自身でも実践しながら理解できるようにする。また本講義で得た知識やその効果を、未来の医療従事者として、地域社会の人々に発信できるよう基礎を学ぶ。一方で日常生活やスポーツを行な時に、その能力を高めたり継続することに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起こり得る問題の対策を学習し、考察することにより理解力を深めることを目的とする。	
	【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、機能的な筋力トレーニングやストレッチングの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心構えができる。まずは今から実践できその習慣を身に付けることができる。また地域社会に発信できるように、まずは家族や友人関係と、健康とスポーツについては発信し考察できる。 一方でスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に身に付けた知識を取り組める。	
関連科目	健康スポーツ実技	
成績評価方法・基 準	定期試験 (90%) 、授業内の小テスト (10%) 定期試験は100点満点で実施するが90点満点に換算。授業内の小テストは1回実施して10点満点とする。 。 定期試験は講義で学んだ中から実施する。 小テストは講義中に課題として出した柔軟性の小テスト (昨年度は前屈ストレッチング) を実施する。 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	1日 (24時間) の生活リズムにおいての、自分自身の健康や体力、栄養について管理をしておくこと。よって1日1回はどこかで運動を行い、食事についてもタイミングと栄養について考えてもらいたい。	
教科書	アクティブアカデミーにて授業資料を配布する。	
参考書	「トレーニング::健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラー ニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論(課題)を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 学生は高次の思考(分析、総合、評価)に関わっていること 3. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 4. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること	

講義科目名称: 健康スポーツ実技

英文科目名称: Practice in Sports Science

授業コード: 2S005

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
扣水粉目	扣业本		

担当教員 |担当者 衣

担ヨ教員		担当有	
衣川 隆			
授業形態	実技		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション アクティブ・ラーニングの実施説明する。 オリエンテーションと班編成&トレーニングの説明。	衣川隆
	第2回	球技・トレーニング 基礎体力作り: 肩関節、股関節のベーシックストレッチング。このストレッチング は毎回実施するため、最終日の股関節ストレッチングポーズにつなげることを説明 する。また前期の健康スポーツ理論の講義にも出てきた生涯にわたって正しい姿勢 やスポーツ競技の向上、障害予防にも繋がるストレッチングである旨説明する。 班対抗戦: バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出や すいスポーツであるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も 問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検 討していく。バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツ を行うように検討していく。	衣川隆
	第3回	球技・トレーニング 基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを応用した、 回内回外ストレッチングを行う。股関節のストレッチング効果も期待できる四股踏みも行う。 班対抗戦:バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆
	第4回	体力測定記録会 体力測定記録会の種目(長座体前屈、握力、背筋力、立ち幅跳び、反復横跳び、 プッシュアップ30秒、ボール投げ、上体起こし、20m)。 体力測定記録会は小テストになる。小テストの評価は、総合評価10/100とする。小 テストの評価ポイントとして、記録会の成績を自己分析したレポートを提出する。 広義には「健康とスポーツ」であるが狭義には講義中に説明する。	衣川隆
	第5回	球技・トレーニング 基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを応用した、ペアで行うストレッチングをする。具体的に胸郭の柔軟性が肩関節にも影響を及ぼすことを理解できるストレッチングを行う。 班対抗戦:バドミントン。バドミントンは、老若男女において取り組みやすいスポーツであるため、生涯にわたって行っていくかのせいもあるスポーツである。授業でバドミントンを行うにあたって、学生たちの人数に対して試合場所が十分でない可能性もあるため、その中でローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、順次にローカルルールを再度検討する。バドミントン経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆
	第6回	球技・トレーニング 基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを応用した、 CKC (クローズキネチックチェーン) トレーニングをする。多関節筋との関係を説明 する。 班対抗戦:フットサル。フットサルは接触プレーも多く、男女間の体格の差によっ てプレーにも差が出やすい。また強く蹴ったりするとけがをする可能性もあるた め、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほう が良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。フットサル経 験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆
	第7回	球技・トレーニング 基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを応用した、バックライン (アナトミートレイン) のストレッチングを行う。 班対抗戦:バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすい。2回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。 バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆

第8回 球技・トレー ーニング 衣川隆 本は 基礎体力作り: 肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを応用した、 体幹トレーニング①を行う。野球の投球、バレーボールのアタックやサーブ、テニス・バドミントンのサーブ等は体幹と上腕の運動連鎖であることを説明しながら行 合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検 討して競技を進めていく バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うよ うに検討していく。 第9回 球技・トレーニング 衣川隆 球技・トレーニング 基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを応用した、ペアで行うストレッチングをする。具体的に股関節の柔軟性と回内回外を連動させたペアストレッチングはどのような影響を及ぼすのかを体験する。 だパストレッテングはどのような影響を及ばりのかを体験りる。 班対抗戦:バドミントン。授業でバドミントンを行うにあたって、学生たちの人数 に対して試合場所が十分でない可能性もあるため、その中でローカルルールを検討 して競技を進めていく。2回目のバドミントンで班の中でコミュニケーションも向上 していると思われるため、前回と異なる練習方法(攻撃型や守り型)を検討する。 バドミントンは、生涯にわたって取り組みやすいスポーツなので、未経験者も楽し くスポーツを行うように検討していく。 心肺持久力記録会 第10回 衣川隆 20mシャトルランを実施する。この心肺持久力記録会は小テストとする。心肺機能や走力の向上を図るとともに、有酸素運動とATPの関係も学ぶ。 第11回 球技・トレーニング 衣川隆 基礎体力作り:基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを応用した、反応トレーニングやスピードトレーニングを行う。 班対抗戦:フットサル。フットサルは接触プレーも多く、男女間の体格の差によっ てプレーにも差が出やすい。また強く蹴ったりするとけがをする可能性もある。2回 目のフットサルで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。 フットサル経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検 討していく。 第12回 球技・トレーニング 衣川隆 基礎体力作り:基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれ らを応用した、地面反発トレーニングを行う。そこに肩甲骨の動きや母指球の動きも散させて行う。 班対抗戦:バレーボール。3回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも更 に向上していると思われる。授業の中では最後のバレーボールになることを鑑み、 どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨む。 第13回 球技・トレーニング 衣川隆 基礎体力作り:基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを応用した、ペアで行うぎっこんばったんストレッチングを行う。 班対抗戦:バスケットボール。3回目のバスケットボールで班の中でコミュニケーションも更に向上していると思われる。授業の中でカースで表しませた。 ることを鑑み、どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨 球技・トレーニング 衣川隆 第14回 基礎体力作り:基礎体力作り:肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれ 基礎体力作り: 基礎体力作り: 肩関節、股関節のペーシックストレッチングとそれらを応用した、全身の運動連鎖ストレッチングを行う。バックライン(アナトミートレイン)を中心に筋肉をマッサージしながら、次週がストレッチング小テストになるので、少し時間をかけて行う。 班対抗戦: フットサル。3回目のフットサルで班の中でコミュニケーションも更に向上していると思われる。授業の中では最後のフットサルになることを鑑み、どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨む。 第15回 スポーツ小テスト 衣川隆 授業中に課題を出した柔軟性の小テスト(昨年度は股関節ストレッチングポーズ) を実施する 小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、広義 には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。 運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチングを行い、学生自身が体力をつけることを狙いとする。また一人でも簡単にできる筋力トレーニングやストレッチングを行って、少しずつ無理なく自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。各種スポーツでの身体活動を身出して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大生活が送れるよう自覚を促す。スポーツを通りて自己研鑽に耐力、自己経費に対するまた力を 科目の目的 通して自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力を身につける。 る福室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして多職種連携による問題解決の重要性の理解し、学生相互のコミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養を身につける。

	【多職種協働と地域社会活動の促進】
到達目標	1. 健康と体力の重要性を理解し、自らの意志で維持向上をする仮説を立てそれを実行することができる。 2. 生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける基軸を検討することができる。 3. 地域社会の生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整えるための発信力を持つ準備ができる。 4. 学生相互のコミュニケーションを積み重ね、スポーツの現場でみんなが楽しく効率的かつ円滑に進行する共同的な行動ができる。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	授業時間内の実技(80%)。小テスト(20%)。 実技の評価ポイントは、科目目的やアクティブラーニングに記載されていることが実施できているかを基準にする。 1回目の小テストの評価は、総合評価10/100とする。 小テストの評価ポイントとして、記録会の成績を自己分析したレポートを提出する。広義には「健康とスポーツ」であるが狭義には講義中に説明する。
	2回目の小テストは、授業中に課題を出した柔軟性の小テスト(昨年度は股関節ストレッチングポーズ)を実施する。 小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	1日(24時間)の生活リズムにおいて、心と体の健康管理と生活状況管理をしておくこと。よって1 日1回は運動が出来るような生活リズムを心がけてほしい。
教科書	使用しない。
参考書	「トレーニング::健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論(課題)を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考(分析、総合、評価)に関わっていること 4. 学生は活動(例:読む、議論する、書く)に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	SBa-105

講義科目名称: 文学 授業コード: 2S006

英文科目名称: Literature 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		1学年	2単位	選択			
担当教員		担当者					
衣川 隆							
授業形態	講義						
授業計画	第1回	1. 講義の 2. 代表的 のだろうか 3. 世界的 4. まとめ ※事前学習	な作詩者につい い。 に愛される詩の程 シートに記入する	て考える。メッセージ力とは何か、 必密を考察する。		衣川	隆
第2回		る。 2. 芥川龍 3. 芥川龍 り方を味む ※事前学習	代読み学んだ小記 之介について説明 之介の生涯を学/ つうことができる 習で芥川龍之介と	说「羅生門」をどのように読み取っ 月する。 いで、小説「羅生門」を読み直す。 。 4. まとめシートに記え 「羅生門」について図書館やイン 考えをまとめる。	今までと違った感じ取 入する。	衣川	隆
第	第3回	2. 文学に 文学に 7 3. 小な 様の 1 を の 1 を 2 と 2 3. した 様の かと と と かま 前 学 2 6 4 ※ 事 前 学 3 6 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	次郎について説明病の関係について説明病の関係について説明を読み直できまり、というとは、その日本といかった。」に記入した。」に記入け、	て説明する。 け。「檸檬」の中に潜む「光と影」 か?どんな背景があるのか?また もさることながら、並べ立てられ というのはこんなに綺麗に、鮮や われた箇所はどこか。 5。 「檸檬」について図書館やインタ	、多くの人が絶賛する ていく言葉の流れそのかに描くことができる	衣川	隆
	第4回	2. 「母親 と影」、現 発 で 現由まと 3. 事前学 ※事前学		どのような人生を送ったのか、そまた「春と修羅」詩集「銀河鉄道映画監督、ミュージシャン等にもる。 沢賢治」について図書館やインタ	の夜」等の児童文学を 影響を及ぼしているそ	衣川	隆
	第5回	1. 宮崎駅 2. 結核に 3. まとめ ※事前学習	こついて文化史的 ウシートに記入す	と結核との関係を説明する。 側面から考察する。 る。 立ちぬ」について図書館やインタ	ーネットなど利用して	衣川	隆
	第6回	1. 宮崎駅 2. 結核に 3. まとる ※事前学習 調べる。授	こついて文化史的 ウシートに記入す	と結核との関係を説明する。 側面から考察する。 る。 立ちぬ」について図書館やインタ	ーネットなど利用して	衣川	隆
	第7回	2. 前半の 3. 講義内 ※事前学習 職としての	医療の関係につい 講義の中から、株容をまとめる仮記 で「社会人の基	いて、仮説を立て方等を説明する。 様々な問題を読みとり考察する。 说を立てレポートを書く準備をする 軸となる豊かな感性、倫理観、幅 図書館やインターネットなど利用	る。 広い教養を備え、医療	衣川	隆

	第8回	与謝野晶子と出産――『青海波』を読む―― 1. 与謝野晶子について説明する。 2. 与謝野晶子と家族、出産について説明する。 3. まとめシートに記入する。 ※事前学習で宮崎駿と「青海波」について図書館やインターネットなど利用して調 べる。授業後は自分の考えをまとめる。	衣川	隆
	第9回	夏目漱石概論①――病と文学―― 1. 夏目漱石について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「門」を読む。門に隠された表現を探っていく。小説はまず主人公を読者に紹介しつければならない。主人公をどうやって印象付けるかを探る。 4. まとめシートに記入する。 ※事前学習で夏目漱石と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。	衣川	隆
	第10回	生命の尊厳について学ぶ①(『おくりびと』から) 1. 遺体を棺に納める"納棺師"という職遺体を棺に納める"納棺師"という職業を通して、様々な死と向き合い人生をみつめていくことを説明する。 2. 死者を見送ることや生命の尊厳について考察する。 3. まとめシートに記入する。 ※事前学習で「おくりび」について図書館やインターネットなど利用して調べる。 授業後は自分の考えをまとめる。	衣川	隆
	第11回	生命の尊厳について学ぶ②(『おくりびと』から) 1.遺体を棺に納める"納棺師"という職遺体を棺に納める"納棺師"という職業を通して、様々な死と向き合い人生をみつめていくことを説明する。 2.死者を見送ることや生命の尊厳について考察する。 3.まとめシートに記入する。 ※事前学習で「おくりび」について図書館やインターネットなど利用して調べる。 授業後は自分の考えをまとめる。	衣川	隆
	第12回	樹木希林――「一切なりゆき」を読む―― 1. 樹木希林について説明する。 2. 作者と病 (がん) の関係について説明する。 3. 「一切なりゆき」を読む。活字において数多くのことばを遺した語り口は、平明でいつもユーモアを添えることを忘れない。その奥にある深さを鑑みる。 4. まとめシートに記入する。 ※事前学習で樹木希林について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業 後は自分の考えをまとめる。	衣川	隆
	第13回	正岡子規概論――病と文学――  1. 正岡子規について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。不治の病で床に伏し、激痛と闘いながらも森羅万象への好奇心を持ち続けた日々の記録を読む。 3. 正岡子規の俳句や短歌、文章の革新運動の表現を探っていく。 4. まとめシートに記入する。 ※事前学習で正岡子規と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。	衣川	隆
	第14回	オノマトペとは(短歌を作る) 1. オノマトペ表現から他者の感覚を想像することができる。 2. オノマトペを使って短歌を作ることができる。 3. 「東洋大学現代学生百人一首」応募する。「現代学生のものの見方・生活感覚」を詠みこんだ短歌を作る。 4. まとめシートに記入する。 ※事前学習で「オノマトペ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。	衣川	隆
	第15回	文学がひらくもの 1. 文学と医療の関係について説明することができる。 2. 文学と医療の関係について説明することができる。 2. 文学その近接ジャンルから様々な問題を読み取ることができる。 3. 講義内容をまとめるレポートを書く準備をする。 4. 医療対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえながら、深い洞察力・倫理観・生命の尊厳についての深い認識をもってレポートを書く。 ※事前学習で「文学がひらくもの」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。	衣川	隆
科目の目的	とテー学ない で、マ科ジとしも方・ では目ャなて理で、 では目から文解、 では目が、 ではりでは、 ではりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	した文学の中には、人生の学びともなりこころの基軸ともなる。そこには光と影、生しみ、病と祈り、不安と恐怖、歓喜とその裏にあるものなど、言葉の中に表現された多様であり、その表現方法も種々様々である。 学では、近代から現代までを取り上げ、俳句・短歌・詩・小説といったさまざまな文の魅力やその表現の奥にある深さや豊かさを理解し、生涯にわたって基軸になるようるかもしれない文学的教養の扉を開いて行く。の世界を理解するために、映画、アニメーション等といった様々な近接ジャンルにつ深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。 深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。 者の抱える苦悩や絶望といった内面的な問題を中心に置き、病者自らが記した小説・から読み取り、それを医療従事者としてどのように理解し自らの医療行為に反映させるのかを考えることを目的とする。		

	【人間の尊厳と基本的人権】
到達目標	1. 社会人の基軸となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、医療職としての態度を身につけることができる。 2. 医療対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえることができる。 3. 幅広い教養を持った感性豊かな人間性と、深い洞察力・倫理観・生命の尊厳についての深い認識などを持つことができる。 4. 社会の変化や地域の特性をふまえ、多様な人や環境に積極的かつ柔軟に対応できる。 5. 世界で生じている保健医療の問題に関心をもち、医療職の役割を考えることができる。
関連科目	医療人文学、哲学、社会学、心理学
成績評価方法・基 準	授業内小レポート (20%) 、期末レポート (80%) 。
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	・授業前=講義で使用するテクストを読み問題を整理する。 (1.0時間) ・授業後=授業内容の復習。 (0.5時間)
教科書	教科書:使用しない (講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布する。各自で印刷するか、パソコンを持参し講義資料を見るか各自で選ぶこと)。
参考書	各テーマごとに講義資料を作成して配布する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論(課題)を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考(分析、総合、評価)に関わっていること 4. 学生は活動(例:読む、議論する、書く)に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	SBb-101

講義科目名称: 人間と宗教 授業コード: 28007

英文科目名称: Humans and Religion 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	2単位	選択	
担当教員	担当者			
森 禎徳				

稅 俱偲			
授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	人間と宗教 なぜ人間は宗教を必要とするのか。人間にとっての「超越者」の意義を考える。 日本人と宗教	森禎徳
	372E3	「自然宗教」から「新宗教」まで、日本人と宗教とのかかわりについて学ぶ。	
	第3回	多神教(1) 神々が「人間的に」ふるまう多神教の物語、まずはギリシャ神話の世界を概観し、 神話に含まれる教訓を学ぶ。	森禎徳
	第4回	多神教(2) ギリシャ神話に続いて日本神話の世界に触れ、神話と実際の歴史がどのようにリン クしているのかを学ぶ。	森禎徳
	第5回	世界宗教 (1) 「世界宗教」と呼ばれるキリスト教、イスラム教、仏教のうち、キリスト教とイス ラム教の歴史と主な教えについて考える。	森禎徳
	第6回	世界宗教 (2) 「世界宗教」のうち仏教の教えを学び、仏教が目指す「悟り」「解脱」とは何かを 考える。	森禎徳
	第7回	神の存在証明 中世キリスト教哲学では、神の存在を証明する試みが隆盛した。その歴史と証明の 論理構造を概観する。	森禎徳
	第8回	神の存在証明批判 ヒュームの経験論とカントの批判哲学を中心に、神の存在証明に対する批判を概観 する。	森禎徳
	第9回	知性と宗教 聖書に見られる反知性主義、キリスト教による科学の弾圧の歴史を通して信仰と知 性の関係を考える。	森禎徳
	第10回	道徳と宗教 カントの『単なる理性の限界内における宗教』を出発点に、信仰と道徳、信仰と自 由の関係について考える。	森禎徳
	第11回	平和と宗教(1) 十字軍の歴史を通して異教徒(異文化)間の相互理解の可能性と限界について考え る。	森禎徳
	第12回	平和と宗教(2) かつて日本において、本来なら平和の重要性を説くべき仏教が国家の戦争に動員され、戦争の道具となった歴史を振り返る。	森禎徳
	第13回	ホスピスの歴史と思想 シシリー・ソンダースの生涯と思想をたどりながら、ホスピスの原点とホスピス運 動の展開について考える。	森禎徳
	第14回	アイデンティティと宗教 「宗教二世」問題を通して、宗教によって自らの生き方を選ぶ機会を奪われた人た ちの思いを考える。	森禎徳
	第15回	医療と宗教 宗教的信条に基づく輸血拒否の事例をもとに、信仰は生命に優先するのかを考え る。	森禎徳
科目の目的	より執り行 はない。そ においては、 キリスト教	の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教にわれる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域の一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義、このように多くの相において人間にかかわりをもつ「宗教」とは何かについて考え、を中心にその教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人さらに文化・社会の理解にも役立つだろう。また、医療と宗教のかかわりについても考設けたい。	

到達目標	①宗教が人間にとって大きな意味を持っていることを知る。 ②宗教が人間の営みに対して時に有害な影響を行使したことも知る。 ③宗教と医療のあるべき関係について考えを深める。
関連科目	哲学 生命倫理
成績評価方法・基 準	期末レポート (100%)
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	1コマ当たり4時間程度、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。授業中に参考文献や映画を紹介するので、気になった作品に触れてみてください。
教科書	教科書は使用しません。授業はパワーポイントを使って進行します。
参考書	授業中に必要に応じて紹介します。ただし、購入を強制するものではありません。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	集中力・注意力の減退につながるため、基本的に授業資料の配布は行いません。重要だと思ったことはノートに記録して復習に役立てるよう心がけてください。
アクティブ・ラー ニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受けつけます。
ナンバリング	0Bb-102

講義科目名称: 芸術 授業コード: 25008

英文科目名称: Art 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	2単位	選択	
担当教員	担当者			
東 晴美				

/ PH /						
授業形態	講義				担当	者
授業計画	第1回	ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、!	いら現代演劇まで。舞台芸術の幅広 身体、美術などの要素を備えた総合 が様々なジャンルの芸術と深い関係 意義について考えます。	芸術であることを	東	晴美
	第2回	ているかを考えます。またその	勿語から、証言まで ℃アの作品において、ドラマはどの のようなドラマを突き崩そうとした 言などポストドラマとしての現代演	ベケットの作品	東	晴美
	第3回	劇場:社会と劇場、劇場と舞台 ギリシャ劇場から額縁舞台を 歴史と呼応していることを学びます。	台芸術の関係 と経て、現代に至る劇場の変遷が、 バます。また、舞台芸術における劇	西洋の舞台芸術の 場の役割を考察し	東	晴美
	第4回	観客:もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術す。舞台芸術と観客の関係性に す。	て 所と異なり物語をともにつくりあげ こついて、ギリシャ時代から現代ま	ざる存在でもありま での変遷を考えま	東	晴美
	第5回		見されるリアリティについて、近代 フスキーシステムを例に考察します		東	晴美
	第6回		られる性 (小レポート) C考察します。また、舞台芸術では 性についても紹介します。翌週にレ		東	晴美
	第7回	能:物語のビジュアルイメージ 能楽の基礎について学びまで いくことを平家物語を題材にし 能が、今もなお息づいているF	t。また物語がビジュアルにイメー した作品を例に考えます。また、60	・ジ化され定着して 00年前に生まれた芸	東	晴美
	第8回	狂言:笑いの表現 笑いは文化を象徴するキー! びます。またシェイクスピアの 戦を紹介します。	フードです。笑いの芸能である狂言 O作品をもとにした新作狂言など、	の基礎について学 狂言師の新しい挑	東	晴美
	第9回	時代のエンターテインメントで	も ます。歌舞伎は冷凍保存された古典 であろうとしています。能の物語を F生した「京鹿子娘道成寺」を例に	継承しながら、江	東	晴美
	第10回		(小レポート) け。北野武の映画「ドールズ」を経 ます。翌週にレポートについてコメ		東	晴美
	第11回		ぶデームのコンテンツとなり、さら ています。このような流れを例に取		東	晴美
	第12回	画、文学、演劇のメディアミュ	舞台メディアの交流史 3日本のマンガ文化について、江戸 ックス文化を源流として考察します テンツがどのようにアニメやマンカ	<sup>-</sup> 。また、能や、歌	東	晴美

	第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライ オンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介しま す。	東	晴美
	第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に 入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲー ム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流につ いて考察します。	東	晴美
	第15回 まとめ: ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曽根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。	東	晴美
科目の目的	この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとって、芸術について学 びます。		
	まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。		
	次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。 最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察し		
	ます。 これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】		
到達目標	・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。		
関連科目	社会学		
成績評価方法・基 準	授業中の小テスト (2回) 各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞまいしい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。		
教科書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間は ダウンロード可)		
参考書	各回のテーマに関連する参考書を授業中に紹介する。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。		
アクティブ・ラー ニングの実施	発見学習(教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでる芸術ジャンルの特色を発見し考察する)		
ナンバリング	SBb-103		

講義科目名称: 哲学 授業コード: 28009

英文科目名称: Philosophy 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	•		
前期		2学年	2単位	選択			
担当教員		担当者					
赤羽 悠							
授業形態							担当者
授業計画	※今年度開講せず(2025年度)			度カリキュラム)	度カリキュラム)		
科目の目的						1	
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advar	ice-Webフォルダ-	教務課-オフィス・	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	ice-Webフォルダ-	教務課-国家試験出	題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SBb-201						

講義科目名称: 生命倫理

授業コード:

英文科目名称: Bioethics

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分					
後期		2学年	2単位	必修					
担当教員		担当者							
峯村 優一									
授業形態						担当者			
授業計画		※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)							
科目の目的									
到達目標									
関連科目									
成績評価方法・基 準									
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安									
教科書									
参考書									
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	<b>S課-オフィス・アワー」参照</b>					
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	<b>S課-国家試験出題基準」参照</b>					
履修条件・履修上 の注意									
アクティブ・ラー ニングの実施									
ナンバリング	SBb-202								

講義科目名称: 法学 (日本国憲法含む) 授業コード: 2S011

ナンバリング

SBc-201

英文科目名称: Law (Including the Constitution of Japan) 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

央文件日名称: 	Law (Incl	uaing the C	onstitution of	Japan)	対象カッキュ	JA: 2025	午度カッキュノム
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		2学年	2単位	選択			
担当教員		担当者		·			
道下 洋夫							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年	度カリキュラム)			
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	Academy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	Academy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出版	題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 社会学 授業コード: 28012

英文科目名称: Sociology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		2学年	2単位	選択		
担当教員		担当者	·			
坂本 祐子						
授業形態						担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年	度カリキュラム)		
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・	アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出版	題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						
ナンバリング	SBc-202					

講義科目名称: 生活文化と医療 授業コード: 28013

英文科目名称: Culture and Medicine in Life 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区	<u></u> 区分		
後期		2学年	2単位	選択			
担当教員		担当者	<b>'</b>	<b>'</b>			
鈴木 英恵							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	- 開講せず(2025年	度カリキュラム	)		
科目の目的							I
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス	ス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験	<b>倹出題基準」参照</b>		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SBc-203						

講義科目名称: 多文化理解 授業コード: 28014

英文科目名称: Intercultural Understanding 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	2単位	選択	
担当教員	担当者			
德永 慎也				

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	多文化理解に関する用語の整理 多文化理解について学ぶ際に必要となる用語を学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第2回	アメリカ型多文化主義① アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第3回	アメリカ型多文化主義② アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第4回	アメリカ型多文化主義③ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第5回	アメリカ型多文化主義④ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第6回	アメリカ型多文化主義⑤ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第7回	エスニシティ エスニシティについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第8回	性・ジェンダー① 性・ジェンダーについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第9回	性・ジェンダー② 性・ジェンダーについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第10回	教育・職業・社会経済的属性 教育・職業・社会経済的属性について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 期末レポート課題の提示と説明。	徳永慎也
	第11回	宗教 宗教について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第12回	年齢・世代 年齢・世代について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第13回	障害者 障害者について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第14回	グローバリゼーションとグローカリゼーション グローバリゼーションとグローカリゼーションについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永慎也
	第15回	第2回から第14回講義の復習(重要事項の確認) 第2回から第14回講義の復習(重要事項の確認) 多文化理解を学ぶ意義を再度確認する。	徳永慎也
科目の目的	現代社会にとなってい	こおいて、多様な価値観や文化的背景を持つ人々と相互理解を深めることはますまいる。本科目では、異なる地域や言語、社会的価値観、文化的特性を持つ人々との	 す重要 コミュ

	ニケーションを円滑に行うための基盤となる多文化や多様性の重要性について学ぶ。また、個人お よび集団間の相互関係において、適切な社会文化的背景の理解と道徳観を養い、自分とは異なる他 者を理解し尊重する姿勢を培う。【人間の尊厳と基本的人権】
到達目標	・多文化や多様性を学ぶ意義について、自ら説明することができる。 ・異なる文化的背景や社会的価値観を持つ人々についての基礎的な知識を理解し、多文化や多様性 について、具体例を挙げて、自ら説明することができる。 ・多様な価値観が共存する社会において、道徳的・倫理的観点から適切な判断を下し、日常生活に おいてその姿勢を実践できる。
関連科目	英語リーディング 医療英語リーディング 英語会話 医療英語会話 英語アカデミックリーディ ング・ライティング 国際コミュニケーション英語 中国語 コリア語 ドイツ語 ポルトガル語
成績評価方法・基 準	期末レポート70% 毎回のコメントペーパー30%
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	本科目は、90時間の学習が必要な内容で構成されている。授業は30時間(15コマ)となるため、60時間分相当の準備学習(予習と復習)が必要となる。 予習:講義資料を読んで、疑問点や自分の意見をまとめておく。 復習:講義で得た知識を基に興味を広げ、文献やニュースを活用してさらに理解を深める。
教科書	指定なし:講義資料を配付する
参考書	指定なし:講義内で適宜紹介する
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	私語厳禁 (グループディスカッションなど、教員から指示がある場合を除く)。出席はパスワード を用いて登録してもらいますが、コメントペーパーを用いて教員も確認する。
アクティブ・ラー ニングの実施	グループディスカッションを行う。
ナンバリング	SBc-101

講義科目名称: 経済学 授業コード: 28015

英文科目名称: Economics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	2単位	選択	
担当教員	担当者			
飯島 正義				

がって	アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。 国民経済の仕組み 経済の3主体(家計・企業・政府)とその関係について説明します。 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。  政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。  財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	担 動 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島				
第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 11 回 回 回 回	経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。 国民経済の仕組み 経済の3 主体(家計・企業・政府)とその関係について説明します。 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。 要所の役割 市場の失敗の是正について説明します。 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。  財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯				
第 第 4 回 第 第 6 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。 国民経済の仕組み 経済の3主体(家計・企業・政府)とその関係について説明します。 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。 政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 飯 島 島 島 島 島 島 島 島 島				
第4回 第55回 第66回回 第70回回 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回 第	国民経済の仕組み経済の3主体(家計・企業・政府)とその関係について説明します。 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。  政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。  財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 飯島 飯島 飯島 島島 正義 義義 義義 義義 義義				
第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第11回 第11回 第13回 第14回 第15回	市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。  政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。  財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義				
第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	市場の失敗の是正について説明します。 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。  財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義				
第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義飯島 正義飯島 正義				
第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義飯島 正義				
第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	金融政策と経済の安定化金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。  財政政策と経済の安定化税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。  国内総生産(GDP)(1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。  国内総生産(GDP)(2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義				
第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。 国内総生産(GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産(GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。					
第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 科目の目的 経済づ	国内総生産 (GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。 国内総生産 (GDP) (2) 「国民経済計算」 (内閣府) のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義				
第12回 第13回 第14回 第15回 和目の目的 経済学 がつて	国内総生産(GDP)(2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。					
第13回 第14回 第15回 経済学 がつて		飯島 正義				
第14回 第15回 科目の目的 経済学 がつて		飯島 正義				
第15回 第15回 科目の目的 経済学 がつて	経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支 表」で確認します。	飯島 正義				
科目の目的 経済学 がって	<ul><li>為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。</li></ul>	飯島 正義				
がって		飯島 正義				
る能力	は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。した 、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。 、ユニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献す 」】					
到達目標 1. 紹2. 紹	経済学の基礎知識を身につけることができます。 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。					
関連科目特にあ	りりません。					
準に対する。	授業内における復習プリント40%(3~4回、授業資料参照可)、授業内試験60%で総合的に 評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。					
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	₹料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋を しでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて 、。	2				
教科書 教科書	昔は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。					
参考書 必要は	に応じて紹介します。					
オフィス・アワー						

国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。授業内試験時には印刷された授業資料のみを持ち込み可とします。なお、資料の添付期間は資料を添付してから1か月間です。
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし。
ナンバリング	

講義科目名称: 地域ボランティア活動論 授業コード: 2S016

英文科目名称: Community Volunteer Activities 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
衣川 隆	岩城 翔平		一栁 大輔	

授業形態	講義8回と授	差業内レポート、地域ボランティア活動実習6回と体験レポート1回。	担当	者
授業計画	第1回	ガイダンス、ボランティアの現状、ボランティアの歴史について本講義の目的、授業の流れ等ガイダンスの説明。日本におけるボランティアの現状、ボランティアの定義、日本・欧米におけるボランティアの歴史ついて説明する。また「民生委員・児童委員」「NPO」といった多様なボランティアの歴史を説明する。	一柳	大輔
	第2回	ボランティアに関する情報収集、ボランティアセンターの役割について ボランティア活動をスタートするにあたり、必要となる情報収集の方法について説 明する。ボランティアセンターの組織や活動内容について説明し、各市区町村に設 置されているボランティアセンターの活用方法を理解する。また、申請までのロー ルプレイングを行い、ボランティア参加までの流れを理解する。	一栁	大輔
	第3回	寄付と還元について 共同募金(赤い羽根共同募金)を例に寄付文化とその還元について説明する。寄付が どのようなかたちで使われているか、実際の事業を紹介し理解を深める。	一栁	大輔
	第4回	性的マイノリティとボランティア活動について 性的マイノリティに関連する団体の事業を紹介する。また、居場所事業・相談支援 事業・啓発活動に関する紹介を通してボランティアとしてどう関われるかを考察す る。また、「アライ(支援者)」として性的マイノリティの方との交流を支援的側面 に特化して説明する。	一栁	大輔
	第5回	生活課題を抱えた方への支援とボランティア活動について "複合的な課題"、"重層的な課題"等の生活課題を抱えている地域住民の事例紹介、 そういった住民を対象とした居場所事業やコーディネート実践の紹介を通してボランティアとしてどう関われるかを考察する。	一栁	大輔
	第6回	"ごみ屋敷"とボランティアについて ごみ屋敷の住人の多くは複合的な課題を抱えており、支援のあり方は非常に複雑であり、様々な専門職やボランティアが関わるケースが多い。ごみ屋敷の住人の支援 において、ボランティアがどのように関わるかという視点で実際の事例をもとに説 明をする。	一柳	大輔
	第7回	災害現場における災害ボランティアセンターの役割、災害ボランティアの活動について 我が国では、毎年、各地で自然災害が発生しておりこれらにより多くの人命や財産 等が失われている。災害が発生した際に設置される災害ボランティアセンターの役 割と災害ボランティアの活動について説明し、医療専門職としてのかかわり方を考 察する。	一柳	大輔
	第8回	ボランティア体験の実践紹介、ボランティアに関する企業の取り組みの紹介 講義をとおした学びとボランティア体験レポートの発表を行う。様々な背景を持つ 学生同士で知見を共有、考察する。また、民間企業の社会貢献活動の取り組みを紹 介し、卒後の専門職キャリアを歩むうえでのボランティア活動の捉え方を考察す る。	一柳	大輔
	第9回	ボランティアの実践 ボランティア活動(活動日誌を作成する。)	衣川	隆
	第10回	ボランティアの実践 ボランティア活動 (活動日誌を作成する。)	衣川	隆
	第11回	ボランティアの実践 ボランティア活動 (活動日誌を作成する。)	衣川	隆
	第12回	ボランティアの実践 ボランティア活動 (活動日誌を作成する。)	衣川	隆
	第13回	ボランティアの実践 ボランティア活動 (活動日誌を作成する。)	衣川	隆
	第14回	ボランティアの実践 ボランティア活動 (活動日誌を作成する。)	衣川	隆
	第15回	報告書のとりまとめ 事後学修(ボランティア体験レポートの提出)	衣川	隆
科目の目的	1. ボラン 2. ボラン	ティア活動の多様なあり方を理解する。 ティアに関連するステークホルダーを知り、他者を尊重し自身のかかわり方を考察す		

	る。 3. 医療専門職として地域社会に主体的かつ創造的に貢献できるようになる。
	【人間の尊厳と基本的人権】
到達目標	1. ボランティア活動の基本概念はもとより、歴史や現在の多様なニーズを理解し、ボランティアの意義を説明できる。 2. 実践や体験を通して、地域社会のニーズやボランティア活動について説明できる。 3. ボランティア・市民活動の実践を振り返り、医療専門職としての職業観の確立の基礎作りに寄与できる。
関連科目	なし
成績評価方法・基 準	授業内レポート(50%)・ボランティア体験レポート(50%)
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	個人として、または医療専門職として、どのようにボランティアと関わるかを自分なりに整理し、 言語化できるようにしておくこと。テーマに沿って自分の気になるトピックスを学習おくこと。 準備学習に必要な時間の目安:1コマあたり2時間。
教科書	使用しない
参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	体験学習、教室内での演習
ナンバリング	SBc-103

講義科目名称: **群馬の探求** 授業コード: 2S017

英文科目名称: Exploring Gunma 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
星野 修平				

授業形態	講義			担当者	í
授業計画	第1回	「群馬の探求」概論		星野 億	多平
	第2回	群馬と上毛かるた		星野 億	修平
	第3回	群馬の歴史		星野 個	修平
	第4回	群馬の文化		星野 個	修平
	第5回	群馬の経済		星野 個	修平
	第6回	群馬の社会		星野 値	修平
	第7回	群馬の医療		星野 値	修平
	第8回(第 7.5回)	「群馬の探求」のまとめ		星野(	<b>修</b> 平
科目の目的	史跡、歴史的 るた」と共に 切にしてきた	対建造物など、様々な文化と歴史 こ、その歴史や文化、人々の生活 こ。この科目では、群馬県の歴史	に囲まれ、多くのアウトドア施設、 と共に歩んできた。また群馬県民 を知り、群馬の魅力と地域の特性、 、文化、経済、社会などを多角的は する医療体制について学ぶ。【DP	は古くから「上毛か 」人との関わりを大 こ探求し、群馬の生	
到達目標	<ul><li>群馬県の人</li></ul>	を史・文化・経済・社会の概要に と地域の特色について説明でき 建康・医療・福祉の概要について	る。		
関連科目		-ション学入門、社会学、生活文 上・地域サービス論	化と医療、多文化理解、経済学、現	<b>景境学、公衆衛生</b>	
成績評価方法・基 準	演習課題(50	0%) ・課題レポート (50%)			
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	本科目は7.5 時間数180分	コマ(15時間)の講義科目のため ))が必要であり、事前学習(90	り、30時間分の準備学習時間(1コ 0分)・事後学習(90分)が目安と	マあたり4時間(実なる。	
教科書	使用しない				
参考書	<ul><li>十・大学的群馬</li></ul>	手島 仁 朝日印刷工業 2010 ラガイド こだわりの歩き方 高 三方 群馬 2025~26 株式会社(	崎経済大学地域政策学部 観光政策	新学科編 昭和堂 第学科編 昭和堂	
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務	ら課-オフィス・アワー」参照 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
国家試験出題基準	「Active Aca	ademy Advance-Webフォルダ-教務	8課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意	授業中の演習 レット等を持	では、PCを使用しオンライン教 持参してください。	材を利用するため、PC(Windows)	またはOS X)タブ	
アクティブ・ラー ニングの実施	本科目では、を使用します		アクティブ・ラーニングを活用し	たオンライン教材等	
ナンバリング	SBc-104				

講義科目名称: 環境学 授業コード: 2S018

英文科目名称: Environmental Studies 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	2単位	選択	
担当教員	担当者			
西薗 大実				

授業形態	講義		担当者				
授業計画	第1回	環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs	西薗 大実				
	第2回	地球の環境の構造地球の自然の成り立ち	西薗 大実				
	第3回	生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは	西薗 大実				
	第4回	環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ	西薗 大実				
	第5回	典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉱毒、四大公害病	西薗 大実				
	第6回	有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として	西薗 大実				
	第7回	水質汚濁(I) 水質汚濁の原因、生活排水、BOD	西薗 大実				
	第8回	水質汚濁(Ⅱ) 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり	西薗 大実				
	第9回	気候変動(I) 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加	西薗 大実				
	第10回	気候変動 (II) 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測	西薗 大実				
	第11回	価重効未ガイ、気候変動の状況と行来が例 気候変動(Ⅲ) 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定	西薗 大実				
	第12回	アの原則、光連国・速上国の責任、ハリ協定 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー	西薗 大実				
	第13回	R  R  R  R  R  R  R  R  R  R  R  R  R	西薗 大実				
	第14回	一般廃棄物・産業廃棄物・恐業性廃棄物とるに 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり	西薗 大実				
	第15回	持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西薗 大実				
科目の目的	バックグラヴて、社会人と	)認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するフンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによっとしてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。動と地域社会活動の促進】					
到達目標	12. 公害問題	の背景と発生原因を理解する 、地球環境問題とその対策の考え方を理解する ネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ					
関連科目	特になし						
成績評価方法・基 準	定期試験(1	00%)					
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	講義資料をも準備学習に必	っとに授業該当箇所の予習・復習(自筆ノートの整備)を行う。 公要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。					
教科書	使用しない	(プリント配布)					
参考書	新版 新しい	新版 新しい環境科学 鈴木孝弘 駿河台出版社 ISBN978-4-411-04039-8C3040					
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照					
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照					
履修条件・履修上 の注意	特になし						
アクティブ・ラー ニングの実施	教室内でのク	<b>バループ・ディスカッション</b>					
ナンバリング	SBd-101						

I			

講義科目名称: 基礎生物学 授業コード: 28019

英文科目名称: Basic Biology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
嶋田 淳子				

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	ヒトへの進化 生命を支える物質(1) ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	嶋田 淳子
	第2回	生命を支える物質(2) 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物(糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質(無機塩類)	嶋田 淳子
	第3回~4回	生命の単位 ①ウイルス、原核細胞(細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞内体の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・ ゴルジ体の構造と機能 ・ ブソソーム ・ ペルオキシソーム ・ ミトコンドリア ・ 色素体 ・ 細胞骨格の種類とその役割	嶋田 淳子
	第5回	DNA ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ	嶋田 淳子
	第6回	受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖、減数分裂 ②受精 ③初期発生と分化のしくみ ④形態形成とアポトーシス	嶋田 淳子
	第7回	生体防御と免疫 ①免疫細胞 ②サイトカイン	嶋田 淳子
	第8回	ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③遺伝病の原因─遺伝子変異	嶋田 淳子
科目の目的	する。特に基 増殖と生殖総 て知識を深る	職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的と 基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の 細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝につい めることを目的とする。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求 引力と倫理観】	
到達目標	①生命の起記②細胞構造 ③細胞の構造 ③細胞の構造 ④体細胞分裂 ⑤生殖、発生	活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 原からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明で 造、 細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する 裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。	
関連科目	化学、解剖学	ŻΙ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基 準	定期試験の原	<b></b> 戍績(80%)及び講義終了時に提出するリアクションペーパー(20%)により評価する。	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	ておくこと。	ラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習し 特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典(岩波書店、東京など)で調べ、理解しておくこと。	

教科書	「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄 (医歯薬出版株式会社)
参考書	1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳(南工堂) 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻〜3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー-バックス(講談社) 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、 講義資料等で予習後、履修することが望ましい。
アクティブ・ラー ニングの実施	授業の中でグループワークを行う。
ナンバリング	SBd-102

講義科目名称: 生物学 授業コード: 28020

英文科目名称: Biology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
嶋田 淳子				

授業形態	講義			担当者	
授業計画	第1回・2回 遺伝子の転写・翻訳 ①遺伝子の転写 ②遺伝子の転写 ②遺伝子の翻訳 ③原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ④エピジェネティックス			嶋田 淳-	子
	第3回・4回	遺伝子の複製 ①遺伝子の複製 ②染色体の分配 ③染色体異常 ④遺伝病 ⑤細胞周期		嶋田 淳-	子
	第5回・6回	がんとがん遺伝子 ①がんの原因 ②がん遺伝子とがん抑制遺伝子	<u>.</u>	嶋田 淳-	子
	第7回・8回	細胞科学の先端研究と医療への ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチンープロテアソーム ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究 ④細胞分裂の限界と老化	<b>至</b> 3系	嶋田 淳-	子
科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺仔子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する生物学分野の研究進捗状況について理解する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】			する。本講義では、 細胞のDNA複製や遺伝 異常について学ぶ。	
到達目標	基礎生物学の学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、発現調節、DNAの変異などについて知識を深める。 ②ヒトにおける染色体異常、および遺伝病ついて学び、説明できる。 ③がんの原因、がん遺伝子、がん抑制遺伝子について学ぶ。 ④細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。			<b>いて知識を深める。</b>	
関連科目	基礎生物学、基礎化学、解剖学I、生理学I、生化学				
成績評価方法・基 準	定期試験の成	績(90%)及び講義終了時に提出	はするリアクションペーパー(10%	)により評価する。	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典(岩波書店、東京化学同人社など)で調べ、理解しておくこと。			を1時間程度復習し 典(岩波書店、東京	
教科書	「人の生命科	学」 佐々木 史江、堀口 毅、岸	生 邦和、西川 純雄 (医歯薬出版	株式会社)	
参考書	1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳(南工堂) 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻〜3巻」 D.サダヴァ他著 ブルー-バックス (講談社) 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)			・バックス(講談社)	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照				
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照				
履修条件・履修上 の注意	基礎生物学を	履修していることが望ましい。			
アクティブ・ラー ニングの実施	授業の中でグ	゛ループワークを行う。			
ナンバリング	SBd-103				

講義科目名称: <u>基礎数学</u> 授業コード: 2S021

英文科目名称: Basic Mathematics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
井上 浩一				

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	数と式 展開・因数分解を復習する。	井上 浩一
	第2回	方程式と不等式 1次不等式,2次方程式の復習をする。	井上 浩一
	第3回	2次関数 2次関数とそのグラフ,2次関数の最大・最小,	井上 浩一
		2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係性を復習する。	
	第4回	図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量を復習する。	井上 浩一
	第5回	個数の処理 順列、組合せを復習する。	井上 浩一
	第6回	確率 事象と確率,確率の性質,反復試行の確率,条件つき確率を復習する。	井上 浩一
	第7回	事家と確学、確学の性質、反復試行の確学、未行りさ確学を復音する。 論理と命題 集合とその要素の個数、命題と条件、逆、裏、対偶を復習する。	井上 浩一
	第8回	果らこての安系の個数、中國と米性、逆、義、対病を復省する。 データの分析 データの整理と特徴的な値(平均、分散、相関係数など)を復習する。	井上 浩一
科目の目的	つけて応用すし、その上で二次関数、原	をで復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結けるセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式と形と軽量、場合の数と確率、論理と命題、データの分析について学ぶ。【コミュニを力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	び 現
到達目標	2. 数学の概	数学の概念の復習をする。 念や道具を自力で扱えるようにする。 ものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	基礎統計学,	物理学、化学、情報処理、データサイエンス	
成績評価方法・基 準		%)+ 小テスト(10%) 青勢に応じて,筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	<ul><li>高校数学の</li><li>プリントを</li></ul>	り教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ◇問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書	配布期間:前	こなし 内容のプリントをActive Academyで配布する 前回授業翌日から当該日まで 各自印刷して授業に持参すること	
参考書	高校数学IAの	D教科書	
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意			
アクティブ・ラー ニングの実施	実施しない		
ナンバリング	PBd-104		

講義科目名称: 数学 授業コード: 2S022

英文科目名称: Mathematics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		1学年	1単位	選択			
担当教員		担当者	<b>,</b>				
井上 浩一							
授業形態	講義						
授業計画	第1回	1回 三角関数 一般角と弧度法,三角関数の加法定理,三角関数の合成,和と積の変換					
	第2回	複素数		表表生では、 複素共役、利余の定理、因数定理 オ上 浩-			
	第3回	指数関数と	: 対数関数	数の導入、対数法則、底の変換公式 井上 浩一			
	第4回 ベクトルと行列 ベクトル・行列の導入、基本的な性質						
	第5回	微分の導入 微分の定義,整式の微分,極大値・極小値					
	第6回	微分の基本	#上 浩一 微分, 三角関数・指数関数・対数関数の微分				
	第7回	積分の導力	積分の導入 積分の定義,整式の積分,図形の面積				
	第8回		積分の応用 置換積分,部分積分,三角関数・指数関数・対数関数の積分,微分方程式				
科目の目的	て定量的にと評価も重につけ、専数、対数関	とらえ、分析 要である。本 門科目の円滑	・評価する能力だ 科目はそれらのだ な理解につなぐこ と行列、微分・種	態や疾病状態、患者集団の動向などを種々のデータによっ が求められる。また患者への治療・検査刺激の量的な理解 ための基礎的数学知識の確認に加えて、発展的な知識を身 ことを目指す。具体的には、三角関数、複素数、指数関 責分(数ⅡⅢ)、微分方程式などについて学ぶ。			
到達目標	1. 医療や和 2. 数理現象	斗学を学ぶたぬ 象を理解したり	カのやや進んだ数 )、評価したり、	学的な知識と技能を学ぶ。 扱かったりする数学的なセンスを養う。			
関連科目	基礎数学、物理学、化学、情報処理、データサイエンス						
成績評価方法・基 準	レポート試験(90%) + 小テスト(10%)						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	<ul><li>高校数学</li><li>プリント</li></ul>	・高校数学の教科書の該当する部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)					
教科書	毎回,講義配布期間:	前回授業翌日	し。 tive Academyで酉 から当該日まで 授業に持参するこ				

「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照

「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照

参考書

の注意

オフィス・アワー

国家試験出題基準

履修条件•履修上

アクティブ・ラー ニングの実施

ナンバリング

高校数学ⅡBⅢの教科書

実施しない

PBd-105

講義「基礎数学」も履修することが望ましい。

講義科目名称: 基礎化学 授業コード: 28023

英文科目名称: Basic Chemistry 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
日置 英彰				

授業形態	講義		担当者				
授業計画	第1回	化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて,化学物質がどのように医療に貢献してきた か考える.	日置 英彰				
	第2回 第3回	物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造,原子軌道,分子軌道について解説する. 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか,元素の分類と周期表の読み方について解説する.	日置 英彰日置 英彰				
	第4回 第5回	イオン イオンとイオン結合の原理,生体内でのイオンの役割について解説する. 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である.有機分子の結合様式,特有な形,一般的な性質について解説する.	日置 英彰日置 英彰				
	第6回	水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態(気体、液体、固体)について 解説する.	日置 英彰				
	第7回	物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は,速度論と平衡論の両面から考察する必要がある.これらについて概 説する.	日置 英彰				
	第8回	放射線と放射能 放射性崩壊と半減期,医療における放射性同位体の利用について解説する.	日置 英彰				
科目の目的	めれば見えな と言われる们 課程で学修す	るすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰ないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門での容を体系的に理解ための基礎的知識を身につけることを目的とする。【基本的知【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】					
到達目標	専門課程で学	全習する内容を体系的に理解するために,化学分野の基礎的知識を習得する.					
関連科目	生化学						
成績評価方法・基 準	試験(75% の提出(25						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	テストを活用 連する内容に	らりませんが,毎回の講義の理解度を確認するために,講義ごとに出題されるチェック目して復習してください.また,講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと,講義に関こついてさらに深く学習したことについて,毎講義ごとにリアクションペーパーademyのアンケート機能を利用)を提出してもらいます.講義を通して30時間分の学習					
教科書	看護系で役立	Zつ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人					
参考書	特に指定なし						
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照						
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照					
履修条件・履修上 の注意	特にありませ	th.					
アクティブ・ラー ニングの実施	受講内容に関い. 各回ごと	関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってくださた提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください.					
ナンバリング	SBd-106						

講義科目名称: 化学 授業コード: 25024

英文科目名称: Chemistry 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
日置 英彰				

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	病気と闘う化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように 関わっているのか考える.	日置 英彰
	第2回	生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要 な役割を果たしている.これら有機化合物の性質を官能基別に解説する.	日置 英彰
	第3回	酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する.	日置 英彰
	第4回	酸化と還元物質の酸化と還元,生体内での酸化還元反応について解説する.	日置 英彰
	第5回	生体高分子 糖,タンパク質,核酸の化学構造とその性質について解説する.	日置 英彰
	第6回	触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している. 化学反応における触媒の役割, 酵素の構造と触媒作用について解説する.	日置 英彰
	第7回	合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている.各種高分子の性質と医療材料への 応用について解説する	日置 英彰
	第8回	拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象の原理に ついて解説する.	日置 英彰
科目の目的	査薬等を扱う	)関係は深い、生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検 には化学的な見方・考え方は重要である、本講義ではその基本的知識を習得する、 哉と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	生体関連物質 る.	重,医薬品,医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解す	
関連科目	生化学		
成績評価方法・基 準	試験(75% の提出(25	ん), 毎講義ごとのリアクションペーパー(Active Academyのアンケート機能を利用) 5%)	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	テストを活用  連する内容に	っりませんが,毎回の講義の理解度を確認するために,講義ごとに出題されるチェック目して復習してください.また,講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと,講義に関こついてさらに深く学習したことについて,毎講義ごとにリアクションペーパーademyのアンケート機能を利用)を提出してもらいます.講義を通して30時間分の学習	
教科書	看護系で役立	Zつ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特になし		
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意	特にありませ	ታん.	
アクティブ・ラー ニングの実施	受講内容に関い. 各回ごと	別連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってくださ に提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください.	
ナンバリング	SBd-107		

講義科目名称: 基礎物理学 授業コード: 28025

英文科目名称: Basic Physics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
丸山 星				

接業計画
物理学で使用する数値や単位の表し方、理解に必要な数学的知識について学ぶ。  東通   連動   で置き変位、速度・加速度について学ぶ。  東山   位置と変位、速度・加速度について学ぶ。  東山   常4回   さまざまな力とその働き①   物体にはたらく力とそのつり合い、運動の法則について学ぶ。  東海   発布の運動、水平面・斜面上の物体の運動について学ぶ。  東京回   大平面・斜面上の物体の運動について学ぶ。  東京回   温度と熟   内部エネルギーとその保存について学ぶ。  東京回   渡返性質、音と振動について学ぶ。  東京回   渡の推覧、音と振動について学ぶ。  東京回   電気と力、電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。  東京回   電気と力、電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。  東京回   東京と北京の運動   東京と北京の運動   東京の連動について学ぶ。  東京回   東京とより、東京回   東京とより、東京回   東京とまりたけることを目的とする。
第2回   運動
第3回 さまざまな力とその働き① 物体にはたらく力とそのつり合い、運動の法則について学ぶ。   第4回 さまざまな力とその働き②   落体の運動、水平面・斜面上の物体の運動について学ぶ。   丸山 第5回
第4回 さまざまな力とその働き② 落体の運動、水平面・斜面上の物体の運動について学ぶ。 丸山 第5回 仕事とエネルギー 力学的エネルギーとその保存について学ぶ。 丸山 カウ 温度と熱 温度と熱 内部エネルギーについて学ぶ。 第7回 波の運動 カロ 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 第8回 電気と力 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 丸山 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 ス山 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 カロ 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 カロ 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 関連科目 物理学の基礎的概念を理解しているい学生が、物理学の基本的概念と標準的な問題解決方法を身に は基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】 物理学の基礎的概念を理解している。 物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。 物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。 物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。
第5回 仕事とエネルギー 力学的エネルギーとその保存について学ぶ。 第6回 温度と熱、内部エネルギーについて学ぶ。 第7回 波の運動 波の性質、音と振動について学ぶ。 第8回 電気と力 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 の音等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学の基本的概念と標準的な問題解決方法を身につけることを目的とする。 【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】 到達目標 物理学の基礎的概念を理解している。 物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。 関連科目 物理学 成績評価方法・基 準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習に必要な
第6回 温度と熟、内部エネルギーについて学ぶ。 第7回 波の運動 波の性質、音と振動について学ぶ。 第8回 電気と力 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 和目の目的 医療従事者にとって最低限必要な一般教養としての基礎物理学を網羅的に学習する。高等などを目的とする。「基本的知識と技術」【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】  到達目標 物理学の基礎的概念を理解している。 物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。 関連科目 物理学 成績評価方法・基 講義での演習(50%)、定期試験(50%:手書きのノートの持ち込み可)  準備学習の内容・ 準備学習に必要な  講義資料や確認問題をもとに事前学習(60分)・事後学習(60分)を行うこと。
第7回 波の運動 波の性質、音と振動について学ぶ。 第8回 電気と力 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。 料目の目的 医療従事者にとって最低限必要な一般教養としての基礎物理学を網羅的に学習する。高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学の基本的概念と標準的な問題解決方法を身につけることを目的とする。 【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】 到達目標 物理学の基礎的概念を理解している。 物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。 関連科目 物理学 講義での演習 (50%)、定期試験 (50%:手書きのノートの持ち込み可) 準備学習の内容・ 講義資料や確認問題をもとに事前学習 (60分)・事後学習 (60分)を行うこと。
電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。  科目の目的  医療従事者にとって最低限必要な一般教養としての基礎物理学を網羅的に学習する。高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学の基本的概念と標準的な問題解決方法を身につけることを目的とする。 【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】  到達目標  物理学の基礎的概念を理解している。物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。 関連科目  物理学  成績評価方法・基  講義での演習(50%)、定期試験(50%:手書きのノートの持ち込み可)  準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習に必要な
高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学の基本的概念と標準的な問題解決方法を身につけることを目的とする。 【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】  到達目標 物理学の基礎的概念を理解している。物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。 関連科目 物理学  成績評価方法・基 講義での演習(50%)、定期試験(50%:手書きのノートの持ち込み可)  準備学習の内容・ 準備学習の内容・ 準備学習に必要な 講義資料や確認問題をもとに事前学習(60分)・事後学習(60分)を行うこと。
物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。         関連科目       物理学         成績評価方法・基準       講義での演習(50%)、定期試験(50%:手書きのノートの持ち込み可)         準備学習の内容・準備学習に必要な       講義資料や確認問題をもとに事前学習(60分)・事後学習(60分)を行うこと。
成績評価方法・基 準備学習の内容・ 準備学習に必要な 講義資料や確認問題をもとに事前学習(60分)・事後学習(60分)を行うこと。
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 講義資料や確認問題をもとに事前学習(60分)・事後学習(60分)を行うこと。
準備学習に必要な
教科書     指定しない
参考書 まるわかり!基礎物理 改訂2版、時政孝行 監修、南山堂、2021
オフィス・アワー メールにて随時対応します (maruyama@gchs. ac. jp)
国家試験出題基準 「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 物理学と併せて履修することをお勧めします。 の注意
アクティブ・ラー 問題解決学修、リアルタイムアンケートとフィードバック ニングの実施
ナンバリング OBd-108

講義科目名称: 物理学 授業コード: 28026

英文科目名称: Physics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
丸山 星				
			•	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 力のつり合いと運動の法則	丸山 星
	カのモーメント、剛体の回転運動とつり合いについて学ぶ。 第2回 運動量と力学的エネルギー	丸山 星
	運動量とその保存、衝突する物体の運動について学ぶ。 第3回 円運動と単振動	丸山 星
	円運動する物体にはたらく力と、振動する物体について学ぶ。 第4回 熱力学	丸山 星
	気体分子の運動と圧力の関係について学ぶ。 第5回 波の運動	丸山 星
	波の屈折や反射、回折、干渉、音のドップラー効果について学ぶ。 第6回 電磁気(電気と力)	丸山 星
	電界と電位、コンデンサのはたらきについて学ぶ。 第7回 電磁気(電流と磁界)	丸山 星
	電流と磁界の関係、電磁誘導について学ぶ。 第8回 原子の構造と放射線	
	原子核の崩壊と放射線の種類について学ぶ。	丸山 星
科目の目的	医療従事者にとって必要な物理学を学習する。 高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学全体の基礎的な理解を深めることを目的とす る。この科目の学習を通して、科学的・論理的な考え方を養い、物理現象を定性的・定量的に取り	
	る。この科目の学質を通じて、科学的・論理的な考え方を養い、物理現家を定性的・定量的に取り 扱えるようにする。 【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	物理学の考え方が身につき、重要な概念を理解している。 物理学に関係する問題を解決でき、物理現象を定量的・定性的に取り扱うことができる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基 準	講義での演習 (50%) 、定期試験 (50%:手書きのノートの持ち込み可)	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	講義資料や確認問題をもとに事前学習(60分)・事後学習(60分)を行うこと。	
教科書	指定しない	
参考書	まるわかり!基礎物理 改訂2版、時政孝行 監修、南山堂、2021	
オフィス・アワー	メールにて随時対応します (maruyama@gchs.ac.jp)	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意	基礎物理学と併せて履修することをお勧めします。	
アクティブ・ラー ニングの実施	問題解決学修、リアルタイムアンケートとフィードバック	
ナンバリング	0Bd-109	

講義科目名称: 基礎栄養学 授業コード: 28027

英文科目名称: Basic Nutritional Science 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
	担当者			
本田 佳子				

授業形態	講義8回(演	資習時間を設ける講義回がある)			担当者	
授業計画	第1回	栄養の概念、食物の摂取 栄養とは、空腹感と食欲、食事	<b>ま</b> のリズムとタイミング		本田佳子	
	第2回	食物から食糧、栄養素成分から食糧の含有する栄養素成分、食	分栄養		本田佳子	
	第3回	消化と吸収の概要とたんぱく質	€・糖質・脂質の消化吸収 消化と膜消化、消化管ホルモン、	たんぱく質・糖質・	本田佳子	
	第4回	糖質の栄養-食後及び空腹時の 血糖値とは、糖質の体内分布、	)糖質代謝- 食後及び空腹時の糖質代謝、他の	栄養素との関係	本田佳子	
	第5回	脂質の栄養-脂質の体内動態- 脂質の種類及び生理作用、脂質	- 5の臓器間輸送		本田佳子	
	第6回	ミノ酸、他の栄養素との関係	- ' 酸プール、窒素出納、たんぱく質 ' 酸プール、窒素出納、たんぱく質		本田佳子	
	第7回	ビタミンの栄養 脂溶性/水溶性ビタミンの構造 しての機能、生物学的利用度	、代謝と栄養学的機能、生物学的	利用度、補酵素と	本田佳子	
	第8回		く・電解質の栄養的意義、エネルキ と・ 生体機能、水の体内分布、水グ		本田佳子	
科目の目的	栄養素の消化した栄養学	化・吸収・代謝の一連の過程を理	持活動について学び、ヒトが生き。 解する。この授業は、原則として( 臨床栄養学、医療栄養学、各専門	建康な成人を対象と		
到達目標	1)食物の摂取と栄養素の消化吸収の過程について説明できる。 2)ヒトが生きるうえで必要となる栄養素の生体内における役割について説明できる。 3)健康の保持・増進のために、摂取すべき栄養素の質と量について説明できる。					
関連科目	生化学、生理学、公衆衛生学、臨床栄養学、リハビリテーション医学、基礎運動療法学					
成績評価方法・基 準	演習での成り	果物40%、筆記試験60%				
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安		学で学んだ代謝に関連した項目お き2時間の予習・復習	よびキーワードを復習			
教科書	教科書「八割	訂食品成分表2025」(女子栄養大	学出版部)			
参考書	Visual栄養等	曽根博仁編:栄養科学イラストレ 学テキスト 臨床栄養学 I 総論 ト 医歯薬出版	イテッド臨床栄養学 基礎編 羊 中山書店、本田佳子編:新臨床	上社、本田佳子編: 栄養学 栄養ケアマ		
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advance-Webフォルダ-教務	S課-オフィス・アワー」参照			
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照					
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施	問題解決学習	習、ディスカッションの実施				
ナンバリング	0Bd-110					

講義科目名称: 基礎統計学 授業コード: 28028

英文科目名称: Basic Statistics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
前期		1学年	1単位	必修	
担当教員		担当者			
富田 浩					
155 Mb 77 465					±0 1/1 <del>1/2</del>

授業形態	講義		担当者					
授業計画	第1回	生体の何を測るのか/尺度水準と誤差 生体計測工学の定義と領域、生体を計測するにあたっての主体について学ぶ. データの持つ意味・性質や誤差について学ぶ.	目黒					
	第2回	筋力に関わる基礎知識 筋活動や筋力の計測にあたり,理解すべき事柄について学ぶ	富田					
	第3回	筋電図 筋活動の計測法として筋電図とその見方について学ぶ	富田					
	第4回	筋力計測機器 等速性筋力評価訓練器と徒手筋力測定器について学ぶ	富田					
	第5回	重心動揺計 重心・足圧中心と重心動揺計について学ぶ	富田					
	第6回	三次元動作解析装置概論 動作解析とその手法ならびに測定手法について学ぶ	仲保徹					
	第7回	三次元動作解析装置演習 1 現在用いられる最もポピュラーな手法である三次元動作解析装置について学ぶ	仲保徹					
	第8回	三次元動作解析装置演習 2 実際に三次元動作解析装置を用いてどのように測定するかその手法を学ぶ	仲保徹					
科目の目的	医療の現場や基礎医学の授業・実習で使われるヒトの機能や形態を計測する機器の基本的な原理や使用方法を理解するために、対象から客観的な情報を抽出するために必要な基準と手法、代表的な人間の身体に関する物理量を取り上げ、これら諸量の生理学的意義と計測の目的、計測法の原理などについて学ぶ。  DP2. 【知識・理解・実践能力】							
到達目標	計測はどのように自然を客観的に記述するかを考える基礎的な作業であり、事実仮説を検証するための定量的表現を与える作業である。本講では、代表的な人間の身体に関する物理量を取り上げ、 これら諸量の生理学的意義と計測の目的、計測法の原理などについて理解する。							
関連科目	運動学 運動	助学実習 支援工学 臨床動作解析学						
成績評価方法・基 準	筆記試験(1	00%)						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	資料と参考書	書による事前学習が望ましい.各回事前・事後学習あわせて180分程度.						
教科書	使用しない							
参考書	「初学者の方	門」内山靖・小林武・間瀬教史 とめの生体機能の測り方」加藤 象二郎・大久保 堯夫(日本出版サービス) geシリーズ 電気・電子入門」日髙邦彦・清水五男(実教出版)						
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照						
国家試験出題基準	「Active Ac	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照						
履修条件・履修上 の注意								
アクティブ・ラー ニングの実施	演習問題の多	<b>実施</b>						
ナンバリング	0S1-301							

講義科目名称: 英語リーディング 授業コード: 2S029

英文科目名称: General English Reading 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
井上 まゆみ				

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Introduction Lesson 1 Communication 授業の説明 自己紹介 現在形	井上 まゆみ
	第2回	Lesson 2 Friendship 過去形	井上 まゆみ
	第3回	Lesson 3 Health and Environment 現在完了形	井上まゆみ
	第4回	Lesson 4 Gender Equality 未来表現	井上まゆみ
	第5回	Lesson 5 Fashion 助動詞①	井上まゆみ
	第6回	Lesson 6 Food 助動詞②	井上まゆみ
	第7回	Lesson 7 The History of YouTube 比較をする表現①	井上まゆみ
	第8回	Lesson 8 Study Abroad 比較をする表現②	井上まゆみ
	第9回	Lesson 9 College Life in the U. S. 受け身、使役	井上 まゆみ
	第10回	Lesson 10 Olafur Eliasson 関係詞①	井上 まゆみ
	第11回	Lesson 11 Volunteer Work 関係詞②	井上まゆみ
	第12回	Lesson 12 Career 形容詞用法	井上まゆみ
	第13回	Lesson 13 Travel 仮定法	井上 まゆみ
	第14回	Lesson 14 Culture 話法	井上 まゆみ
	第15回	Lesson 15 An International World ディスコース標識	井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の学 学ぶことを 持った事柄 活動の促進】	英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を 通して、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を こ関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。 【多職種協働と地域社会	
到達目標	理解し、英ストの ・テキストの ・テキストす ・extensive	や各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく 文の内容を理解することができる。 カトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通 の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 数材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表 舌での英語表現が理解できる。	
関連科目	医療英語会認	舌、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基 準	定期試験(6	0%) 課題(30%) extensive reading(10%)	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	予習:次回に つかむ。どこ 復習:そのE extensive r	こ学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。	
教科書	教科書: Jou	rneys: Communication for the Global Age 阿野幸一ほか4名 (朝日出版社)	
参考書	なし		
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上	高校までの基	<b>基本的英文法は理解しておいてください。</b>	

の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし
ナンバリング	SBe-101

講義科目名称: 医療英語リーディング 授業コード: 2S030

英文科目名称: Medical English Reading 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
井上 まゆみ				

授業形態	講義		担当者					
授業計画	第1回	Introduction Test Your Reading Skill 授業の説明、各自のreading skillのチェック、単語力のチェック。	井上 まゆみ					
	第2回	Unit 1 How Food Passes Through Our Body topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第3回	Unit 2 Coping with Cancer topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第4回	Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第5回	Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第6回	Unit 5 How Are Drugs Developed? topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第7回	Unit 6 What Comes First when Helping Others topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第8回	Unit 7 How to Identify Reliable Health Information topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第9回	Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第10回	Unit 9 Actions Speaks Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第11回	Unit 10 Genetic Counseling as an Emerging Field topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第12回	Unit 11 Can Medical Tourism Be a White Knight? topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第13回	Unit 12 Hopes in Regenerative Medicine topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第14回	Unit 13 Traditional Medicine in the Modern World topicの英文読解、内容の把握。	井上まゆみ					
	第15回	Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World Reading Skill のチェック	井上 まゆみ					
		topicの英文読解、内容の把握。各自のreading skillの再チェック。単語力の再 チェック。						
科目の目的	専門分野の芽医療系の基本	英語に取り組むためのリーディング力、リスニング力、表現力の養成と強化。 は的英語語彙力と英語表現力の強化。【多職種協働と地域社会活動の促進】	- I					
到達目標	・トピックの・テキストの	工関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 O内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 O音声を聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 K的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで書くことができる。						
関連科目		マング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング						
成績評価方法・基 準	定期試験(7	0%) 課題(30%)						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	調べ、英文の 復習:その日 音できるよう	工学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書での大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。 日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発 日に音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 日にも大利時間。						
教科書	教科書: Med	教科書:Medical World Walkabout 大野直子&ダシルヴァ石田牧子 (成美堂)						
参考書	なし							
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照						
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照						
履修条件・履修上 の注意	高校までの基	基本的英文法は理解しておいてください。						

アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし
ナンバリング	SBe-102

講義科目名称: 英語会話 授業コード: 2S031

英文科目名称: General English Conversation 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
David Andrews				

授業形態	講義		担当者				
授業計画	第1回	Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews				
	第2回	Unit 1: I'm sorry. What's your name again? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews				
	第3回	小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews				
	第4回	小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews				
	第5回	小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) + 第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel + プレゼンテーションの準備。	David Andrews				
	第6回	第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーション + Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews				
	第7回	小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews				
	第8回	小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews				
	第9回	小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews				
	第10回	小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) + 第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities + プレゼンテーションの準備	David Andrews				
	第11回	第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第2回目のプレゼンテーション + Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews				
	第12回	小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews				
	第13回	小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews				
	第14回	小テストU10 および Unit 11: Lost and Found + 第3回目のプレゼンテーション準備 Describing an item you have lost + プレゼンテーションの準備。	David Andrews				
	第15回	第3回目のプレゼンテーション + Unit 12: How was your vacation? 第3回目のプレゼンテーション + Talking about your experiences	David Andrews				
科目の目的	に付け、様々	英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。 [キーワー重協働と地域社会活動の促進]]					
到達目標	<ul><li>様々な場面</li></ul>	とや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 女化や風習を理解する。					
関連科目	医療英語会言 ティング	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライ					
成績評価方法・基 準	ゼンテーショ	夏(5%)、小テスト(30%)、第1回目のプレゼンテーション(15%)、第2回目のプレ ョン(20%)、第3回目のプレゼンテーション(30%) テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	/				
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安		D授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、プレゼンテーションは合わせて6時間程度。	/				
教科書	教科書:使月 適宜、教材月	月せず 日資料を配布					

参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	授業中のスマホ使用は原則禁止。予習は必ずすること。積極的に参加すること。定期試験無し。
アクティブ・ラー ニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション
ナンバリング	SBe-103

講義科目名称: 医療英語会話 授業コード: 28032

ナンバリング

SBe-201

英文科目名称: Medical English Conversation 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

大人们 日 石 小 ·	Medicai Li	igiish conv	ersacion		外家パプコユ	74. 20204	一反パノイエノム
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		2学年	1単位	必修			
担当教員		担当者					
David Andrews							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年)	度カリキュラム)			
科目の目的							<b>'</b>
到達目標							
関連科目							
成績評価方法·基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	\( \begin{aligned} \int \text{Active A} \end{aligned} \)	.cademy Advan	ice-Webフォルダー	教務課-オフィス・`	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advan	ice-Webフォルダー	教務課-国家試験出	題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード: 2S033

SBe-301

英文科目名称: Academic Reading and Writing in English 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

关入行口右你·	Academic r	teauring and	wilting in En		州家カラコエ	ノム· 2020年度	<del></del>
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		3・4学年	1単位	選択			
担当教員		担当者					
David Andrews							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度開	講せず(2025年	度カリキュラム)			
科目の目的							1
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・)	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題	題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 国際コミュニケーション英語 授業コード: 2S034

英文科目名称: English for International Communication 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
後期		3·4学年	1単位	選択	
担当教員		担当者			
David Andrews					
授業形態					担当者
授業計画		※今年度開講・	せず(2025年度カ	フリキュラム)	
科目の目的					
到達目標					
関連科目					
成績評価方法・基 準					
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安					
教科書					
参考書					
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-V	Webフォルダ-教務	<b></b> 務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-V	Webフォルダ-教務	務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意					
アクティブ・ラー ニングの実施					
ナンバリング	SBe-302				

講義科目名称: 中国語 授業コード: 2S035

英文科目名称: Chinese 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
深町 悦子				

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス、中国語とは? 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回	中国語の発音のきまり単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回	子音の発音と音節母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回	発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回	第1課の学習 第1課 自己紹介 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第6回	第1課の復習と第2課の学習 第2課 教室で 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第7回	第2課の復習と第3課の学習 第3課 キャンパスで 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第8回	発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回	第3課の復習と第4課の学習 第4課 友達と 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第10回	第4課の復習と第5課の学習 第5課 ファストフード店で 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第11回	第5課の復習と第6課の学習 第6課 待ち合わせ 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第12回	第6課の復習と第7課の学習 第7課 旅行 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第13回	第7課の復習と第8課の学習 第8課 アルバイト 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第14回	第8課の復習と第9課の学習 第9課 風邪 単語 本文 ポイント 練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回	第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグロ・働と地域社	ーバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成す 会活動の促進 <b>】</b>	る。【多職種協
到達目標	日常生活及	び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし		
成績評価方法・基 準	期末に筆記提出された	試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提 レポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	生出が20%。
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業前の予 発音の練習 るように。	習と授業後の復習をすること。1コマあたり60分程度必要である。 は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きなが	ら発声して覚え

教科書	教科書:キャンパスで始める中国語(白帝社)
参考書	参考書:なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし
ナンバリング	SBf-101

講義科目名称: コリア語 授業コード: 2S036

英文科目名称: Korean 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
青木 順				

授業形態	講義		担当和	者
授業計画	第1回	ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木	順
	第2回	ハングルの読み方 基本子音 基本子音 4 個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木	順
	第3回	ハングルの読み方 基本子音 基本子音 4 個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として「混ぜる食文化」を紹介する。	青木	順
	第4回	ハングルの読み方 激音 (濃音と比較しながら) 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶、伝統服を紹介する。	青木	順
	第5回	ハングルの読み方 濃音 (激音と比較しながら) 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として韓国の包む文化~「サム料理」を紹介する。	青木	順
	第6回	ハングルの読み方 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木	順
	第7回		青木	順
	第8回	「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木	順
	第9回	「私は青木順です」② 「は」「です」「〜と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。	青木	順
		文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。		
	第10回	「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか?」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木	順
	第11回	「何人家族ですか」② 「お~になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木	順
	第12回	「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木	順
	第13回	「すみません」① 関連単語、「~してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木	順
	第14回	「すみません」② 「いる(いない)」「ある(ない)」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木	順
	第15回	「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木	順
科目の目的		ンな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。 3個と地域社会活動の促進】		
到達目標	<ul><li>正確な</li></ul>	ル文字を正確に読み書きできるようになる。 発音をマスターする。 はじめ、簡単な日常会話を身につける。		
関連科目	特になし。			

成績評価方法・基 準	課題への取り組み (40%) ・期末テスト (60%)
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、1コマ当たり1時間を目安に積極的に取 り組むこと。
教科書	講師作成教材使用予定(コピー)
参考書	特になし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間:前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法:各自印刷して授業に持参すること(課題も含まれているため、印刷必須)。
アクティブ・ラー ニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。
ナンバリング	0Bf-102

講義科目名称: ドイツ語 授業コード: 2S037

英文科目名称: Gernman 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
伊藤 貴康				

授業形態	講義				担当者		
授業計画	Lekion1	動詞の現在人称変化 1			伊藤 貴康		
	Lektion2	名詞と冠詞の格変化			伊藤 貴康		
	Lektion3	名詞の複数形・人称代名詞	詞の複数形・人称代名詞				
	Lektion4	動詞の現在人称変化2・命令法	<u> </u>		伊藤 貴康		
	Lektion5	定冠詞類・不定冠詞類			伊藤 貴康		
	Lektion6	前置詞			伊藤 貴康		
	Lektion7	話法の助動詞・未来形・非人利	<b> *動詞</b>		伊藤 貴康		
	Lektion8	分離動詞と非分離動詞・接続詞	ij		伊藤 貴康		
	Lektion9	動詞の三基本形・過去人称変化	Ź		伊藤 貴康		
	Lektion10	現在完了・再帰表現			伊藤 貴康		
	Lektion11	形容詞の格変化			伊藤 貴康		
	Lektion12	形容詞と副詞の比較変化・zuイ	<b>、</b> 定詞		伊藤 貴康		
	Lektion13	関係代名詞・指示代名詞			伊藤 貴康		
	Lektion14	受動態			伊藤 貴康		
	Lektion15	接続法			伊藤 貴康		
科目の目的	ドイツ語の基	基礎文法を一巡する。【多職種協	働と地域社会活動の促進】				
到達目標	講師のいない	・独習においても辞書と教科書を	用いてドイツ語の文章が理解できる	るようにする。			
関連科目	健康スポーツ 処理	/実技 現代文学 英語リーディン	グ 医療英語会話 中国語 コリア語	ポルトガル語 情報			
成績評価方法・基 準	期末試験100	%					
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各文法事項一	-課につき予習復習込みで二時間					
教科書	教科書は郁文 01272-9を使	て堂からでているDeutsche Gramm 用。辞書は郁文堂:新キャンパク	atik System und Praxis Leicht l く独和辞典978-4-261-07306-5をおり	[SBN978-4-261- 買い求めください。			
参考書	CD付き オー	CD付き オールカラー超入門! 書いて覚えるドイツ語ドリル (ナツメ社) 978-4816362538					
オフィス・アワー	「Active Ac	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照					
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務	務課-国家試験出題基準」参照				
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし						
ナンバリング	SBf-103						

講義科目名称: ポルトガル語 授業コード: 2S038

英文科目名称: Portuguese 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
Hilda Harumi Handa				

授業形態	講義					
授業計画	第1回	Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.				
	第2回	Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa			
	第3回	Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa			
	第4回	Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa			
	第5回	Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa			
	第6回	Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa			
	第7回	Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa			
	第8回	Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa			
	第9回	Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa			
	第10回	Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa			
	第11回	Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa			
	第12回	Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa			
	第13回	Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa			
	第14回	Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa			

	第15回 From	п:12-
	Let's see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会の多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。	
	また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。	
	ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。	
	本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。	
	(1) ポルトガル語を読める (2) 名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3) 挨拶など基礎的な表現ができる (4) 基礎的な語彙を使うことができる (5) 動詞の活用ができる	
	これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基 準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
数科書 教科書	Teacher will provide handouts.	
参考書	Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
覆修条件・履修上 の注意	5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。	
	大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。	
アクティブ・ラー ニングの実施	discussion , conversation and pair work	
ナンバリング	SBf-104	

講義科目名称:メディア・リテラシー授業コード: 2S039

英文科目名称: Media Literacy

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
米持 圭太	米持 圭太			

授業形態	演習		担当者
授業計画	第1回	本講義の概要と授業準備	米持 圭太
22.6.1	第2回	本講義の概要とパーソナルコンピュータの利用について コンピュータの基礎 ハードウェアとソフトウェア ソフトウェア 情報システム	米持 圭太
	第3回	情報の形態と収集の方法 情報の形態 情報蓄積の形態 クラウド環境の情報 検索エンジン 情報収集の技術 情報収集の応用	米持 圭太
	第4回	インターネットの仕組みとWebシステム インターネットの概要 通信機能の階層化 IPアドレスの仕組み パケット通信の仕組み 通信の経路を選ぶ仕組み データを確実に送り届ける仕組みと素早く送り届ける仕組み アプリケーション層のプロトコル 直接接続する機器の通信 Webアプリケーションの仕組み クラウドコンピューティング	米持 圭太
	第5回	情報の伝達 ソーシャルネットワーキングサービス ブログ 電子掲示板 電子メール ソーシャルメディア 電子書籍	米持 圭太
	第6回	レポートの作成と編集 レポートとは 主題を決める 構造化を考える 内容を作り込む 数式表記 創造的レポートに向けて	米持 圭太
	第7回	レポートの作成演習 レポート作成の演習 ワープロによる文章作成	米持 圭太
	第8回	情報のデータ化と分析・マイニング 情報とデータ データの整理 データの可視化 データマイニング テキストマイニング	米持 圭太
	第9回	情報のデータ化と分析・マイニング演習 情報のデータ化と分析の演習 スプレッドシートによる分析	米持 圭太
	第10回	モデリングとシミュレーション モデルとデータ 確率的現象 傾向と予測 未来を予測する	米持 圭太

#12回 アレゼンテーションの方法 フーリンタと、ミュレーションの演習 アレゼンテーションの方法 フーリンター・10 中心と基本的な操作 技術の進歩とアレゼンテーションの変化  #13回 アレゼンテーションの演習 アレゼンテーションの演習 アレゼンテーションの演習 アレゼンテーションの演習 アレゼンテーションの演習 アレゼンテーションの情報 第14回 ヤキュリティと途や制守 情報性マニル学系が インターネットと歌や制味 情報化タの法令・12 を利用した情報を信 問題解決との法令・12 を利用した情報を信 問題解決との法令・12 を利用した情報を信 問題解決とは対るジュュレーションの利用  #15回 はに活用の問題解決 同期解決とは対るジュュレーションの利用  #15回 はに活用の問題解決 同期解決とは対るジュュレーションの利用  #15回 はに活用の問題解決 に対した情報を信 さいて発したもは情報があかれており、私たちは様々とディアから情報を取得しば用する。情報信用 で情報を行うスネシを受けていけるため、コンピュータネットワークの基本的概念と構成。(最初を連解する)と対理は、情報社会に対しる行動の意味を理解することが求められる。本科目で は大学でのが「学習を運作を選解した。」の実践をしたが、デーンティンを対解した。 で大学に対するでは、特別のが原用があられており、大学に対している。 で大学に対していた。といて学にから、学習を受けない。「大学に対している。」のまま、非視地に、ビンティを、対理がによい。のは、表別、が開発とといて学ののように、学習を受けない。「日本的が知及と対的」とローラーションなどについての演習を行う。 「基本的知識と技術」」にコーニータークインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義 でいて学習する。 コーデータのインターネットの仕組みが開発し、情報の活用、意味、伝達の意義 現実を持定のように、カース・カークの仕組みについて説明できる。 コーデーターク・ススレッドシート、アレゼンテーション・アブリカーションを用いて情報  ###################################		Mr		1/1/14 1 .
		第11回		米持 圭太
# 14回		第12回	シナリオシートの作成と基本的な操作 プレゼンテーションの実際	米持 圭太
情報ときュリティ   情報ときュリティ   情報ときの対策		第13回	プレゼンテーションの演習	米持 圭太
問題解決の基本的手順と1070後割		第14回	情報セキュリティ 情報漏えい対策法 インターネット社会の特性 情報社会の法令	米持 圭太
や情報操作を行うスキルを身につけるため、コンピュータネットワークの基本的概念と構成、仕組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目では大学での学び(学習と研究や臨床実験)をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成、編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ピシュアルな文書作成、インターネッの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、ダラク作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計・Power Point、ブレゼンテーションなどについての観音を行う。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理觀】           到達目標         情報社会におけるコンピュータやインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義について学習する。個別目標: 1、情報の基本的概念について説明できる。 2、コンピュータとコンピュータネットワークの仕組みについて説明できる。 3、ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。           関連科目         情報リテラシー、データサイエンス人門 演習課題 (50%) ミニテスト (50%)           変音時間の自分         技業 (90分) 、事前自己学習 (60分) 、関連項目の事後学習 (60分)           教科書         標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏維 監修 技術評論社 2022           参考書         人門情報処理 ーデータサイエンス、AIを学ぶための基礎ー 寺沢 幹維・福田 收 著 オーム社 2022           オフィス・アワー 「Active Academy Advance-Webフォルダ・教務課-オフィス・アワー」参照           国家試験出題基準 「Active Academy Advance-Webフォルダ・教務課-オフィス・アワー」参照           国家試験出題基準 「Active Academy Advance-Webフォルダ・教務課-オフィス・アワー」参照           アクティブ・ラーに対して、のまりを持参してください。           アクティブ・ラーニングの実施		第15回	問題解決の基本的手順とICTの役割 情報を客観的にとらえる インターネットを利用した情報発信	米持 圭太
について学習する。	科目の目的	や情報操作を 念と構成、の でアアの を が、 でアアの の 基本、 が、 でアクの いて タの リンディ リンディ リンディ リンデータの リンデータの リンデータの リンデータの リンデータの リンデータの リンデータの リンディー	行うスキルを身につけるため、コンピュータやコンピュータネットワークの基本的概組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目でび(学習と研究や臨床実践)をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマル基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excel機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワクシートの活用などにつ計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、ト、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。	
成績評価方法・基 選出課題 (50%) 第二字スト (50%) 準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	到達目標	について学習 個別目標: 1.情報の基 2.コンピュ 3.ワードプ	する。 本的概念について説明できる。 ータとコンピュータネットワークの仕組みについて説明できる。 ロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安       授業 (90分) 、事前自己学習 (60分) 、関連項目の事後学習 (60分)         教科書       標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022         参考書       入門情報処理 一データサイエンス、AIを学ぶための基礎一 寺沢 幹雄・福田 收 著 オーム社 2022         オフィス・アワー       「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照         国家試験出題基準       「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照         履修条件・履修上の注意       MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールした PC (WindowsPC、Mac等)を持参してください。         アクティブ・ラーニングの実施       課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。	関連科目	情報リテラシ	一、データサイエンス入門	
準備学習に必要な 学習時間の目安標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022参考書入門情報処理 ーデータサイエンス、AIを学ぶための基礎ー 寺沢 幹雄・福田 收 著 オーム社 2022オフィス・アワー「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照国家試験出題基準「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照履修条件・履修上 の注意MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールした PC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。アクティブ・ラー ニングの実施課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。	成績評価方法・基 準	演習課題 (50 ミニテスト (	%) 50%)	
参考書	準備学習に必要な	授業 (90分)	、事前自己学習(60分)、関連項目の事後学習(60分)	
2022   オフィス・アワー   「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照   「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照   「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照   MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールした   PC (WindowsPC、Mac等)を持参してください。   課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。   課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。	教科書	標準教科書	改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022	
国家試験出題基準 「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照  履修条件・履修上 の注意 MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールした PC (WindowsPC、Mac等)を持参してください。  アクティブ・ラー ニングの実施 課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。	参考書		一データサイエンス、AIを学ぶための基礎― 寺沢 幹雄・福田 收 著 オーム社	
履修条件・履修上 MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールした PC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。  アクティブ・ラー ニングの実施 課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。	オフィス・アワー	「Active Aca	demy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
の注意PC (WindowsPC、Mac等)を持参してください。アクティブ・ラーニングの実施課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。	国家試験出題基準	「Active Aca	demy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
ニングの実施		MS-Office (MSPC (WindowsPC	S-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールした C、Mac等)を持参してください。	
ナンバリング SBg-101	アクティブ・ラー ニングの実施	課題作成に際	して調査学習を取り入れた演習を行う。	
	ナンバリング	SBg-101		

講義科目名称: AI・データサイエンス・リテラシー 授業コード: 2S040

英文科目名称: AI and Data Science Literacy 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
河内 和直				

授業形態	講義と演習		担当者			
授業計画	第1回	社会におけるデータ・AI活用① 本科目の概要/データサイエンスとは/社会で起きている変化/社会で活用されている データ/パソコン	河内 和直			
	第2回	社会におけるデータ・AI活用② データ・AIの活用領域/データ・AI利活用の技術,現場,最新動向	河内 和直			
	第3回	Excelの基本的な操作方法 Excelの概要/基本的な表・グラフの作成				
	第4回	時系列データの可視化 データのダウンロード/時系列データのグラフ作成と編集	河内 和直			
	第5回	平均値の算出とその可視化 平均の算出/平均の可視化/グラフの比較	河内 和直			
	第6回	標準偏差の算出とその可視化 標準偏差の算出/標準偏差の可視化/グラフの比較	河内 和直			
	第7回	大量のデータを扱う方法 平均と標準偏差/平均±標準偏差の算出/グラフの作成	河内 和直			
	第8回	基本統計量の算出と箱ひげ図① データの要約/基本統計量	河内 和直			
	第9回	基本統計量の算出と箱ひげ図② 五数要約/箱ひげ図	河内 和直			
	第10回	度数分布表の作成とヒストグラム 度数分布表/ヒストグラム	河内 和直			
	第11回	散布図の作成と相関係数の算出① データの相関/散布図	河内 和直			
	第12回	散布図の作成と相関係数の算出② ピアソンの相関係数/相関行列	河内 和直			
	第13回	定性データの扱い方とクロス集計 定性データ/クロス集計表/ピポットグラフ	河内 和直			
	第14回	データ・AI活用における留意事項 倫理・法的・社会的課題/データ倫理/セキュリティ	河内 和直			
	第15回	総括 AI・データサイエンス・リテラシーの総括	河内 和直			
科目の目的	知識を得るこ データサイコ 理の手法を理	おいては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・ことが可能となった。ビックデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創会に貢献する能力】				
到達目標	きる. 個別目標: ・データサイ	エンスに関する基礎的概念について理解し,コンピュータによってデータ解析が実践で イエンスについて基礎的概念を説明できる. イエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える.				
関連科目	情報処理, 情	青報リテラシー、医療統計学				
成績評価方法・基 準	授業中に提出	出する演習課題(100%)				
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	事前学習(90	分)で理解し,授業を通して学んだことの事後学習(45分)				
教科書	改訂新版 AI 2024	・データサイエンス・リテラシー入門, 吉岡剛志, 森倉悠介, 小林 領, 照屋健作 共著				
参考書	・データサイ ・改訂新版	イエンスの考え方,小澤誠一,斉藤政彦 共著 オーム社 初めてのAIリテラシー,岡嶋裕史 技術評論社				
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照				
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照				

履修条件・履修上 の注意	MS-Excelをインストールしたパソコン(Windows, PCMac等)を持参してください.
アクティブ・ラー ニングの実施	実施しない
ナンバリング	RBg-103

講義科目名称: AI・ロボットと社会 授業コード: 2S041

英文科目名称: AI, Robots, and Society 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
星野 修平				

授業形態	演習				担当者
授業計画	第1回	「AI・ロボットと社会」につい	いて		星野 修平
	第2回	人工知能(Artificial Intelli	gence: AI)の歴史と概要		星野 修平
	第3回	ロボット研究と社会			
	第4回		星野 修平		
	第5回	アンドロイドとヒューマノイト	\$		星野 修平
	第6回	AI・ロボットの自律性			星野 修平
	第7回	AI・ロボットの心・対話			星野 修平
	第8回	AI・ロボットの身体			星野 修平
	第9回	人間と共生するAI・ロボット			星野 修平
	第10回	AI・ロボットの意思決定アルコ	ゴリズム		星野 修平
	第11回	アルゴリズムミック・バイアス	ζ		星野 修平
	第12回	人間行動認識			星野 修平
	第13回	人間行動認識のためのデータ詩	十測		星野 修平
	第14回	機械学習による人間行動認識			星野 修平
	第15回	「AI・ロボットと社会」の未来	K		星野 修平
科目の目的	社会実装され減少、少子高れ、新たな産関する基本的	ι、様々な分野で急速に発展・普 5齢化、人材不足などに対応する €業構造変化でもAIの活用が期待	現在自動運転技術やAIロボット、 及している。今後の日本における ため、AIやAIロボットの需要はさ される。この講義では、生活の中 利用されるAI技術と活用事例を通	社会問題である人口 らに高まると予想さ に組み込まれるAIに	
到達目標	・AIロボット	Artificial Intelligence: AI)の などの社会実装に意義について 対比させて、心と身体について	D基本的事項について説明できる。 説明できる。 理解する。		
関連科目	心理学入門、 ラシー、AI	、コミュニケーション学入門 、 ・プログラミング入門 、多職種	メディア・リテラシー、AI・デー 理解と医療コミュニケーション	タサイエンス・リテ	
成績評価方法・基 準	授業内で実施	直する演習課題(50%)・課題レ	ポート (50%)		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	本科目は15= 時間数90分)	1マ (30時間) の演習科目のため ) が必要であり、事前学習 (30	、30時間分の準備学習時間(1コ 分)・事後学習(30分)が目安と	マあたり 2 時間(実なる。	
教科書	使用しない				
参考書	・ロボットと ・AIの心理学 ・センサと機	:人間 人とは何か 石黒 浩 岩 ≟ Tobias Bare オライリー・シ 養械学習で始める人間行動認識	治波新書 ジャパン 荒川 豊・石田 繁巳・松田 裕貴	他 電気書院	
オフィス・アワー	「Active Aca	ademy Advance-Webフォルダ-教務	<b>答課-オフィス・アワー」参照</b>		
国家試験出題基準	「Active Aca	ademy Advance-Webフォルダ-教務	族課-国家試験出題基準」参照		

アクティブ・ラー	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等
ニングの実施	を使用します。
ナンバリング	SBg-103

講義科目名称: AI・プログラミング入門

英文科目名称: Introduction to AI and Programming

授業コード: 2S042

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	1単位	選択	
担当教員	担当者			
星野 修平				

授業形態						担当者
授業計画		※今年度開記	講せず(2025年度)	カリキュラム)		
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance	e-Webフォルダ-教系	<b>务課-オフィス・アワー</b>	-」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance	e-Webフォルダ-教科	務課-国家試験出題基準	」参照	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						
ナンバリング	SBg-201					

講義科目名称: スタディ・スキルズ 授業コード: 2S043

英文科目名称: Study Skills 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		1学年	1単位	必修		
担当教員		担当者		•		
星野 修平		David Andrew	S	峯村 優一	井上 暁子	
		衣川 隆		岩城 翔平	伊藤 栞	
授業形態	講義					担当者
授業計画	第1回		スキル① なるということ ックの解説	:		星野 修平
	第2回	ライフスキ パース大		建学の精神、基本理念	(桶口理事長 特別講義)	衣川 隆
	第3回	ライフスキ ・学生生活	ル② の過ごし方	<b>値で倫理・マナー</b>	(12.1.12.1)	峯村 優一
	第4回	スタディ・ ・履修計画	スキル②			井上 暁子
	第5回		ーションスキル ュニケーション			伊藤 栞
	第6回	<ul><li>言語コミ</li></ul>	ーションスキル ュニケーション ミュニケーショ			David Andrews
	第7回	ライフスキ ・キャリア		テャリアサポートセンター	•)	岩城 翔平
	第8回(第 7.5回)	ライフスキ 大学生に	ル④ 求められる教養	をとは		星野 修平
科目の目的	で多様な価でるいめ。 デートと	f値観や考え方で 年間で社会が求 目間し、の授業で このででいる。 このでででいる。 このでででいる。 このでででいる。 このでででいる。 このででは、 このでででいる。 このでは、 このででは、 このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 にいるでも にいるでは、 にいるでも にいるでも にいると にいると にして にいると にして にいると にして にして にして にして にして にして にして にして にして にして	を身につけ、学 める教養力を身 易に答えの得ら は、大学生に求 イフ・スキル、( 系するトピック	幅広いジャンル、様々専門ぶ力(スタディ・スキル) がたつけるには「専門の知れない「問い」を追い続いめられる「スタディ・ス・ジーション・ジーン・ファイ・ス・ファイ・ス・ファインション・ジーン・ジーン・ジーン・ジーン・ジーン・ジャーブリックを活用した。	を身につけることが重を 」から自身の成長ととも けるための持続的な教養ス キル」を獲得することを スキル、③スタディ・スポ で授業展開を行う。また、	見され に「深い スキルが 目的とす ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
到達目標	2. 責任あ	る大人としての	生活に必要な、	きえることができる 基本的な生活習慣を身に 習技術を理解し、授業やレ		
関連科目	全ての授業	<b></b>				
成績評価方法・基 準	<ul><li>学修内</li></ul>	容の理解・修得	果題への取り組 度40%(フィ %(レポートな	・ードバックシート、ワー	クシートなど)	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	本科目は7. 時間数180g	.5コマ(15時間 分))が必要で	) の演習科目の あり、事前学習	)ため、30時間分の準備学 習(90分)・事後学習(90	習時間(1コマあたり4 分)が目安となる。	時間(実
教科書	使用しない	`				
参考書	・スタディ	'スキルズ・ト	ノーニング 改	監著 技術評論社 訂版 吉原惠子 他 実教 Ver. 2 寿山 泰二 他	出版 北大路出版	
オフィス・アワー	\[ \frac{1}{Active A} \]	Academy Advanc	e-Webフォルダ	-教務課-オフィス・アワ	一」参照	
国家試験出題基準	「Active A	Academy Advanc	e-Webフォルダ	-教務課-国家試験出題基準		

授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC (Windows またはOS X) を持参してください。

本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。

履修条件・履修上

アクティブ・ラー ニングの実施

SCh-101

ナンバリング

の注意

講義科目名称: アカデミック・スキルズ

オフィス・アワー

国家試験出題基準

履修条件 • 履修上

アクティブ・ラー ニングの実施

ナンバリング

してください。

SCh-102

の注意

英文科目名称: Academic Skills 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

授業コード: 2S044

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		1学年	1単位	必修		
担当教員		担当者		<u>.</u>		
星野 修平		David Andrew	'S	峯村 優一	徳永 慎也	
授業形態	講義					担当者
授業計画	第1回	リサーチ・	リテラシー①			星野 修平
	第2回	リサーチ・ 藤田学長 4	リテラシー② 特別講義			星野 修平
	第3回		ク・リーディン	グ①		David Andrews
	第4回	アカデミッ	ク・ライティン	グ①		David Andrews
	第5回	アカデミッ	ク・リーディン	グ②		徳永 慎也
	第6回	アカデミッ	ク・ライティン	グ②		徳永 慎也
	第7回	リサーチ・	リテラシー③			峯村 優-
	第8回(第 7.5回)	リサーチ・	リテラシー④			星野 修平
科目の目的	れでクアサ開またり。	:深く理解し、 語度な医療専門 シンを身につける シク・スキルを( ララシーの3つ	尊厳を尊重し、4 職になる専重しめに必 ることをデミック・ ののパートとして 一学習力シート」	きることへの深い執着な 必要な生涯にわたって学でる。 リーディング、②アカラ 捉え、関係するトピック	術を獲得する能力とその対象とると感動に共感できる人間力が重要 必続けるための力(アカデミッ デミック・ライティング、③リ を交え、オムニバス形式で授業 クを活用した主体的な学びを目れ	要
到達目標	きる。 2. 学術の	)知と探求に意う	義を見出し、自ら	。 学ぶ姿勢を持ち、多角 に	とし、授業やレポート作成で実践 的な視点での理解を深める。 ーディングの手法を身につけ	で
関連科目	全ての授業	<b></b>				
成績評価方法・基 準	· 学修内:	容の理解・修得	課題への取り組み 使40%(フィー %(レポートなど	ードバックシート、ワー	-クシートなど)	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安				ため、30時間分の準備学 (90分)・事後学習(90	習時間(1コマあたり4時間( )分)が目安となる。	実
教科書	使用しない	`				
参考書	・ピア活動	カで身につけるフ	アカデミック・フ	、キル入門 伊藤奈賀子	望 監著 慶應義塾大学出版会 有斐閣ブックス の力 山田剛史 ミネルヴァ書原	房

「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照

「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照

授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC (Windows またはOS X) を持参

本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。

講義科目名称: 多職種理解と医療コミュニケーション 授業コード: 2S045

英文科目名称: Multidisciplinary Understanding and Medical Communication 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	·		
後期		1学年	1単位	必修			
担当教員		担当者		I to the second		1.	
星野 修平		伊藤 栞・峯村 f 井上 暁子	<u> </u>	斎藤 基・村田	和杳	松下 誠・本田 佳子	
授業形態	講義と演習	开工 咣丁					担当者
		A THAT I LITE IN		T. / 77			
授業計画	第1回	多職種で構成	される専門職の理	<b>里</b> 用			星野 修平
	第2回	多職種連携と	チーム・アプロー	-チの基本構造			星野 修平
	第3回	多職種連携を	支える医療情報選	<b>基携</b>			星野 修平
	第4回	多職種連携・	チーム医療を支え	える医療倫理			峯村 優一
	第5回	多職種連携· 長特別講義)	チーム医療を構成	<b>戈する専門職①</b>	医師 (群馬パー	ース大学 國本医院	斎藤 基
	第6回	多職種連携・	チーム医療を構成	<b>以する専門職②</b>	看護系専門職		斎藤 基
	第7回	多職種連携・	チーム医療を構成	<b>戈する専門職③</b>	リハビリテーショ	ョン系専門職	村田 和香
	第8回	多職種連携・	チーム医療を構成	<b>戈する専門職④</b>	医療技術系専門職	姓	松下 誠
	第9回	多職種連携・	チーム医療を構成	<b>戈する専門職⑤</b>	薬学系専門職		星野 修平
	第10回	多職種連携・	チーム医療を構成	<b>戈する専門職⑥</b>	栄養学系専門職		本田 佳子
	第11回	多職種連携・	チーム医療を構成	<b>戈する専門職⑦</b>	福祉系専門職		井上 暁子
	第12回	多職種連携・	チーム医療を構成	战する専門職⑧	心理学系専門職		伊藤 栞
	第13回	医療面接と医	療コミュニケーシ	/ョン			伊藤 栞
	第14回	患者と患者家	族、医療専門職の	0心理			伊藤 栞
	第15回	多職種連携と	チーム医療の未来	K			星野 修平
科目の目的	構成する多有が をする。教育の る。教育の を有が をする。 をする。 をする。 をする。 をする。 をする。 をする。 をする。	職種連携チームで し、その育成段階 と教育を経て、専 目では、多職種連 的と意義について	で行われる。医療 皆においては、技 厚門的知識、を構 で で と 共 を と 共 た に た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	専門職は、職種 い習をするのでは、職種 いるででででいる。 でいるでででいる。 でいるででいる。 でいるでは、 でいるでいる。 でいるでは、 でい。 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは でいるでは でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でい	を形成する法的根 理解と割とととといる といるととを を を を を を を を を を を を を を を を を を を	る高度医療専門職で 恵になかでは できって を受きるでは できるでは できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるでする できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできるできる。 できるできるできるできるできる。 できるできるできるできるできる。 できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	
到達目標	<ul><li>多職種で</li></ul>	構成される医療専 構成される医療に ュニケーションの	こついて、その特	徴と機能につい	ついて説明できる て説明できる。	0	
関連科目	心理学入門	、コミュニケー	ション学入門				
成績評価方法・基 準	授業内で実	施する演習課題	(50%) ・課題レ	ポート (50%)			
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	本科目は15 時間数90分	コマ(30時間) σ ))が必要であり	)演習科目のため )、事前学習(45	、30時間分の準 分)・事後学習	備学習時間(1コ (45分)が目安と	マあたり 2 時間(実なる。	
教科書	コミュニケ	ーション論・多暗	俄種連携論 内山	靖・藤井浩美	· 立石雅子偏 医	歯薬出版2021	
参考書	・医療コミ原出版新社		実証研究への多	目的アプローチ	神看護出版 医療コミュニケ ット・ローイド	ーション研究会 篠 西村書店	
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advance-V	Webフォルダ-教務	<b></b> タ課-オフィス・	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advance-V	Webフォルダ-教務	<b></b> 務課-国家試験出	題基準」参照		

履修条件・履修上 の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC (Windows またはOS X) を持参してください。
アクティブ・ラー ニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等 を使用します。
ナンバリング	SCh-103

講義科目名称: 解剖学総論 授業コード: 28046

英文科目名称: Introduction to Human Anatomy 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
後藤 遼佑				

授業形態	講義		担当和	者
授業計画	第1回	解剖学総論と骨学総論 基準面;運動の名称;人体の階層性(上皮組織、結合組織、骨組織、筋組織);皮膚の構造;骨の顕微構造;骨化;骨のリモデリング;不動関節と可動関節;滑膜性関節の一般的構造;四肢体幹骨と関節の名称と位置	後藤	遼佑
	第2回	筋系 筋の顕微構造;筋組織の分類(骨格筋、平滑筋、心筋);筋のテコ;主動作筋と協同 筋、拮抗筋;屈筋と伸筋の区別;代表的な四肢体幹部の骨格筋	後藤	遼佑
	第3回	神経系 中枢神経の領域;体性神経と臓性神経;自律神経;大脳の構成;大脳新皮質の機能 局在;大脳髄質を構成する神経線維の分類;主要な神経核;末梢神経(脳神経、脊 髄神経特に肋間神経の走行、神経叢)	後藤	遼佑
	第4回	感覚器系 嗅覚、視覚、平衡感覚、聴覚にかかわる感覚受容器の肉眼構造	後藤	遼佑
	第5回	循環器系 胸郭の肉眼構造(胸膜と心膜、横隔膜);心臓の肉眼構造(外観、心房と心室、刺激 伝導系、冠状動脈);血管の一般的構造;主要な血管の走行;奇静脈系;皮静脈系; リンパ系	後藤	遼佑
	第6回	呼吸器系 気道と呼吸部;喉頭の肉眼構造(喉頭を構成する軟骨;内喉頭筋;前庭ヒダと声帯 ヒダ;喉頭前庭;喉頭室;声門下腔);気管の肉眼構造;気管の分類;肺の肉眼構 造	後藤	遼佑
	第7回	消化器系 腹腔の構造;腹膜(臓側腹膜、壁側腹膜、間膜;小網と大網)と後腹膜;消化管の 一般的構造;胃、小腸、大腸の肉眼構造;肝臓と門脈	後藤	遼佑
	第8回	泌尿生殖器系 腎臓の顕微構造と肉眼構造;膀胱の肉眼構造;会陰の肉眼構造;生殖器	後藤	遼佑
科目の目的	人体を構成 <sup>*</sup> 識と技術】	する各器官系の位置と構造を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。 【基本的知 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】		
到達目標	(1) 解剖学 (2) 各器官	用語を正しく使うことができる。 系の構造について正しい選択肢を選ぶことができる。		
関連科目	口腔解剖学、	基礎生理学		
成績評価方法・基 準	試験100%			
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	一の学習が必要	授業1コマあたり予習に2時間、事後学習に1時間半の学習を基本とする(1単位45時間要とされ、そのうち授業時間に相当する16時間を除く残りの29時間を各自の学習においがある)。予習を中心として、教科書の該当範囲の通読と授業内で指示した内容を各自でと。	:	
教科書	教科書:「言 教科書:ネッ 版株式会社)	語聴覚士のための解剖・生理学 第1版」小林靖(医歯薬出版株式会社) ・ター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第3版 前田健康監訳 (医歯薬出		
参考書	該当なし			
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意				
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし			
ナンバリング	SFi-101			

講義科目名称: 口腔解剖学 授業コード: 28047

英文科目名称: Oral Anatomy 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
浅見 知市郎				

授業形態	講義		担当者					
授業計画	第1回	口腔解剖学概説 口腔、歯、歯周組織それぞれの部位の名称、専門用語	浅見知市郎					
	第2回	歯、歯周組織の構造 歯を構成する組織、歯周組織の構造、特徴	浅見知市郎					
	第3回	永久歯の形態 切歯・犬歯・小臼歯・大臼歯の形態	浅見知市郎					
	第4回	乳歯の形態 乳切歯・乳犬歯・乳臼歯	浅見知市郎					
	第5回	口腔の形成 口唇・口腔の形成・鰓弓・乳歯・永久歯の形成・萌出の時期	浅見知市郎					
	第6回	口腔内蔵 舌・唾液腺・その他の構造	浅見知市郎					
	第7回	口腔周囲の骨・筋 上顎骨・下顎骨・その他の骨・咀嚼筋・舌骨上筋群・舌骨下筋群・表情筋・咽頭 筋・喉頭筋	浅見知市郎					
	第8回	口腔に分布する血管・神経 外頚動脈の枝・三叉神経・顔面神経・舌咽神経・迷走神経・舌下神経	浅見知市郎					
科目の目的	多職種連携に な連携を行う	おいて歯科医療従事者と協働する際に必要となる歯科の専門用語を教授し、より円滑 ことができる知識・能力を習得せしめる。【専門知識と基本的技術】						
到達目標	歯科に関する ができる。	歯科に関する解剖学用語を習得しており、歯科医療従事者と密接なコミュニケーションをとること ができる。						
関連科目	解剖学総論、	歯科・口腔外科学、口腔運動医学						
成績評価方法・基 準	定期試験1009	%						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	シラバスをも	とに授業該当箇所の予習と復習を合計3時間行う必要がある。						
教科書	「ネッタ <del>ー</del> 訳 医歯薬出	頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス(原著第3版)」Neil S.Norton著 前田健康監 l版	ī					
参考書	特に無し。							
オフィス・アワー	「Active Aca	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照						
国家試験出題基準	「Active Aca	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照						
履修条件・履修上 の注意	講義は板書で	進めるのでノートを用意してください。						
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし。							
ナンバリング	SFi-102							

講義科目名称: 基礎生理学 授業コード: 28048

英文科目名称: Fundamentals of Physiology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
洞口 貴弘				

授業形態	講義		担当	者
授業計画	第1回	ガイダンス からだの構造と機能の基本 本講義を受講するにあたっての心構えや、人体を構成する分子、細胞、組織とそれ らのはたらきについて概説する	洞口	貴弘
	第2回	筋系、血液と免疫系 骨格筋の機能、血液の機能	洞口	貴弘
	第3回	循環器系 心臓と血管の機能について概説する	洞口	貴弘
	第4回	呼吸器系、消化器系 呼吸器系の機能、消化器系の機能について概説する	洞口	貴弘
	第5回	泌尿器系、内分泌系 泌尿器系の機能、内分泌系の機能について概説する	洞口	貴弘
	第6回	感覚器系 感覚器系の機能について概説する	洞口	貴弘
	第7回	神経系1 神経系の機能について概説する	洞口	貴弘
	第8回	神経系2 神経系の機能について概説する	洞口	貴弘
科目の目的	人体の各部分ポリシー:	分の構造と機能を学び、医療職に必要な専門知識と基本的技術を身につける(ディプロマ 【専門知識と基本的技術】)	7	
到達目標	正常な人体の	の機能やそれを生み出すしくみの基礎について、選択肢の中から正しく選択できる		
関連科目	解剖学総論、	局所解剖学、基礎病理学 他		
成績評価方法・基 準	期末テストの	Dみ(100%) で最終的な成績を決定する		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な	ている	よび期末テストの内容は、配布資料に準ずる。また、配布資料は下記教科書から作成し		
学習時間の目安	そのため、	数科書や配布資料を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約4時間) 		
教科書	「言語聴覚」	Hのための解剖・生理学 第1版」(医歯薬出版株式会社)		
参考書	「シンプルタ (日本医事新			
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意	7. 5コマ講義	なので、3回の欠席で履修放棄となるので注意		
アクティブ・ラー ニングの実施	実施しない			
ナンバリング	SFi-103			

講義科目名称: 基礎病理学

授業コード:

英文科目名称: Fundamentals of Pathology

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
田村 遵一				

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・医学における病理学の位置付け 病理学の定義と他領域との関連性	田村遵一
	第2回 病理学の基本四分類と細胞障害 アポトーシス、壊死	田村遵一
	第3回 炎症(基礎編) 炎症の原因と変化	田村遵一
	第4回 腫瘍(基礎編) 腫瘍の特徴と分類	田村遵一
	第5回 循環障害(基礎編) 循環障害の原因と結果	田村遵一
	第6回 変性(基礎編) 代謝異常、	田村遵一
	第7回 遺伝子と免疫の異常(基礎編) 遺伝病、自己免疫疾患等	田村遵一
	第8回 病理学まとめ これまでに学んだ病理学等について小論文を作成	田村遵一
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	解剖学総論	
成績評価方法・基 準	定期試験成績 (80%) と出席点 (20%) 成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書	教科書:講師が配布する資料(授業ごとに配布する)	
参考書	参考書:なるほどなっとく!病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意		
アクティブ・ラー ニングの実施	特になし	
ナンバリング	SFi-104	

講義科目名称: 医療危機管理 (窒息・誤嚥・吸引含む) 授業コード: 28050

英文科目名称: Medical Risk Management

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
臼田 滋				

授業形態授業計画	講義及び演 第1回	習	担当者
授業計画	第1回		
		医療安全総論 患者の安全を最優先に考え、その実現を目指す医療安全の考え方や歴史などについ て解説します。	臼田 滋
	第2回	リハビリテーションにおける医療安全 リハビリテーションにおける医療安全の考え方について解説します。	臼田 滋
	第3回	ヒューマンエラー ヒューマンエラーの防止のための取り組み方について解説します。	臼田 滋
	第4回	安全対策 転倒事故、窒息事故、患者の誤認などに対する対策について解説します。	臼田 滋
	第5回	感染対策 院内、施設内感染などの感染症に対する対策について解説します。	臼田 滋
	第6回	リハビリテーションの中止基準 運動負荷を伴う介入などにおけるリハビリテーションの中止基準について解説します。	臼田 滋
	第7回	医療安全に関する取り組み 医療安全に関する制度、医療事故が発生した場合の対応などについて解説します。	臼田 滋
	第8回	と愛見の概要とその違い 誤嚥と窒息の概要とその違い 誤嚥と窒息の基本的な定義とそのメカニズムについて学び、それぞれの違いを明確 に理解します。誤嚥によるリスクや、窒息が引き起こす緊急事態など、健康に与え る影響について解説します。また、どのような状況でそれぞれが発生しやすいかに ついても触れ、リスク要因を理解することを目的とします。	酒井 哲郎
	第9回	誤嚥と窒息発生時の対応法 誤嚥や窒息が発生した際の適切な対応法について学びます。迅速かつ適切に対応するための応急処置の手順、具体的な動作、注意点を説明し、実践的な対応能力を養います。また、特に緊急度が高い窒息への対処法については、リハーサルを行いながら、安全にケアできる技術を学びます。	酒井 哲郎
	第10回	人工呼吸器の基礎とトラブル対応 人工呼吸器の基本構造、役割、設定方法について学び、緊急時における対応法を理解します。人工呼吸器使用中に発生するトラブルへの対応、警報の理解と解除、患者の状態変化に応じた調整方法を習得し、安全管理の基礎を身につけます。	白坂 康俊
	第11回	カニューレの管理と対応 カニューレの正しい取り扱い方と管理方法について学びます。カニューレの役割、 種類、消毒や清潔保持のポイント、適切な位置確認や固定方法について理解しま す。緊急時の対処や、脱落した際の対応手順についても学び、確実に対応できる技 術を身につけます。	白坂 康俊
	第12回	音響外傷の理解と対応 音響外傷とは何か、その発生メカニズムや症状について理解を深め、対応方法を学びます。音響外傷の予防策、発生後の迅速な対応、リスク要因の把握について説明し、特に聴覚の保護とケア方法についても重点的に学習します。	岡野 由実
	第13回	小児における安全管理と危機対応 小児全般の特性を踏まえた安全管理の重要性について学びます。小児における事故 のリスク要因、事故防止の具体策、緊急事態が発生した場合の適切な対応法につい て理解します。小児の特性に合わせた観察ポイントや、安全管理上の注意点につい ても取り扱います。	齊藤 吉人,遠藤俊介
	第14回	喀痰吸引の基本 喀痰吸引の必要性や基本手技について学びます。安全で効果的な吸引を行うために 必要な知識を学び、吸引機器の使い方、消毒方法、感染予防の基本について理解し ます。また、吸引時に留意するポイントや、症例に応じた方法の違いについても説 明します。	酒井 哲郎

	第15回 吸引実習 吸引実習 吸引の手技を実習することで、基礎的な技術の定着を図ります。実際のシミュレーションを通して、安全かつ衛生的に吸引を行う技術を確認し、各場面での応用力を高めることを目的とします。実習を通して個々の改善点を見つけ、指導を受けながらスキルを磨きます。
科目の目的	リハビリテーションに求められる医療安全に関する基礎知識や代表的な対応方法について理解すること DPとの関連 ・QOLの確保・向上を支援するため必要な基本的知識・技術 ・人間の個性と尊厳を尊重し、言語聴覚療法に必要な知識と技術を生涯にわたり学習しようとする 倫理観
到達目標	1. 医療安全の考え方の概要について説明できる。 2. 代表的な安全・感染対策について説明できる。 3. 医療事故が発生した場合の対応の概要について説明できる。 4. 喀痰、吸引などの基本について説明できる。
関連科目	耳鼻咽喉科学、内科学、多職種理解と連携 聴覚障害演習、運動系障害演習、言語系障害演習、小児系障害演習
成績評価方法・基 準	定期試験 (60%) 、課題 (40%)
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	予習・復習各30分程度
教科書	教科書:使用しない
参考書	授業中に紹介する
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	演習の際は動きやすい服装で参加すること
アクティブ・ラー ニングの実施	事例検討課題あり
ナンバリング	SFi-105

講義科目名称: 内科学 授業コード: 28051

英文科目名称: Internal Medicine 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		2学年	1単位	必修			
担当教員		担当者					
岩崎 俊晴							
授業形態							
授業計画		※今年度開請	<b>靖</b> せず(2025年度	カリキュラム)			
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance	-Webフォルダ-教	務課-オフィス・アワー」参照			
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance	-Webフォルダ-教	務課-国家試験出題基準」参照			
履修条件・履修上の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SFi-201						

講義科目名称: 小児科学 授業コード: 28052

英文科目名称: Pediatrics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		2学年	1単位	必修		
担当教員		担当者	•			
秋元 かつみ						
授業形態						担当者
授業計画		※今年度開講	せず(2025年度カ	カリキュラム)		
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	·Webフォルダ-教科	<b>答課-オフィス・アワー」参照</b>		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-	-Webフォルダ-教剤	務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						
ナンバリング	SFi-202					

講義科目名称: 精神医学 授業コード: 2S053

英文科目名称: Psychiatry 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		2学年	1単位	必修		
担当教員		担当者				
石井 良和		井田 逸朗				
授業形態						担当者
授業計画		※今年度開	講せず(2025年度	カリキュラム)		
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advanc	e-Webフォルダ-剗	務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	Active A	cademy Advanc	e-Webフォルダ-勢	務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						
ナンバリング	SFi-203					

講義科目名称: リハビリテーション医学 授業コード: 2S054

ナンバリング

SFi-204

英文科目名称: Rehabilitation Medicine 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

天文代日石你,	Kellabilita	ation meard	ille		対象のサイエノ	ム . 2025年度人	,,,,,,,,,
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
宗宮 真							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	<b>開講せず(2025年</b>	度カリキュラム)			
科目の目的							1
到達目標							
関連科目							
成績評価方法·基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Adva	nce-Webフォルダー	教務課-オフィス・ア			
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advai	nce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題	基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 言語聴覚障害関連領域実技実習 授業コード: 2S055

英文科目名称: Practical Training in Fields Related to Speech-Language-Hearing Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	Language-	-Hearing Disc	orders					
開講期間		配当年 単位数 科目必選区分						
前期		1学年 1単位 必修						
担当教員		担当者						
酒井 哲郎		白坂 康俊		齊藤 吉人				
		遠藤 俊介		及川 翔				
授業形態	講義および	び演習(校外学	習を含む)			担当者		
授業計画	第1回	授業の概要、オリエンテーション						
	第2回	演習:移動	前補助具(1本杖	• 松葉杖)		酒井, 白坂, 齊藤, 岡野, 及川		
	第3回	演習:失語	新症体験・構音®	章害体験		酒井, 白坂, 齊遠, 岡野, 及川		
	第4回	演習:嚥下	障害体験			酒井, 白 坂, 齊藤, 岡野, 遠藤, 及川		
	第5回	演習:高齢者体験						
	第6回	演習:高齢	含者体験			酒井, 白 坂,齊藤, 岡野,遠 藤,及川		
	第7回	講義:難聴	体験			岡野		
	第8回	演習:車椅	デ子・片麻痺体 <sup>駅</sup>	<b>þ</b>		酒井,白坂,齊藤,岡野,及川		
	第9回	演習:車橋	演習:車椅子・片麻痺体験					
	第10回	演習:視覚	に障がい体験			酒井, 白 坂,齊藤, 岡野,遠 藤,及川		
	第11回	演習:視覚	演習:視覚障がい体験					
	第12回	演習:小児 言語コミュ 育現場を見	.ニケーションに	こ障がいのあるお子さんやタ	<b>它型発達児に対する、療育・保</b>	齊藤・遠藤		
	第13回	言語コミュ	演習:小児保育体験 言語コミュニケーションに障がいのあるお子さんや定型発達児に対する、療育・保 育現場を見学する					

第14回     発表       b     坂,齊藤,岡野,遠藤,及川
第15回
言語聴覚療法に関わる各障害について学習し、自ら体験することで理解を深める。 また医療現場で必要とる車椅子操作や移乗などの介助方法など学習する。 さらに小児福祉領域の関連施設において臨床現場の見学をとおして小児への適切な関わり方を学 ぶ。
【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】
1. 各障害の特徴を理解できる 2. 安全に車いすを操作できる(車いすの介助) 3. 寝返り, 起き上がり, 立ち上がりなどの基本動作の 4. 小児へ適切に関わろうとする際の介助法を実践できる
チーム医療とリハビリテーション、リハビリテーション医学、運動系障害演習
発表(20%), レポート(80%)
技術習得を目標とするため、講義後の実技練習30分程度の復習を要する
特になし (別途資料を配布する)
1. 飛松好子編著:新イラストによる安全な動作介助の手引き第3版,医歯薬出版株式会社,2016 2. 木村哲彦著:新イラストによる安全な動作介助のてびき第2版,医師薬出版株式会社2005 3. 臼田茂編:CrossLink理学療法学テキスト 日常生活活動学,医師薬出版株式会MEDICAL VIEW.2020
「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
演習では、実技中心となりますので、動きやすい服装と実習用靴に履き替えて受講して下さい。
実技演習(グループワーク,体験学習)
SFi-106
員による授業
身体障害者の運動・動作障害について学習し、誰もが知っておくと便利な歩行やその他の移動・移 乗動作の介助法、車いす操作法、リラクゼーション指導、杖の付き方、ディバイスの利用などにつ いてリハビリテーション関連専門職者から直接に指導を受ける。

講義科目名称: 耳鼻咽喉科学 授業コード: 28056

単位数

配当年

開講期間

英文科目名称: Otorhinolaryngology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

科目必選区分

前期		1学年	1単位	必修				
			1 中位	北心				
担当教員		担当者 村田 考啓						
鎌田 英男		村田 考啓						
授業形態	講義 パワーポ	イントを主体とし	して行う。適宜動	h画や録音などを用いてヨ	理解を深める。		担当	者
授業計画	第1回	す場業覚鼻組気と切識明今る合は的咽織管もなを埋めを変して 教科的道連と解こ 理受の耳多ワ教科の道連と解け 建設を がった かんしょう いんしょう いんしょう はいいん かいま しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう はい しょう しょう はい	業咽、ポも関よ患あある解るの喉相イ並連びはるる。す場の喉相イが連びはるる。するためののトし深能鼻野こ後。が方関関使てい的咽でこの耳多、係連用行耳な喉あで授鼻くいす性にう・共科のは業咽に	領ボステンス (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	・ 大田 では、	がと共発力 がと共発力 相を覧生り 相をでした 関すっても相 ・つせ略にて管 を関いても がに生の・ 内に生の・ 大のでも がに生の・ 大のでも がに生の・ 大のでも がに生の・ はない、気 がに生のが がにないが、 がい気が がいるが、 はいが、 は	鎌田	英男
	第2回	耳鼻咽喉の び喉の が群 気な部 の 頭頭 事象に で き り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り で き り で り り り り り り り り り り り り り り り	科疾患に関連の溶 所言、道とでは関連の臨ば 大変に関連のには では、 では、 がでいた。 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	学の臨床とその検査法、 そい全身疾患や症候群を な事疾患や症候群を 大等に生かせるよ所理解 とかすいには群がどり 治療方法とうそきのに 性腫瘍にしての病性の症 性腫瘍にしてある。 性腫るより、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	理解し、その医 する。とまた人の テいことションを 済 療 で言語聴覚、 で切開と気道確信	学的な知識を学り名前の付いた症でおく必要があきび、患者さまに 嚥下に関連する	鎌田	英男
第3回	第3回	口腔と咽頭 しゃく嚥下	質ならびに味覚の に関してどのよ	頭の構造と機能、口腔・ 構造とその機能を学び、 うに働いているかを理解 かを学び説明できるよう	、歯および口蓋 なし、その機能が	<ul><li>舌が発声やそ</li></ul>	鎌田	英男
	第4回	ハ 理 ボ 理 ボ 工 関 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ション 関の疾患の病態 また手術的手段 ビリテーション 基準】口腔疾患 性扁桃炎、慢性	頭の病態とその検査法、 を学び、その治療と検査 によりその機能が失われ を学び理解し説明できた (舌炎、口内炎、口腔・ 扁桃炎、扁桃肥大、アデ 耳下腺炎、ムンプス、唾	E法およびリハト た場合の代用 。 舌腫瘍、口唇 で で で で で で で で で で が で が で が で が で で に り で の で の で の で で で で で で で で で で で で で	ごリテーションを 機器および摂食・ 型、口蓋裂)、咽 睡眠時無呼吸症	鎌田	英男
	第5回	外耳、中		・平衡神経路、大脳の聴 神経信号がどのように大			村田	考啓
	第6回	外耳、「	中耳、内耳および	・リハビリテーション <sup>ド聴</sup> 覚・平衡神経路の代 わりとその重要性を理解		て、その病態と治	村田	考啓
	第7回	固有鼻I 声・発語に 合にどのよ も異なるこ 機能 【国試出題	空および副鼻腔などのよびのよびのよりな影響ではないない。 というない はい	造およびその機能とその さらびに嗅覚の構造と機能を及ぼしているかを理解るかを学ぶ。そしてその それぞれの検査法につい 控共鳴、嗅覚)。 控疾患(急性鼻炎、慢性 孔閉鎖症、嗅覚障害)	能を学び、それ はする。またそれ 障害の内容は いても理解し説見	れが阻害された場 発生時期によって 月ができるように	鎌田	英男

	第8回	鼻科学Ⅱ:鼻・副鼻腔疾患の病態および治療	鎌田	英男
	7700	鼻・副鼻腔疾患は生命に影響するような疾患は多くはないが、QOLに大きな影響を及ぼすため生活をするのに不快感や集中力の低下、しいては社会生活での行動にも影響がおよぶ。その影響の重大さを理解し、改善する方法を考えることが重要である。治療に関しては対症的な治療と根本的な治療があるが、その選択に関しても適切なアドバイスができるようにする。ため生活をするのに不快感や集中力の低下、しいては社会生活での行動にも影響がおよぶ。その影響の重大さを理解し、改善する方法を考えることが重要である。治療に関しては対症的な治療と根本的な治療があるが、その選択に関しても適切なアドバイスができるようにする。 【国試出題基準】鼻・副鼻腔疾患(急性鼻炎、慢性鼻炎、鼻アレルギー、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、後鼻孔閉鎖症、嗅覚障害)	N H	
	第9回	耳科学Ⅲ:耳の検査法と補聴器・人工聴覚器 耳科学での代表的な検査法(聴覚・平衡覚検査)を学ぶ。聴覚の補助装置として、補聴器および人工聴覚器がある。言語聴覚士が知っておくべき補聴器の種類・構造・適応および人工聴覚器の構造・適応について概要を学ぶ。の疾患の病態を学び、どのような影響を日常生活に生じるかを理解する。	村田	考啓
	第10回	喉頭科学 I: 喉頭の構造と機能・検査法 喉頭の構造と機能を学び、それらが呼吸、発声・発語にどのような影響を及ぼし ているかを理解する。また、喉頭機能を評価する検査法について概要を学ぶ。	村田	考啓
	第11回	喉頭科学Ⅱ:喉頭の疾患の病態と治療・リハビリテーション 喉頭に生じる代表的疾患について、その病態と治療およびリハビリテーションを理 解する。また手術的治療によりその機能が失われた場合の代用機器およびリハビリ テーションは言語聴覚士の重要な職務であり、それらをを学び理解する。	村田	考啓
	第12回	音声言語医学 I : 音声医学の基礎・臨床 言語聴覚士が直接関わることが非常に多い音声言語医学の基礎知識を習得する。 音声言語医学 I では、音声医学についての基礎・臨床について概説する。	村田	考啓
	第13回	音声言語医学Ⅱ:言語医学の基礎・臨床 音声言語医学Ⅱでは、聴覚障害とも関連し言語聴覚士が専門性を発揮する言語障害 について、言語医学の基礎・臨床を概説する。	村田	考啓
	第14回	気道確保と気道疾患、嚥下障害 気道確保の方法、気道疾患について学び説明できるようになる。嚥下障害とその 病態、検査法について理解し説明できるようになる。最後に講義時間内でこれまで の講義で疑問点の質問討論を行う。 【国試出題基準】気管切開と気道確保、嚥下障害	鎌田	英男
	第15回	耳鼻咽喉科関係の全身疾患およびまとめと過去の国家試験問題の検討、頭頸部腫瘍の手術・再建術による変化 耳鼻咽喉科領域での言語聴覚士国家試験出題基準の再確認、過去問題について解説する。気道確保や頭頸部腫瘍による手術・再建術による変化についても復習する。言語聴覚士が参加するチーム医療についても理解する。	鎌田	英男
科目の目的	前より、耳鼻	と耳鼻咽喉科のつながりはかなり長い歴史がある。言語聴覚士法が制定されるかなり、咽喉科医は言語聴覚療法に関わってきた。ここでは言語聴覚士として知っておかなく耳鼻咽喉科領域器官の構造・機能・疾患・治療およびリハビリテーションを学ぶ。と技術】		
到達目標	1. 耳鼻咽喉科 2. 実際の言語 きる。	到達目標とする。 各疾患の概略を説明し、その治療および言語聴覚療法の概略と進め方を説明できる。 聴覚療法を施行するにあたり、その人の持つ特性、他の障害の特性も考慮し、実施で 学的な訓練の実施内容、その成果に関し、正確にカルテに記録を記載できる。		
関連科目	局所解剖学、	基礎生理学、神経内科学、歯科・口腔外科学、口腔運動医学、言語医学、聴覚医学		
成績評価方法・基 準	した。総合評価 レポートは	(30%)、および期末試験 (70%) にて総合評価する。各講義で出席をとるので注意するこにて60点未満は追試験の対象となる。 講義中に数題を提示する。全レポートを30点満点とし各レポートを点数化し、総合成。期末試験は70点満点とし、総合成績に加算する。		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安		容を教科書・参考書などで準備学習をする。学習時間の目安は60分とし、重要点は後 に内容を記入する。		
教科書	「病気がみえる	513巻 耳鼻咽喉科」医療情報科学研究所編 メディックメディア		
参考書	「耳鼻咽喉科 「言語聴覚士	疾患 ビジュアルブック第2版」落合慈介、中尾一成他編著、学研プラス のための基礎知識 耳鼻咽喉科学第2版」鳥山稔、田内光編 医学書院		
オフィス・アワー	「Active Aca	demy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Aca	demy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	1. 講義は全計 2. やむを得か に、	構義を受講すること。遅刻・早退も原則として認めない。 ない事由(病気・弔事・天災など)により欠席する場合は、所定の手続きを取るととも	)	
<u> </u>	• •			

	次の講義日時の初頭に口頭にて講師に申し出ること。 3. 上記2. の場合は、追加のレポート提出を命ずる場合がある。 4. 正当な理由がなく欠席・遅刻・早退した場合は単位取得が不能となる場合がある。 5. 授業中のスマホ・携帯電話の使用は禁止する。
アクティブ・ラー ニングの実施	本科目では数回グループ討論(ワーク)を行う。
ナンバリング	SFi-107

講義科目名称: 神経内科学 授業コード: 28057

英文科目名称: Neurology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		2学年	1単位	必修			
担当教員		担当者					
宗宮 真							
授業形態							担当者
授業計画	※今年度開講せず(2025年度ス			度カリキュラム)			
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-オフィス・アワー	」参照		
国家試験出題基準	Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題基準	」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SFi-205						

講義科目名称: 形成外科学 授業コード: 2S058

英文科目名称: Plastic and Reconstructive Surgery 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		2学年	1単位	必修		
担当教員		担当者				
浜島 昭人						
授業形態						担当者
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カ		カリキュラム)			
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advance	-Webフォルダ-教剤	<b></b> タ課-オフィス・アワー	一」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advance	-Webフォルダ-教剤	務課-国家試験出題基∑	<b>単」参照</b>	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						
ナンバリング	SFi-206					

講義科目名称: 歯科・口腔外科学 授業コード: 28059

履修条件・履修上 の注意

アクティブ・ラー ニングの実施

SFi-207

ナンバリング

英文科目名称: Dental and Oral Surgery 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

目目 ∋無 廿□ 目目		#1 \V. /=:	出任料	利日公園屋八	
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
前期		2学年	1単位	必修	
担当教員	<b>員</b>				
戸谷 麻衣子					
授業形態					担当者
授業計画		※今年度	<b>開講せず(2025年</b>	度カリキュラム)	
科目の目的					I
到達目標					
関連科目					
成績評価方法・基 準					
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安					
教科書					
参考書					
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advar	ıce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題基準」参照	

講義科目名称: 口腔運動医学 授業コード: 28060

ナンバリング

SFi-208

英文科目名称: Phoniatrics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
前期		2学年	1単位	必修				
担当教員		担当者						
二宮 洋								
授業形態							担当者	
授業計画		※今年度開講	度カリキュラム)					
科目の目的								
到達目標								
関連科目								
成績評価方法・基 準								
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安								
教科書								
参考書								
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advance-	-Webフォルダ-教剤	<b>务課-オフィス・アワー」参</b>	≩照			
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advance-	-Webフォルダ-教剤	<b>务課-国家試験出題基準」参</b>	≩照			
履修条件・履修上 の注意								
アクティブ・ラー ニングの宝施								

講義科目名称: 言語医学 授業コード: 2S061

ナンバリング

SFi-209

英文科目名称: Logopedics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

00 -+++ 14n 00		T7 14 F	N/ /1. W/	전 F 7/34 E 7/				
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
前期		2学年	1単位	必修				
担当教員		担当者	担当者					
石山 寿子		髙橋 秀寿						
授業形態						担当者		
授業計画	計画 ※今年度開講せず(2025年度)		せず(2025年度)	カリキュラム)				
科目の目的						1		
到達目標								
関連科目								
成績評価方法・基 準								
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安								
教科書								
参考書								
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advance-	Webフォルダ-教剤	<b></b> 察課-オフィス・アワー」参照				
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advance-	Webフォルダ-教剤	務課-国家試験出題基準」参照				
履修条件・履修上 の注意								
アクティブ・ラー ニングの実施								

講義科目名称: 聴覚医学 授業コード: 28062

ナンバリング

SFi-210

英文科目名称: Audiology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	0.					
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		2学年	1単位	必修		
担当教員		担当者				
長井 今日子						
授業形態						担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年 <sub>月</sub>	度カリキュラム)		
科目の目的						1
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advan	ice-Webフォルダ-勃	教務課-オフィス・ア	ワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advan	ice-Webフォルダ-勃	教務課-国家試験出題	基準」参照	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						

講義科目名称: 臨床心理学 授業コード: 28063

ナンバリング

SFj-201

英文科目名称: Clinical Psychology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

央 义 付 日 名 价 :	CIIIIICAI I	Sychology			対象カリヤユ	プム: 2025年度	シカリヤユノム
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		2学年	1単位	後期			
担当教員		担当者					
伊藤 栞							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年	度カリキュラム)			
科目の目的							1
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	.cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・フ	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題	<b>夏基準」参照</b>		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 生涯発達心理学 授業コード: 28064

英文科目名称: Life-Span Development Psychology 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
齊藤 吉人				

		<u>-</u>	
授業形態	講義15回 毎回の授業の	D最後に授業の「まとめ」を提出する。	担当者
授業計画	第1回	ヒトとは 直立二足歩行の意義・二足歩行からもたらされたヒト特有の疾患・ヒトの6大特徴	齊藤吉人
	第2回	生涯発達 発達の定義・人の生涯に影響を与える3つの要因・2025年問題・平均寿命と健康寿命の差・人間発達期の区分・成長・発達・成熟・発育の原則	齊藤吉人
	第3回	胎芽・胎児期 受精卵期・胎芽期・胎児期	齊藤吉人
	第4回	乳児期 ピアジェの認知構造・乳児実験における観察法・エリクソンのライフサイクル・コ ミュニケーションの発達段階・アタッチメント	齊藤吉人
	第5回	幼児期前期 粗大運動の発達・微細運動の発達・社会性・言語の発達・エリクソンの発達図式・ 児童虐待	齊藤吉人
	第6回	幼児期後期 粗大運動の発達・微細運動の発達・自己中心性・こころの理論・社会的遊びの発達 的分類	齊藤吉人
	第7回	学童期 勤勉性と劣等感・脱中心化・向社会性	齊藤吉人
	第8回	青年期前期 思春期と青年期・自我同一性・モラトリアム・自己受容・エゴグラム性格診断テスト	齊藤吉人
	第9回	青年期後期 自我同一性・アイデンティティ・ステイタス・マージナル・マン・ピーター・パン・シンドローム・シンデレラ・コンプレックス・合理的配慮・トランスジェンダー	齊藤吉人
	第10回	成人期前期 親密性と孤独・職業的アイデンティティー・仁術・理学療法士・作業療法士・言語 聴覚士・ニート・人口置き換え水準	齊藤吉人
	第11回	成人期中期 世代性と停滞・コーピング・スタイル・M字カーブ・3歳児神話	齊藤吉人
	第12回	成人期後期 成熟期・同一性再確立・自己肯定感・熟年の自殺	齊藤吉人
	第13回	高齢期 統合と絶望・結晶性知能と流動性知能・人格の尖鋭化・サクセスフル・エイジング ・プロダクティブ・エイジング・ロコモティブ症候群・サルコペニア・フレイル・ 地域包括ケア	齊藤吉人
	第14回	発達理論 単一要因説・生得説・経験説・双生児統制法・成熟優位説・レディネス・反射階層 理論・行動主義心理学・輻輳説・相互作用説・横断研究・縦断研究・非線形打ち消 し効果	齊藤吉人
	第15回	発達理論 複雑系科学・創発・ゲシュタルト心理学・最近接発達領域	齊藤吉人
	を経て死に至	こわたり発達する存在としてとらえ、生命の誕生から小児期、青年期、成人期(老年期) こるまでの量的・質的変化について学ぶ。ディプロマポリシー: 【コミュニケーション 目的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
	ライフステー そうしたライ テージの各時	は、受胎、胎生期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老人期、死という-ジに分けられる。障害のある人への支援を行う専門職には、機能障害の理解に加え、プステージの特徴を踏まえて支援を行うことが求められている。そして、ライフス 対別に発現する行動を広く、深く理解し、各時期に生じやすい発達上あるいは健康上のできることを目標とする。	
関連科目	臨床心理学,	学習・認知心理学, 心理測定法	

成績評価方法・基 準	評価点=毎回提出する「まとめ」(1点×15回=15%)+定期試験成績(85%)。100点満点換算で60点以上を合格とし単位を与える。
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業計画に示される授業内容の教科書該当部分を予習する(各回45分程度)。 授業後に配布される「標準的まとめ」を復習する(各回45分程度)。
教科書	言語聴覚士のための心理学,第2版,医師薬出版,2020
参考書	鈴木光太郎著:ヒトの心はどう進化したのか一狩猟採集生活が生んだもの, 筑摩書房, 2013
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	1回の「まとめ」の提出に対し1点が与えられる。ただし、正答が60%を超えない場合、「まとめ」と は認めない。毎回の授業終了後、「標準的まとめ」をActive Academyにて配信する。定期試験は 「標準的まとめ」から出題される。
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし
ナンバリング	0Fi-206

講義科目名称: 学習・認知心理学 授業コード: 28065

ナンバリング

SFj-202

英文科目名称: Psychology of Learning and Cognition 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

央 义 付 日 名 价 :	rsychology	oi Learni	ng and Cogniti	OII	対象カリヤユ	フム: 2025年度	カリヤユンム
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
河内 和直							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年	度カリキュラム)			
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・ア	プワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題	<b>夏基準」参照</b>		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 心理測定法 授業コード: 28066

ナンバリング

SFj-301

英文科目名称: Psychological Measurement Method 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

天文付日右你,	1 Sychologi	icai measui	ement Method		刈家ハライエ	ノム・2020年)	支刃サイユノム
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		3学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
伊藤 栞							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	<b>開講せず(2025年</b> )	度カリキュラム)			
科目の目的							<b>'</b>
到達目標							
関連科目							
成績評価方法·基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダー	教務課-オフィス・フ	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題	<b>通基準」参照</b>		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 言語学 授業コード: 28067

英文科目名称: Linguistics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
白坂 康俊				

授業形態	講義		担当	者
授業計画	第1回	言語学概論。STにとっての言語学の必要性を理解する演習(言語処理過程) AL=アクティブラーニング	白坂	康俊
	第2回	言語学と言語障がいの具体的な関連 AL	白坂	康俊
	第3回	日本語の特徴、構造を理解する。STが臨床を行うのに改めて日本語を学ぶ必要性 一部AL	白坂	康俊
	第4回	日本語の品詞、形態と役割 1 一部AL	白坂	康俊
	第5回	日本語の品詞、形態と役割 2 一部AL	白坂	康俊
	第6回	日本語の格助詞、形態と役割 1 一部AL	白坂	康俊
	第7回	日本語の格助詞、形態と役割 2 一部AL	白坂	康俊
	第8回	日本語のボイス、形態と役割 1 一部 A L	白坂	康俊
	第9回	日本語のボイス、形態と役割 2 一部AL	白坂	康俊
	第10回	日本語のテンス、形態と役割 1 一部AL	白坂	康俊
	第11回	日本語のテンス、形態と役割 2 一部 A L	白坂	康俊
	第12回	日本語の人称、形態と役割 一部AL	白坂	康俊
	第13回	日本語の統語構造と「は」および従属節での格の標識の消失. 障がい者にとっての日本語の習得 一部AL	白坂	康俊
	第14回	日本語の助詞と助詞の消失の習得のための訓練プログラム立案 一部AL	白坂	康俊
	第15回	言語の一般的特徴(生成文法、共時論、通時論、生産性、線状性,音声・文字言語、 恣意性、二重分節性など) AL	白坂	康俊
科目の目的	おいて言語学	等、再学習する対象としての日本語について、言語聴覚士として評価課題や訓練課題に 学的知識をどのように活用し、言語学的な分析をどのように行いうるかについて理解す より、障がいを持つ方の発話や書いたものを分析し、必要な習得プログラム構築できる 【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理	I	
到達目標	な、カタカナ	x的な概念を説明できる。日本語の特色、日本語のシンタックス、語彙、表記法(か →、漢字)などの規則と特徴を理解し、言語レベルの障がいの検査・評価・訓練にどの できるかを理解する。		
関連科目	聴覚障害学、	失語症学、高次脳機能障害学、言語聴覚障害学概論		
成績評価方法・基 準	上を合格とす	0%、ALの参加状況20%、筆記試験、60%とする。筆記試験は、100点満点換算で60点▷ ↑る。小レポートは、内容で評価し、また、出席した授業について未提出の場合は、O È体で、100点満点換算の60点以上を合格とする。	Į.	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	毎回事前演習ある言語学と	引課題を提示するので、回答を準備すること。約1時間の準備を要する。基礎的な学問で ☆言語障害がどう結びつくかをしっかり考えること。	5	
教科書	教科書:野田配布資料	日尚史「はじめての人の日本語文法」くろしお出版 1991年		
参考書	無し			
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上 の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	授業内でテーマを設定し、ゼミ単位のディスカッションを行う。
ナンバリング	SFk-101

講義科目名称: 音声学 授業コード: 28068

英文科目名称: Phonetics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
前期		2学年	2単位	必修	
担当教員		担当者			
白坂 康俊					
授業形態					担当者
授業計画		※今年度開講	せず(2025年度カ	カリキュラム)	
科目の目的					
到達目標					
関連科目					
成績評価方法・基 準					
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安					
教科書					
参考書					
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	<b>答課-オフィス・アワー」参照</b>	
国家試験出題基準	Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意					
アクティブ・ラー ニングの実施					
ナンバリング	SFk-201				

講義科目名称: 音響音声学 授業コード: 28069

英文科目名称: Acoustic Phonetics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
富澤 晃文				

授業形態	講義形式		担当者
授業計画	第1回	音とは何か/音波の性質	富澤晃文
	第2回	音に関わる単位① (フーリエ解析と周波数)	富澤晃文
	第3回	音に関わる単位②(デシベル尺度)	富澤晃文
	第4回	音の計測、標本化、加工	富澤晃文
	第5回	音の分析と表示① (波形、スペクトル)	富澤晃文
	第6回	音の分析と表示② (スペクトログラム)	富澤晃文
	第7回	音声の生成とソース・フィルタ理論	富澤晃文
	第8回	音声の分節的/超分節的特徴	富澤晃文
科目の目的	言語聴覚障害 知識と技術】	学の専門基礎分野として、音響音声学に関する知識・方法を理解すること。【基本的 【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	1. 音の物理学 2. 音を表す単 3. 音声生成に	的性質を理解し、説明ができる。 位、解析法、表示法を理解し、解釈および説明ができる。 関わる音響理論を理解し、説明ができる。	
関連科目	聴覚心理学、	音声学	
成績評価方法・基 準	筆記試験(定	期試験80%、授業内小テスト20%)	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	習しておくこ	資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う(30時間相当)。高校数学の対数を復と。音響学、知覚心理、スピーチサイエンスなどに関連する書籍を読むなど、関心を することが望ましい。	
教科書	ゼロから学ぶ	音響学(講談社):聴覚心理学と共通	
参考書	言語聴覚士の	学入門 第2版(医学書院)  音響学入門2訂版(海文堂)  小辞典(講談社ブルーバックス)	
オフィス・アワー	「Active Aca	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Aca	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意	講義に教科書	を忘れずに持参すること。	
アクティブ・ラー ニングの実施	なし		
ナンバリング	SFk-102		

講義科目名称: 聴覚心理学 授業コード: 28070

英文科目名称: Psychology of Hearing 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
富澤 晃文				

授業形態	講義形式		担当者						
授業計画	第1回 音と人間/音の知覚 富澤晃文								
	第2回	第2回 音の心理物理学① (音の3要素) 富澤晃文							
	第3回	音の心理物理学② (可聴範囲、等ラウドネス曲線)	富澤晃文						
	第4回	音の心理物理学③ (ラウドネスとピッチ)	富澤晃文						
	第5回	マスキング	富澤晃文						
	第6回	両耳聴	富澤晃文						
	第7回	環境と聴覚①(知覚と情景分析)	富澤晃文						
	第8回	環境と聴覚② (音環境と騒音)	富澤晃文						
科目の目的	言語聴覚障害 技術】【コミ	学の専門基礎分野として、聴覚心理学に関する知識を理解すること。  【基本的知識と ュニケーション能力】  【知的探求能力】  【人間力と倫理観】							
到達目標	2. 音の知覚に	1. 音と精神物理学的関係を理解し、説明ができる。							
関連科目	音響学								
成績評価方法・基 準	筆記試験(定	筆記試験(定期試験80%、授業内小テスト20%)							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	教科書・講義 スピーチサイ	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う(30時間相当)。音響学、知覚心理、 スピーチサイエンスなどに関連する書籍を読むなど、関心を高めつつ受講することが望ましい。							
教科書	ゼロから学ぶ	音響学(講談社):音響学と共通							
参考書	新ことばの科学入門 第2版 (医学書院) 言語聴覚士の音響学入門2訂版 (海文堂) 音のなんでも小辞典 (講談社ブルーバックス) 音響聴覚心理学 (誠信書房)								
オフィス・アワー	「Active Aca	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照							
国家試験出題基準	「Active Aca	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照							
履修条件・履修上 の注意									
アクティブ・ラー ニングの実施	なし								
ナンバリング	SFk-103								

講義科目名称: 言語発達学 授業コード: 28071

ナンバリング

SFk-202

英文科目名称: Development of Speech and Language 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

大人们 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Developmen.	it of opecer	i and Language		バタハノイエ	ノム・2020年5	20014204
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
齊藤 吉人		遠藤 俊介					
授業形態							担当者
授業計画		※今年度開	<b>昇講せず(2025年)</b>	度カリキュラム)			
科目の目的							<u>'</u>
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-オフィス・ア	プワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題	<b>夏基準」参照</b>		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: リハビリテーション概論 授業コード: 2S072

英文科目名称: Introduction to Rehabilitation 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
齊藤 吉人	佐藤 満		村田 和香	

授業形態	講義8回		担当	 者
授業計画	第1回	イントロダクション リハビリテーションを取り巻く知識の整理	村田	和香
汉朱阳固		障害学、クライアント中心、健康、生活、自分らしく生きる		
	第2回	リハビリテーションの定義の変遷 歴史的変遷、定義と目的	佐藤	満
	第3回	病気と障害、ICF 病気とは、障害とは、国際疾病分類(ICD)から国際障害分類(ICDH)、そして国際 生活機能分類(ICF)へ	佐藤	満
	第4回	リハビリテーションの諸領域、リハビリテーションの流れ 国際疾病分類(ICD)から国際障害分類(ICDH)、そして国際生活機能分類(ICF) へ	佐藤	満
	第5回	人間の活動と発達 発達とは、ライフサイクル、ノーマライゼーション、発達障害	齊藤	吉人
	第6回	障害と社会制度 国際障害者権利条約、障害者基本法、身体障害者福祉法、障害手帳、介護保険、地域資源	齊藤	吉人
	第7回	社会参加、社会につながるために	齊藤	吉人
	第8回	生活、人生を考える 社会参加、社会貢献、生活の意味、人生100年時代の課題	村田	和香
科目の目的	に障害学の基   学の内容と記   ハビリテーシ	リハビリテーションの理念と原則を踏まえて、包括的なリハビリテーション、ならび 基本概念を習得することを目標とする。リハビリテーションスタッフとして必要な障害 平価・治療方法の要点、国際生活機能分類(ICF)、リハビリテーションのプロセス、リ ィョンチーム医療のあり方、さらには保健・福祉行政における社会的資源とリハビリ D関わり等についての基礎知識を理解する。【専門知識と基本的技術】		
到達目標	その過程、 係法規とリッラ ②リハビリラ ③国際生活機	ーションの基本理念と原則を理解し、障害の概念と分類、リハビリテーションの領域と 管害と心理、さらにはリハビリテーション障害学の基礎、そして保健医療福祉制度・関 ハビリテーションとの関連について獲得する。具体的には下記の通りである。 デーションの概念および定義を説明することができる。 デーションの歴史を説明することができる。 後能分類 (ICF)を説明できる。 デーションの多職種連携の重要性を説明できる。		
関連科目	言語聴覚障害	F概論、チーム医療とリハビリテーション、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基 準	定期試験(1	□ ○ ○ %):到達目標の達成程度を確認する筆記試験を行う。		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	習は講義内容	つ項目について配布資料・その他各種メディアを通じて自分なりの問題意識を抱き、復 家のレビューを行い疑問点を解消して自分の言葉で平易に正しく説明できるようにする 時間の目安は概ね30分程度である		
		こ定めず、講義資料を活用する。		
	その他講義内	N容により資料等配布有り。		
参考書	参考書:中村	対隆一編「入門リハビリテーション概論(第7版補訂)」(医歯薬出版)		
オフィス・アワー	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Ac	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意				
アクティブ・ラー ニングの実施	本科目は、他 ものである。	也の科目へ展開する基礎となるものである。視聴覚教材等により、発見学習を提供する		
ナンバリング	0Fk-101			

講義科目名称: AACと教材学 授業コード: 2S073

ナンバリング

SF1-301

英文科目名称: Teaching and Learning Materials and AAC… 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	O		_			
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
前期		3学年	1単位	必修		
担当教員		担当者	·	•		
白坂 康俊		齊藤 吉人		丹下 弥生	遠藤 俊介	
		酒井 哲郎				
授業形態						担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年	度カリキュラム)		
科目の目的						ı
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advar	ice-Webフォルダ-	教務課-オフィス・アワ	'一」参照	
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	ice-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題基	進」参照	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						

講義科目名称: 臨床スキル論 授業コード: 2S074

英文科目名称: Clinical Skills 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
前期		4学年	1単位	必修	
担当教員		担当者			
岡田 哲也		磯 忍			
授業形態					担当者
授業計画		※今年度開講	せず(2025年度)	カリキュラム)	
科目の目的					
到達目標					
関連科目					
成績評価方法・基 準					
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安					
教科書					
参考書					
オフィス・アワー	「Active A	Academy Advance	-Webフォルダ-教剤	<b></b> 察課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active A	Academy Advance	-Webフォルダ-教剤	務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意					
アクティブ・ラー ニングの実施					
ナンバリング	SF1-401				

講義科目名称: チーム医療とリハビリテーション 授業コード: 2S075

英文科目名称: Rehabilitation and Team Care 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
石山 寿子	岡崎 大資		浅田 春美	加茂 智彦
	村田 和香		馬塲 順子	遠藤俊介 酒井哲郎

		村田 和香	馬塲 順子	遠藤俊介 酒井哲郎	!ß
授業形態	講義 (3)	、演習(5)			担当者
授業計画	第1回	オリエンテーショ チーム・アプロー	ン 総論(講義) チの必要性、保健医療チームの特徴	<b>数、チームのタイプ</b>	岡田村場 ・加・岡・山・ ・田・山・ ・田・山・ ・田・山・ ・西・酒
	第2回		ン・チームの役割(講義) 療法士・言語聴覚士の役割		岡田村場石藤 ・加・岡・酒 ・田・山・ ・田・山・ ・西・酒
	第3回	グループ・ワーク グループ課題情報	について (講義)  共有、グループ分け		岡田村場石藤 ・加・岡・酒 ・田・山・ ・田・山・ ・西・酒
	第4~7回	析、ディスカッシ 課題① 高崎市問 課題② 大学生活 課題③ リハビリ 課題④ 高齢者の	演習4回) するグループを決定し、グループでするグループを決定し、グループでリングのできるを表準備を行う。  屋町を生活圏とするためにを快適にする方法 テーションを地域住民に知ってもらための生活の工夫を考える		岡田村場石藤 ・加・岡・酒 ・加・岡・西 ・西・西・西 ・酒
	第8回	グループ発表(演 グループ・ワーク スカッションを行	の結果をまとめ、その学習成果を対	ポスター等により発表し、ディ	岡田村場石藤・加・岡・酒・田・山・田・山・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西
科目の目的	理解し、多学科の3学科で、チーションで、チームである。	職種と連携してリハ↓ ∤の学生が共に学ぶ機 既論」の学修に基づきの概念、チームワーク	プロマ・ポリシーで謳われている「 ビリテーションを実践できる能力」 会を得ることにより、お互いを尊重 き、学科横断的に編成するグループ クの難しさと効果、リーダーシップ 【基本的知識と技術】【コミュニ	を目指し、リハビリテーション 重する姿勢を学ぶ。「リハビリ による課題解決の過程を通し 、他者理解の上での交流の在り	•
到達目標	②リハビリ <sup>*</sup> ③グループ	療の意味を説明できる テーション・チームの ・ワークに積極的参加 見を聞くこと、自らの	り役割を説明できる。		
関連科目	多職種理解	と連携、リハビリテー	ーション概論、地域リハビリテーシ	ョン学	
成績評価方法・基 準	(50%)	ワークの発表(50% フィードバックは学科	%)およびディスカッションを含め 科担当教員が行う。	た課題をレポートにまとめる	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	講義内容、 準備学習に	およびグループでの{ 必要な時間の目安は3	作業を理解し、積極的にグループ・ 10分程度である。	ワークに参加すること。	
教科書	特に定めない	\ \ <sub>\</sub> \ <sub>\</sub> \ <sub>\</sub>			
参考書	特に定めない	\ \ <sub>\</sub> \ <sub>\</sub> \ <sub>\</sub>			
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advance-Web	フォルダ-教務課-オフィス・アワー	」参照	

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	グループワークを実施する。
ナンバリング	SF1-102

講義科目名称: 社会福祉制度・関連法規 授業コード: 28076

英文科目名称: Social Welfare System and Related Regulations 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
井上 暁子	坂井 勉		魚屋 真佐江	

	講義					
授業計画	十画					
	第2回	社会福祉の歩み 日本の社会福祉の歩み、欧米の社会福祉の歩み (テキストP13からP28まで)	井上 暁子			
	第3回	社会保障制度と社会福祉を展開する組織 社会保障制度の体系、社会保険、公的扶助、社会福祉を展開する組織、社会保障制度をめぐる今後の課題 (テキストP29からP45まで)	井上 暁子			
	第4回	子ども家庭福祉 少子化対策、子どもにかかわる法と施策、児童福祉関連施設と専門機関、母子保 健、児童虐待、子どもの貧困(テキストP48からP69まで)	坂井 勉			
	第5回	障害者福祉 障害者福祉の考え方、障害者福祉に関する法律、「障害者総合支援法」、障害者虐 待 (テキストP70からP88まで)	魚屋 真佐江			
	第6回 高齢者福祉 高齢者を取り巻く状況、高齢者を対象とした法制度、高齢者福祉の課題 (テキストP89からP103まで)					
	第7回	介護保険と介護保険制度 介護保険制度創設の背景、介護保険制度の概要、介護保険制度を支えるケアマネジ メントとケアマネージャー、チームアプローチ (テキストP104からP120まで)	魚屋 真佐江			
	第8回 低所得者福祉 貧困とは、生活保護制度、生活保護と関連事業、低所得者対策、現状と今後 (デキストP121からP134まで)					
	第9回	地域福祉 地域福祉とは、地域共生社会の実現と地域福祉、地域福祉の推進組織と担い手、地 域福祉の推進方法 (テキストP135からP150まで)	坂井 勉			
	第10回	医療福祉・精神保健福祉 医療保険制度の概要、保険診療の仕組み、医療機関の機能、医療福祉と専門職、地域医療連携から地域連携へ、医療ソーシャルワーカー、精神保健の定義とおもな精神疾患、精神保健を取り巻く状況、「精神保健福祉法」の概要、「医療観察法」、「障害者雇用促進法」、自殺防止対策、認知症高齢者の現状(テキストP151からP178まで)	魚屋 真佐江			
	第11回	社会福祉施設の役割・社会福祉を担う人々 社会福祉施設の体系、社会福祉施設の推移、社会福祉施設の枠組み、施設の今後の 課題、社会福祉従事者の現状と人材確保、社会福祉従事者のおもな職種(社会福祉 専門職・その他の専門職)、社会福祉従事者による連携・協働 (テキストP180からP199まで)	坂井 勉			
	第12回	相談援助の目的と方法 -ソーシャルワークの視点から- 社会福祉における相談援助の目的と対象、社会福祉における相談援助者の基本的態度、相談援助の展開方法 (テキストP200からP211まで)	坂井 勉			

	第13回 社会福祉の実践事例 他職種連携を基調とした医療ソーシャルワーカーの実践事例から 病院における医療ソーシャルワーカーの必要性、実践事例の紹介と考察、他職種連 携の必要性と医療ソーシャルワーカーの役割 (テキストP212からP221まで)
	第14回 保健医療福祉に関する諸問題 保健医療福祉に関する諸問題の例、保健医療福祉従事者に期待されるおもな役割 (テキストP222からP229まで) 井上 暁子
	第15回 学習内容の振り返りとまとめ 社会福祉について これまでの授業で学習した内容を振り返るとともに、重要事項を 再確認する。
科目の目的	人々の生活を支え健康を守るために、保健医療専門職に求められる「社会福祉の基本的知識」を理解する。具体的には、社会福祉の捉え方や歴史、社会福祉の法や制度・担い手、児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉・地域福祉・精神保健福祉等の福祉の各分野についてや、介護保険制度と地域包括システム、相談援助・医療ソーシャルワーク等について学ぶ。それらを通して、保健医療福祉サービスにおける、地域連携・他職種連携など「連携」の意義についても理解を深める。 【人間の尊厳と基本的人権】
到達目標	1. 社会福祉全般について基本的な知識を理解する。 2. 福祉専門職と保健医療専門職の連携と協働の意義と必要性について考える。 3. 医療・介護・福祉サービスを利用する人々の生活と健康を地域で支える一員としての自覚を持てるようになる。
関連科目	多職種理解と医療コミュニケーション、教育学
成績評価方法・基 準	定期試験:全講義終了後に実施する筆記試験 (85%) 授業内で記入するリアクションペーパー (15%) ←内訳:井上5%、魚屋5%、坂井5% (次回の授業の冒頭でフィードバック)
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各回の講義に臨む前に教科書の該当ページを熟読しておく。講義後は教科書や配布資料をもとに学習内容の復習を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマあたり180分。
教科書	「コメディカルのための社会福祉概論 第5版 (講談社出版)」
参考書	授業内で随時紹介する
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	Active Academy Advanceにて講義資料を配布する(4日前から当該日まで)。PCにダウンロードして授業に持参すること。
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし
ナンバリング	0Fk-202

講義科目名称: 地域リハビリテーション学

授業コード: 2S077

英文科目名称:	Community	-Based Reha	abilitation		対象カリキュ	ラム: 2025年	E度カリキュラム
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		3学年	1単位	必修			
担当教員		担当者		•			
齊藤 吉人							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年	E度カリキュラム)			
科目の目的							<u>'</u>
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	Academy Adva	nce-Webフォルダ	-教務課-オフィス・ご	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	Academy Adva	nce-Webフォルダ	-教務課-国家試験出題	題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SF1-302						

講義科目名称: 地域参加支援 I 授業コード: 2S078

英文科目名称: Community Participation Support I 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2学年	2単位	必修	
担当教員	担当者 担当者			
齊藤 吉人	白坂 康俊・神山	政恵	三浦 康子・丹下 弥生	岡野 由実・遠藤 俊介
	及川 翔・酒井 哲郎			

	2.47.7.4 1.27.1 12.1			
授業形態			担当者	î
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カ	リキュラム)		
科目の目的				
到達目標				
関連科目				
成績評価方法・基 準				
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安				
教科書				
参考書				
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務	[課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務	課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意				
アクティブ・ラー ニングの実施				
ナンバリング	SF1-201			

講義科目名称: 地域参加支援 **I** 授業コード: 2S079

英文科目名称: Community Participation Support II 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	3学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
齊藤 吉人	白坂 康俊・酒井	哲郎	神山 政恵・三浦 康子	丹下 弥生・岡野 由実
	遠藤 俊介・及川	翔		

	12/14/1001 / 17/11			
授業形態			担当者	î
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カ	リキュラム)		
科目の目的				
到達目標				
関連科目				
成績評価方法・基 準				
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安				
教科書				
参考書				
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダー教務	[課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダー教務	課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意				
アクティブ・ラー ニングの実施				
ナンバリング	SF1-303			

講義科目名称: 言語聴覚障害学概論 授業コード: 2S080

英文科目名称: Introduction to Speech-Language-Hearing Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
白坂 康俊	遠藤 俊介		酒井 哲郎	

授業形態	講義		担当	者
授業計画	第1回	コミュニケーションにおける言語という記号の役割と機能(スピーチチェーン)講義 グループ分け	白坂	康俊
	第2回	聴覚言語障がいとは 解説30分 テーマについてグループディスカッション (AS)60分 AS:アクティブラーニング・ゼミ	白坂	康俊
	第3回	評価とは 解説 3 0 分 テーマについてグループディスカッション (AS) 6 0 分 AD AS	白坂	康俊
	第4回	治療・機能訓練とは 解説 $3$ $0$ $0$ テーマについてグループディスカッション (AS) $6$ $0$ $0$ $0$	白坂	康俊
	第5回	活動制限と支援 解説30分 テーマについてグループディスカッション (AS)60分 AS	白坂	康俊
	第6回	参加制約と支援 解説 $3$ $0$ 分 テーマについてグループディスカッション (AS) $6$ $0$ 分 AS	白坂	康俊
	第7回	共生の社会とは 解説 $3$ $0$ 分 テーマについてグループディスカッション (AS) $6$ $0$ 分 AS	白坂	康俊
	第8回	グループ発表準備 (AS)	白坂	康俊
	第9回	グループ発表準備 (AS)	白坂	康俊
	第10回	グループ発表(AS) 1	白坂	康俊
	第11回	グループ発表(AS) 2	白坂	康俊
	第12回	グループ発表(AS) 3	白坂	康俊
	第13回	グループ発表(AS) 4	白坂	康俊
	第14回	グループ発表(AS) 5	白坂	康俊
	第15回	グループ発表 (AS) 6	白坂	康俊
科目の目的	が加いの制料が がないいのしますが がないがいがいます。 でではいるでは、 でではいるできる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	害は機能障がいとしてのコミュニケーションの問題だけでなく、日常行動の制限や社会をもたらす。体験も通して、これらの困難、不自由さ、苦痛などを、知識ではなく感覚で理解し、他者に発信する。る方の評価と支援は、世界基準であるICF(国際生活機能分類)に基づいてなされることそれに基づいた言語聴覚障害の種類、特徴、治療・訓練法を学び、それぞれの障害の特生活ならびに地域や社会への参加の制約の実情を把握し、生活支援、社会参加支援を含覚士の役割を理解する。ラーニングでの学習、グループ学習の方法を習得することでチーム医療の基礎能力を身【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理		
到達目標	言語聴覚障   言語聴覚障	がいのある方の困難、不自由さ、苦痛を感覚的に理解し、かつ他者に説明できる。 ーションにおける言語という記号の役割と機能(スピーチチェーン)を説明できる。 がいに対する支援(機能回復、生活支援、社会参加支援等)について説明できる。 がいの種類と種類毎の評価(ICF評価を含む)、支援について説明できる。 がい学(資格制度を含む)の歴史と概要を説明できる。		
関連科目	言語聴覚障	害学演習、ICFとリハビリテーション、地域リハビリテーション学		

成績評価方法・基 準	聴講票20%、ALの内容、発表60%、レポート20%とする。いずれも60点/100点満点以上をとって合格とする。
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	担当するテーマについての自己学習、グループ学習、発表のために毎回1時間程度の準備を要する。
教科書	教科書:言語聴覚士テキスト 第3版、医歯薬出版
参考書	無し
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	AL=アクティブラーニング、AS=アクティブラーニング・ゼミ
アクティブ・ラー ニングの実施	テーマを提示し、ゼミ単位で調査学習を行い、発表する。
ナンバリング	SSm-101

講義科目名称: 言語聴覚障害診断学 授業コード: 2S081

英文科目名称: Speech-Language-Hearing-Disorder Diagnosis 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
白坂 康俊	齊藤 吉人			

<b>極業収</b> 能	選挙 (OEI)	<b>2</b>	担当者
受業形態	講義(8回)	演習(7回)	
授業計画	第1回	講義 オリエンテーションとモデルプレゼンテーション(失語症)	神山
	第2回	講義 モデルプレゼンテーションの方法と、内容、注意点、診断とICF 診断の流れ SV: 白坂・三浦	神山
	第3回	講義 高次脳機能障害の診断の流れ sv:神山	神山
	第4回	講義 知的発達障害の診断の流れ1、 知的発達障害の診断の流れ2 sv:斎藤、遠藤	神山
	第5回	講義 聴覚障害の評価の流れ1(小児) 聴覚障害の評価の流れ2(成人) SV: 岡野	神山
	第6回	講義 器質性・機能性構音障害の評価の流れ1、器質性・機能性構音障害の評価の流れ2 sv:三浦	神山
	第7回	講義 発声発語・嚥下障害の評価の流れ1、発声発語・嚥下障害の評価の流れ2 sv:丹下	神山
	第8回	講義 非流暢性発話障害の評価の流れ、講義まとめ SV:遠藤	神山
	第9回	グループワーク AS+AL	神山
	第10回	グループワーク AS+AL	神山
	第11回	グループワーク AS+AL	神山
	第12回	グループワーク AS+AL	神山
	第13回	グループワーク (学生によるプレゼンテーション) AS+AL	神山
	第14回	グループワーク (学生によるプレゼンテーション) AS+AL	神山
		sv:斉藤、及川	
	第15回	講義・演習のまとめ、質疑応答	神山
科目の目的	理解し、障害	ーション障害である言語聴覚障害の種類とその原因疾患、各障害の発現メカニズムを その特徴と診断方法を学修し、それらの障害の対象者のQOLの確保や復権に結びつくこと 【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理	
到達目標	脳性麻痺を含  単に各障害⊄	失語症、高次脳機能障害、器質性・機能性・運動障害性構音障害、音声障害、吃音、な発達性障害の概要を説明できる。②各障害の検査法や診断法について学修する。③類型を記述できるだけではなく、言語処理過程の中での位置づけを正しく認識でき」には診断・評価はその対象者のQOL確保や復権に結びつくことを理解することが目標と	
関連科目	言語聴覚障害 域参加支援総	子学概論、言語聴覚障害学演習、言語聴覚障害臨床論、地域リハビリテーション学、地 論	
成績評価方法・基 準	グループ・ワ 合点100点満	7-クの貢献度(30%)、レポート:各講義のまとめ(30%)、筆記試験(40%)で、総点で評価し、60点以上を合格とする。	
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安		-クの準備に必要な時間は40分程度である。グループワーク内では他者の意見を尊重 も発信することも大切である。	
教科書	特になし。		
参考書	「ICF国際生活 医学書院	活機能分類改訂版」中央法規出版、標準言語聴覚療法「言語聴覚療法 評価・診断学」	
オフィス・アワー	「Active Aca	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	[Active Acc	ademy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上 の注意	AL=アクティブ・ラーニング、AS=アクティブ・ラーニング・ゼミ 資料は1週間前にAAにて配信する。
アクティブ・ラー ニングの実施	アクティブ・ラーニングを実施する。
ナンバリング	SSm-102

講義科目名称: 地域参加支援総論 授業コード: 2S082

英文科目名称: Introduction to Community Participation Support 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
前期		4学年	1単位	必修				
担当教員		担当者						
白坂 康俊								
授業形態							担当者	
授業計画		※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)						
科目の目的								
到達目標								
関連科目								
成績評価方法・基 準								
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安								
教科書								
参考書								
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-オフィス・アワ	一」参照			
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題基	準」参照			
履修条件・履修上 の注意								
アクティブ・ラー ニングの実施								
ナンバリング	SSm-401							

講義科目名称: 地域言語聴覚療法学 授業コード: 2S083

ナンバリング

SSn-401

英文科目名称: Community Speech-Language-Hearing Therapy 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間	•	配当年	単位数	利用が弱反ハ		
				科目必選区分		
後期		4学年	2単位	必修		
担当教員		担当者				
石山 寿子						
授業形態						担当者
授業計画		※今年度	<b>開講せず(2025年</b>	度カリキュラム)		
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・	アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出版	題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						

講義科目名称: 言語聴覚療法管理学 I 授業コード: 2S084

英文科目名称: Speech-Language-Hearing Therapy Management I 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		2学年	1単位	必修			
担当教員		担当者					
髙橋 克佳							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)					
科目の目的							1
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance	-Webフォルダ-教剤	<b></b> ら課-オフィス・アワー」参	常照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance	-Webフォルダ-教剤	<b></b> 務課-国家試験出題基準」参	常照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SSo-201						

講義科目名称: 言語聴覚療法管理学Ⅱ 授業コード: 2S085

英文科目名称: Speech-Language-Hearing Therapy Management II 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
前期		3学年	1単位	必修				
担当教員		担当者	担当者					
馬場 清								
授業形態						担当者		
授業計画		※今年度開講	せず(2025年度カ	カリキュラム)				
科目の目的						1		
到達目標								
関連科目								
成績評価方法・基 準								
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安								
教科書								
参考書								
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教剤	<b></b> 落課-オフィス・アワー」参照				
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教科	務課-国家試験出題基準」参照				
履修条件・履修上 の注意								
アクティブ・ラー ニングの実施								
ナンバリング	SSo-301							

講義科目名称: 失語症学 授業コード: 28086

英文科目名称: Aphasia 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
前期		2学年	2単位	必修				
担当教員		担当者	担当者					
鈴木 倫								
授業形態						担当者		
授業計画		※今年度開講	せず(2025年度カ	<b>リ</b> キュラム)				
科目の目的								
到達目標								
関連科目								
成績評価方法・基 準								
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安								
教科書								
参考書								
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	<b>済課-オフィス・アワー」参照</b>				
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
履修条件・履修上の注意								
アクティブ・ラー ニングの実施								
ナンバリング	SSp-201							

講義科目名称: 高次脳機能障害学 授業コード: 2S087

ナンバリング

SSp-202

英文科目名称: Higher Brain Dysfunction 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

天文村日右你,	migner bra	alli Dystulic	11011		対象のサイエン	/ ム . 2020年度	<i>N</i> 9 4 4 7 4
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
鈴木 倫							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	<b>開講せず(2025年</b>	度カリキュラム)			
科目の目的							1
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	.cademy Advai	nce-Webフォルダー	教務課-オフィス・ア	7ワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advai	nce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題	夏基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 失語・高次脳機能障害評価法 授業コード: 2S088

英文科目名称: Assessment Methods for Aphasia and Higher Brain Dysfunction 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		3学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
酒井 哲郎							
授業形態						担当者	
授業計画		※今年度開	講せず(2025年度	カリキュラム)			
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advanc	e-Webフォルダ-教	務課-オフィス・アワー」参照			
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advanc	e-Webフォルダ-教	務課-国家試験出題基準」参照			
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SSp-301						

講義科目名称: 失語·高次脳機能障害支援論

英文科目名称: Support Methods for Aphasia and Higher Brain Dysfunction

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

授業コード: 2S089

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		3学年	1単位	必修			
担当教員		担当者					
未定							
授業形態							
授業計画		※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)					
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-V	Webフォルダ-教務	5課-オフィス・アワー」参照			
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-V	Webフォルダ-教務	5課-国家試験出題基準」参照			
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SSp-302						

講義科目名称: 言語発達障害学 授業コード: 2S090

ナンバリング

SSq-201

英文科目名称: Language Development Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

人人们自有初.	Language D	creropmene	DISSIGNIS		71,2077 7 1 —	ノい・2020   及	
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
齊藤 吉人		遠藤 俊介					
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年)	度カリキュラム)			
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	Active Ac	cademy Advar	ice-Webフォルダー	教務課-オフィス・フ	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advar	nce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題	<b>夏基準」参照</b>		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 言語発達障害評価法 授業コード: 2S091

英文科目名称: Assessment Methods for Language Development Disorders

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分					
前期		3学年	2単位	必修					
担当教員		担当者	担当者						
齊藤 吉人		遠藤 俊介							
授業形態						担当者			
授業計画		※今年度開講	せず(2025年度カ	フリキュラム)					
科目の目的									
到達目標									
関連科目									
成績評価方法・基 準									
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安									
教科書									
参考書									
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	<b>S課-オフィス・アワー」参照</b>					
国家試験出題基準	Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
履修条件・履修上 の注意									
アクティブ・ラー ニングの実施									
ナンバリング	SSq-301								

講義科目名称: 言語発達障害支援論 授業コード: 2S092

英文科目名称: Support Methods for Language Development Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		3学年	1単位	必修			
担当教員		担当者	•	·			
齊藤 吉人		遠藤 俊介					
授業形態							担当者
授業計画		※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)					
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance	-Webフォルダ-勃	教務課-オフィス・アワー」	参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance	-Webフォルダ-勃	教務課-国家試験出題基準」	参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SSq-302						

講義科目名称: 病理音声学 授業コード: 28093

ナンバリング

SSr-201

英文科目名称: Pathological Phonetics 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

天文们 日 石 小 ·	lathologic	ar inoneti	CS		バタルノイエ	ノム・2020千尺	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
白坂 康俊							
授業形態							担当者
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)						
科目の目的							•
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	Active A	cademy Advar	ice-Webフォルダー	教務課-オフィス・)	アワー」参照		
国家試験出題基準	\( \begin{aligned} Active A \end{aligned} \)	cademy Advar	ice-Webフォルダー	教務課-国家試験出紀	題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 発声発語·摂食嚥下障害評価法 授業コード: 2S094

英文科目名称: Assessment Methods for Disorders of Speech and Swallowing

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者	•				
石山 寿子		酒井 哲郎					
授業形態		担。				担当者	
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)						
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教科	<b></b> 落課-オフィス・アワー」参照			
国家試験出題基準	Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教剤	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SSr-202						

講義科目名称: 器質性・機能性発話障害支援論 授業コード: 2S095

英文科目名称: Support Methods for Organic and Functional Speech Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		3学年	1単位	必修			
担当教員		担当者					
齊藤 吉人		齊藤 吉人		遠藤 俊介 酒井 哲郎			
		清水 崇寛					
授業形態					担当者		
授業計画		※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)					
科目の目的						'	
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教剤	<b>烙課-オフィス・アワー」参照</b>			
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教剤	<b>务課-国家試験出題基準」参照</b>			
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SSr-301						

講義科目名称: 運動性発話障害支援論 授業コード: 28096

英文科目名称: Support Methods for Motor Speech Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		3学年	1単位	必修			
担当教員		担当者					
酒井 哲郎							
授業形態							担当者
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)						
科目の目的	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						•
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-オフィス・アワ	一」参照		
国家試験出題基準	Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題基準	準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SSr-302						

講義科目名称: 非流暢性発話・音声障害支援論 授業コード: 2S097

英文科目名称: Support Methods for Disfluent Speech and Voice Disorders

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		3学年	1単位	必修		
担当教員		担当者				
鈴木 倫		池田 泰子				
	_					
授業形態						担当者
授業計画		※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)				
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advance	-Webフォルダ-教	務課-オフィス・アワー」参!	照	
国家試験出題基準	Active Ac	cademy Advance	-Webフォルダ-教	務課-国家試験出題基準」参	RE THE TENT OF THE	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						
ナンバリング	SSr-303					

講義科目名称: 摂食嚥下障害支援論

ナンバリング

SSr-304

英文科目名称: Support Methods for Dysphagia

授業コード: 2S098

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

) () (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i)			7-1		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	<b>†</b>		
前期		3学年	1単位	必修			
担当教員		担当者		·			
石山 寿子		酒井 哲郎					
授業形態							担当者
授業計画		※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)					
科目の目的							,
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-オフィス・	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-国家試験出	題基準  参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: リハビリテーション栄養学 授業コード: 2S099

英文科目名称: Rehabilitation Nutrition 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		3学年	1単位	必修			
担当教員		担当者	-				
浅田 春美		棚橋 由佳					
授業形態						担当者	
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)						
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advano	ce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・ア	プワー」参照		
国家試験出題基準	Active A	cademy Advand	ce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題	夏基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							
ナンバリング	SSr-305						

講義科目名称: 聴覚検査法 授業コード: 28100

ナンバリング

SSs-201

英文科目名称: Auditory Assessment Methods 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

央义科日名称:	Auditory A	Assessment	Methods		対象カリキュ	フム: 2025年度)	ガリキュフム
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
岡野 由実							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	<b>開講せず(2025年</b>	度カリキュラム)			
科目の目的							-
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	Academy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・ア	7ワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	Academy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題	<b>夏基準」参照</b>		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 聴覚補償 授業コード: 2S101

ナンバリング

SSs-202

英文科目名称: Auditory Compensation 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

大人们 日 石 你 .	Additory v	Joinpensacio	11		バタスノイユ	ノム· 2020年B	20074404
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		2学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
岡野 由実							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年月	度カリキュラム)			
科目の目的							1
到達目標							
関連科目							
成績評価方法·基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	.cademy Advar	ice-Webフォルダー	教務課-オフィス・	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	.cademy Advar	nce-Webフォルダー	教務課-国家試験出	題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 先天性聴覚障害支援論 授業コード: 2S102

英文科目名称: Support Methods for Congenital Hearing Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
前期		3学年	1単位	必修	
担当教員		担当者			
岡野 由実		北 義子			
授業形態					担当者
授業計画		※今年度開講	せず(2025年度カ	カリキュラム)	
科目の目的					1
到達目標					
関連科目					
成績評価方法・基 準					
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安					
教科書					
参考書					
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教剤	<b></b> ら課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教科	8課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意					
アクティブ・ラー ニングの実施					
ナンバリング	SSs-301				 

講義科目名称: 後天性聴覚障害支援論

授業コード: 2S103

英文科目名称: Support Me	ethods for Acqu	uired Hearing	Disorders	対象カリキュ	ラム: 2025年度カリキュラム
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	2学年	1単位	必修		
担当教員	担当者				
岡野 由実					

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基 準		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意		
アクティブ・ラー ニングの実施		
ナンバリング	SSs-203	

講義科目名称: 聴覚障害演習 授業コード: 28104

ナンバリング

SSt-302

英文科目名称: Seminar in Hearing Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

人人们自有初:		i nearing D	1501 4015		ハネハノ・エ	7 27 . 2020   7	
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		3学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
岡野 由実		齊藤 吉人		岡野 由美		遠藤 俊介	
授業形態							担当者
授業計画		※今年度問	<b>開講せず(2025年)</b>	度カリキュラム)			
科目の目的							•
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-オフィス・ア	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-国家試験出題	夏基準」参照		
履修条件・履修上の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 運動系障害演習 授業コード: 28105

ナンバリング

SSt-303

英文科目名称: Seminar in Motor Speech Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

央乂科日名称:	Seminar in	n Motor Spe	ech Disorders		対象 カリヤュフェ	4: 2025年度ガリキュフ
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		3学年	2単位	必修		
担当教員		担当者				
石山 寿子		酒井 哲郎				
授業形態						担当者
授業計画		※今年度	<b>開講せず(2025年</b>	度カリキュラム)		
科目の目的						,
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・ア	ワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題	基準」参照	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						

講義科目名称: 言語系障害演習 授業コード: 28106

ナンバリング

SSt-304

英文科目名称: Seminar in Adult Language Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

天文代日石你.	Sellitilat II	I Addit Lang	uage Disorders		別家ルライエ	ノム . 2020年6	シル ソ ユ ユ ノ ム
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
後期		3学年	2単位	必修			
担当教員		担当者					
鈴木 倫							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度開	講せず(2025年度	カリキュラム)			
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advanc	ce-Webフォルダ-教	務課-オフィス・ア	プワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advanc	ce-Webフォルダ-教	務課-国家試験出題	<b>基準」参照</b>		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 小児系障害演習 授業コード: 28107

英文科目名称: Seminar in Pediatric Communication Disorders 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		3学年	2単位	必修		
担当教員		担当者	1 .			
齊藤 吉人		白坂 康俊		齊藤 吉人	遠藤 俊介	
授業形態						担当者
授業計画		※今年度開講	せず(2025年度ス	カリキュラム)		
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	ら課-オフィス・アワー」参照 ・ファン・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advance-	Webフォルダ-教務	S課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						
ナンバリング	SSt-305					

講義科目名称: 言語聴覚総合演習

ナンバリング

SSt-401

授業コード: 2S108

英文科目名称: Comprehensive Seminar for Speech and Hearing

対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

	=		_	_				
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分				
後期		4学年	2単位	選択				
担当教員		担当者						
酒井 哲郎		白坂 康俊		齊藤 吉人		遠藤 俊介		
		酒井 哲郎						
授業形態							担当者	
授業計画		※今年度開	講せず(2025年	度カリキュラム)				
科目の目的							,	
到達目標								
関連科目								
成績評価方法・基 準								
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安								
教科書								
参考書								
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advanc	e-Webフォルダ-	教務課-オフィス・ア	ワー」参照			
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advanc	e-Webフォルダ-	教務課-国家試験出題	[基準] 参照			
履修条件・履修上の注意								
アクティブ・ラー ニングの実施								

講義科目名称: 卒業研究 授業コード: 2S109

ナンバリング

SSt-402

英文科目名称: Graduation Studies 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

人人们自有初:	01 4444 (101	1 Deddies			712/77 7 1 4	/ 41 . 2020   及	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
開講期間		配当年	単位数	科目必選区分			
前期		4学年	2単位	選択			
担当教員		担当者					
白坂 康俊							
授業形態							担当者
授業計画		※今年度	開講せず(2025年	度カリキュラム)			
科目の目的							
到達目標							
関連科目							
成績評価方法・基 準							
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安							
教科書							
参考書							
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advar	ice-Webフォルダ-	教務課-オフィス・	アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	ice-Webフォルダ-	教務課-国家試験出	題基準」参照		
履修条件・履修上 の注意							
アクティブ・ラー ニングの実施							

講義科目名称: 見学実習 授業コード: 28110

ナンバリング

SSu-201

英文科目名称: Clinical Tours 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	<u> </u>	
					1	
後期		2学年	3学年	必修		
担当教員		担当者				
齊藤 吉人						
授業形態						担当者
授業計画		※今年度開	昇講せず(2025年 <i>月</i>	度カリキュラム)		
科目の目的						
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active Ac	cademy Advan	ce-Webフォルダ-勃	教務課-オフィス・	アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Ac	cademy Advan	ce-Webフォルダー	教務課-国家試験出	題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意						
アクティブ・ラー ニングの実施						

講義科目名称: 評価実習 授業コード: 28111

ナンバリング

SSu-301

英文科目名称: Clinical Assessment Practice 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
後期		3学年	 5単位	必修		
			19年1年			
担当教員		担当者				
白坂 康俊						
授業形態						担当者
授業計画		※今年度	<b>開講せず(2025年</b>	度カリキュラム)		
科目の目的						1
到達目標						
関連科目						
成績評価方法・基 準						
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安						
教科書						
参考書						
オフィス・アワー	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-オフィス・	アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active A	cademy Advar	nce-Webフォルダ-	教務課-国家試験出	題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意						 
アクティブ・ラー ニングの実施						

講義科目名称: 総合臨床実習

英文科目名称: Comprehensive Clinical Practicum 対象カリキュラム: 2025年度カリキュラム

授業コード: 2S112

	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	4学年	7単位	必修	
担当教員	担当者			
白坂 康俊	齊藤 吉人・神山	政恵	三浦 康子・丹下 弥生	岡野 由実・遠藤 俊介
	及川 翔・酒井 ‡	哲郎		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず(2025年度カリキュラム)	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基 準		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上 の注意		
アクティブ・ラー ニングの実施		
ナンバリング	SSu-401	